

富士見市
障がい福祉についての実態調査
報告書

令和5年11月

富士見市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	回答者について	3
(1)	回答者	3
2	調査対象者について	4
(1)	年齢	4
(2)	住居	5
①	生活している場所	5
②	同居者	6
(3)	障害者手帳等	7
①	持っている手帳	7
②	身体障害者手帳の等級	8
③	療育手帳の等級	9
④	精神障害者保健福祉手帳の等級	10
(4)	障害支援区分	11
(5)	重症心身障がい	12
(6)	障がいや疾患の診断	13
①	障がいや疾患の診断	13
②	難病（特定疾患）	15
(7)	主な障がい・疾患が判明した年齢	16
(8)	介助や支援の必要性	17
(9)	介助者について	18
①	主な介助者	18
②	介助や支援が必要な場面	20
③	主な介護者が介護できないときの対応	22
3	保健・医療について	24
(1)	受診状況	24
(2)	かかりつけ医の有無	25

(3) 受診等に際して困っていること.....	26
4 相談や情報入手について.....	27
(1) 利用しているコミュニケーション手段.....	27
(2) 相談相手.....	29
(3) 相談に際して不便なこと.....	31
(4) 市のサービス情報の入手先.....	33
(5) 市のサービス情報入手の十分さ.....	35
(6) 入手情報.....	36
5 医療的ケアについて.....	38
(1) 医療的ケアの利用.....	38
(2) 医療的ケアで困っていること.....	40
6 日中の活動や仕事の状況について.....	41
(1) 日中の過ごし方.....	41
(2) 就労状況.....	42
①現在の働き方.....	42
②障がい等の診断と就労の時期.....	43
(3) 今後の就労.....	44
①就労意向.....	44
②職業訓練の意向.....	45
③就労にあたって心配なこと.....	46
④就労しない理由.....	48
(4) 就労に際して必要な支援.....	50
7 通園・通学している方について.....	52
(1) 通園・通学先.....	52
(2) 通園・通学で困っていること.....	53
(3) 将来の進路希望.....	55
(4) 卒業後の地域生活のために必要なこと.....	56
(5) 卒業後の不安.....	57
8 趣味の活動や地域の活動について.....	58
(1) 趣味や地域の活動.....	58
①活動への参加状況.....	58
②活動に参加していない理由.....	59
(2) 外出時に困ること.....	61
9 災害時の対応について.....	62
(1) 災害時に一人で避難.....	62

(2) 災害時に助けてくれる人の存在.....	63
(3) 避難行動要支援者登録制度への登録.....	64
(4) 登録したくない理由.....	65
(5) 避難先.....	66
(6) 災害発生時に困ること・不安.....	67
10 サービスの利用などについて.....	69
(1) 障害福祉サービスの利用.....	69
(2) 利用している障害福祉サービス.....	70
(3) 今後利用したい障害福祉サービス.....	72
(4) 障害福祉サービス利用時に困ること.....	74
(5) 介護保険サービスの利用.....	76
(6) 要支援・要介護認定.....	77
(7) 利用している介護保険サービス.....	78
11 権利擁護などについて.....	80
(1) 障害者虐待防止法の認知.....	80
(2) 差別を受けた、配慮がなく困った相手.....	81
(3) 障がいのある人へ配慮してほしいこと.....	84
(4) 障害者差別解消法の認知.....	86
(5) 成年後見制度の認知.....	87
(6) 成年後見制度の利用状況.....	88
12 今後のことについてお聞きします。.....	89
(1) 将来の暮らし方.....	89
(2) 地域で生活するために必要な支援.....	90
(3) 富士見市の暮らしやすさ.....	91
(4) 充実すべき障がい福祉施策.....	92
13 記述意見.....	94
調査票.....	99

I 調査の概要

1 調査の目的

新たな計画の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

富士見市在住の障害手帳をお持ちの方、手帳をお持ちでなく障がい福祉サービスを利用している方や自立支援医療の給付を受けている方などを無作為抽出

3 調査期間

令和5年9月13日から令和5年10月4日

4 調査方法

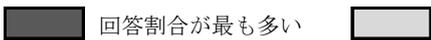
郵送により配布し、回収は郵送とWEB（インターネット）を併用

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回収率
郵送	2,919	1,383	—
WEB（インターネット）	—	163	—
計	2,919	1,546	53.0%

※期限を過ぎて届いた(回答のあった)ものについても集計に加えています。

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、高い割合のもの網かけしています。（無回答を除く）

- ・手帳や障がい等の状況について、クロス集計では下記の通り表記します。

「身体」：身体障害者手帳を持っていると回答した方
「知的」：療育手帳を持っていると回答した方
「精神」：精神障害者保健福祉手帳を持っていると回答した方

なお、クロス集計表は、下表の区分としています。

区分	内容	文章中の表記
a 身体＋知的 （精神を含む）	身体障害者手帳と療育手帳の両方を持っている方。 この中には、精神障害者保健福祉手帳を持っている方を含む。	身体障がい＋知的障がい
b 身体(精神を含む)	a を除いて、身体障害者手帳を持っている方。 この中には、精神障害者保健福祉手帳を持っている方を含む。	身体障がい
c 知的(精神を含む)	a を除いて、療育手帳を持っている方。 この中には、精神障害者保健福祉手帳を持っている方を含む。	知的障がい
d 精神	上記以外の精神障害者保健福祉手帳を持っている方。	精神障がい
e 無回答	障害者手帳を持っていない方。	

Ⅱ 調査結果

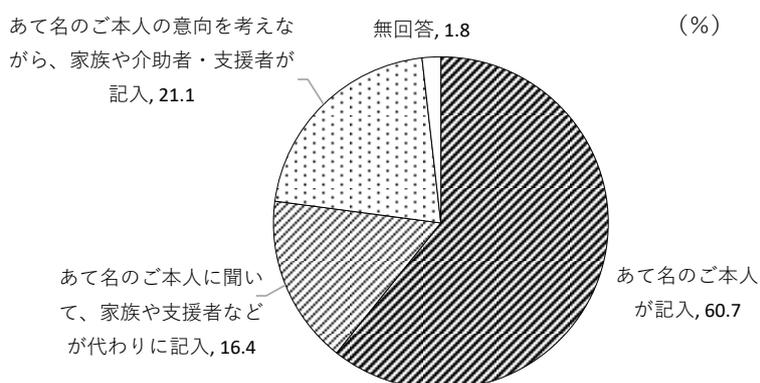
1 回答者について

(1) 回答者

問1 回答されている方はどなたですか。(○は1つだけ)

「あて名のご本人が記入」が60.7%と最も多く、次いで「あて名のご本人の意向を考えながら、家族や介助者・支援者が記入」が21.1%、「あて名のご本人に聞いて、家族や支援者などが代わりに記入」が16.4%となっています。

障がい区分別でみると、他に比べ、「精神障がい」と「身体障がい」で「あて名のご本人」の割合が多くなっています。また、「身体障がい+知的障がい」と「知的障がい」で「あて名のご本人の意向を考えながら、家族や介助者・支援者が記入」の割合が多くなっています。



問1 回答者	1 あて名のご本人が記入	2 あて名のご本人に家族や支援者などが聞いて、記入	3 あて名のご本人の意向を考えながら、家族や介助者・支援者が記入	無回答	回答者数	
全体	60.7	16.4	21.1	1.8	1546	
障がい区分	身体+知的(精神含む)	11.6	32.6	53.5	2.3	43
	身体(精神含む)	74.5	14.6	9.8	1.1	870
	知的(精神含む)	17.1	27.8	54.3	0.8	245
	精神	81.5	7.5	10.3	0.7	281
	手帳なし	6.1	22.7	68.2	3.0	66
無回答	26.8	19.5	26.8	26.8	41	

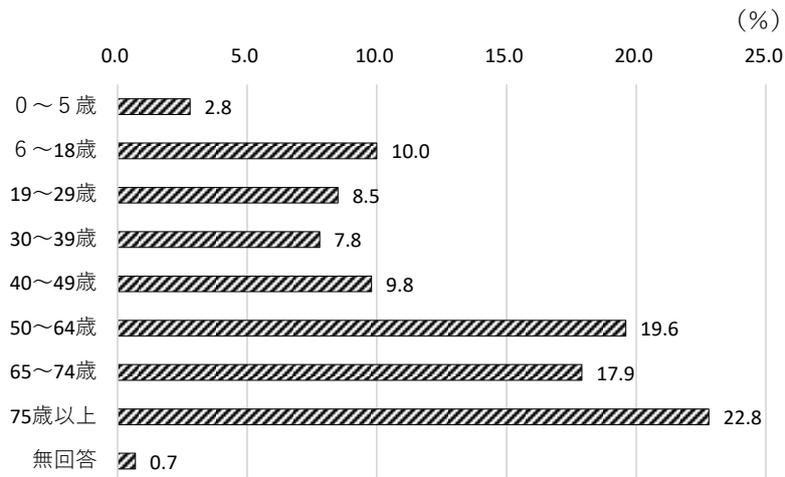
2 調査対象者について

(1) 年齢

問2 あなたの現在の年齢をお答えください。(○は1つだけ)

「75歳以上」が22.8%と最も多く、次いで「50～64歳」が19.6%、「65～74歳」が17.9%となっています。

障がい区分別でみると、他に比べ、「身体障がい」で「75歳以上」が、「知的障がい」で「6～18歳」の割合が多くなっています。



問2 年齢	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答	回答者数	
	0～5歳	6～18歳	19～29歳	30～39歳	40～49歳	50～64歳	65～74歳	75歳以上			
全体	2.8	10.0	8.5	7.8	9.8	19.6	17.9	22.8	0.7	1546	
障がい区分	身体+知的(精神含む)	0.0	25.6	14.0	16.3	7.0	30.2	4.7	2.3	0.0	43
	身体(精神含む)	0.6	1.0	1.3	2.2	6.2	21.3	28.5	38.9	0.1	870
	知的(精神含む)	3.3	31.4	30.2	11.8	12.7	6.1	3.7	0.8	0.0	245
	精神	0.4	5.7	13.9	21.7	22.4	30.6	4.3	1.1	0.0	281
	手帳なし	40.9	51.5	0.0	0.0	0.0	1.5	3.0	3.0	0.0	66
無回答	7.3	17.1	2.4	12.2	2.4	7.3	9.8	17.1	24.4	41	

(2) 住居

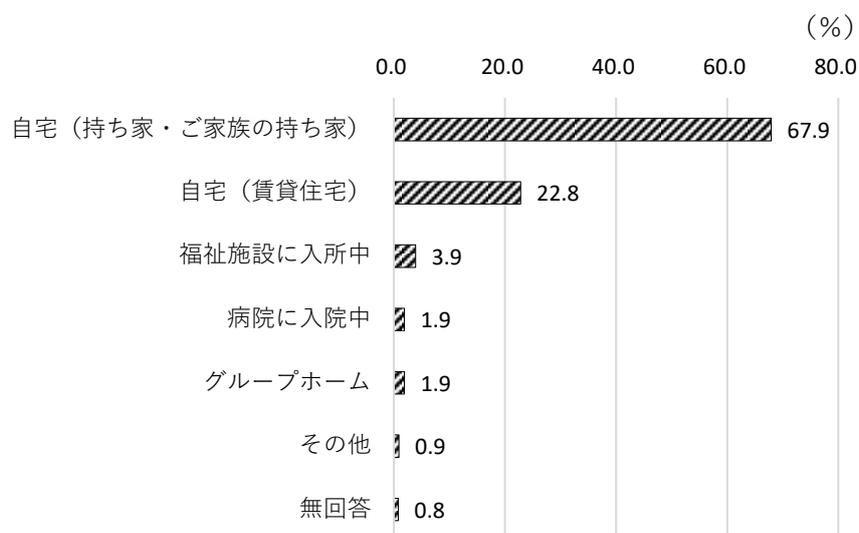
①生活している場所

問3 あなたは現在どこで生活していますか。(○は1つだけ)

※週末だけご自宅に戻られている方などは、週のうち一番長く居る場所をお答えください。

「自宅(持ち家・ご家族の持ち家)」が67.9%であり、次いで「自宅(賃貸住宅)」が22.8%となっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい」で「自宅(持ち家・ご家族の持ち家)」が比較的多くなっています。



問3 生活している場所	1 自宅 (持ち家・ご家族の持 ち家)	2 自宅 (賃貸住宅)	3 グループ ホーム	4 病院に 入院中	5 福祉施設 に入所中	6 その他	無 回答	回 答 者 数
全体	67.9	22.8	1.9	1.9	3.9	0.9	0.8	1546
障 が い 区 分	身体+知的(精神含む)	58.1	14.0	4.7	2.3	18.6	2.3	43
	身体(精神含む)	71.7	20.3	0.6	2.3	3.6	1.3	870
	知的(精神含む)	64.1	20.8	8.2	0.0	6.9	0.0	245
	精神	60.5	35.6	0.0	2.5	0.7	0.7	281
	手帳なし	83.3	15.2	0.0	0.0	1.5	0.0	66
無回答	46.3	19.5	4.9	2.4	2.4	0.0	24.4	41

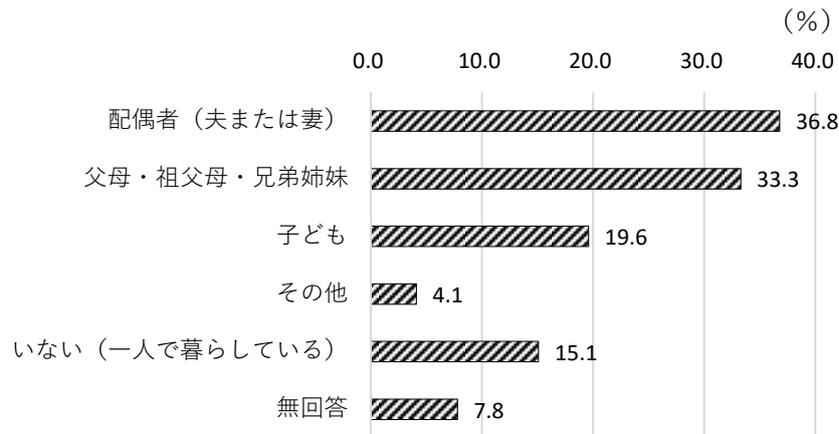
②同居者

【問3で「1. 自宅（持ち家・ご家族の持ち家）」「2. 自宅（賃貸住宅）」と回答した方にお聞きします。】

問3-1 現在、あなたが一緒に暮らしている方は、どなたですか。（あてはまるものすべてに○）

「配偶者（夫または妻）」が 36.8%と最も多く、次いで「父母・祖父母・兄弟姉妹」が 33.3%、「子ども」が 19.6%となっています。

障がい区分別でみると、「知的障がい」で「父母・祖父母・兄弟姉妹」の割合が、「身体障がい」で「配偶者（夫または妻）」の割合が多くなっています。



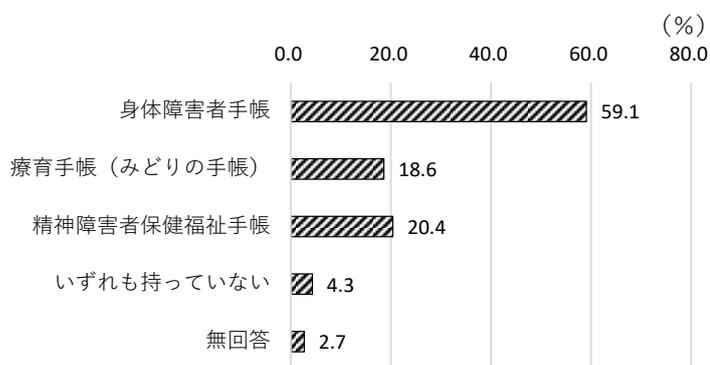
問3-1 同居者	1 父母・ 祖父母・ 兄弟姉妹	2 配偶者 (夫または妻)	3 子ども	4 その他	5 いない (一人で暮らしてい る)	無回答	回答者数
全体	33.3	36.8	19.6	4.1	15.1	7.8	1546
障がい 区分	身体+知的（精神含む）	58.1	2.3	4.7	7.0	25.6	43
	身体（精神含む）	10.0	56.9	29.4	3.8	6.6	870
	知的（精神含む）	80.0	0.8	1.6	4.5	12.7	245
	精神	47.0	21.4	12.1	5.0	24.2	281
	手帳なし	89.4	7.6	4.5	3.0	1.5	66
無回答	39.0	14.6	9.8	0.0	17.1	29.3	41

(3) 障害者手帳等

①持っている手帳

問4 お持ちの手帳などの種類と等級をお答えください。

「身体障害者手帳」の割合が59.1%であり、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が20.4%、「療育手帳（みどりの手帳）」が18.6%となっています。

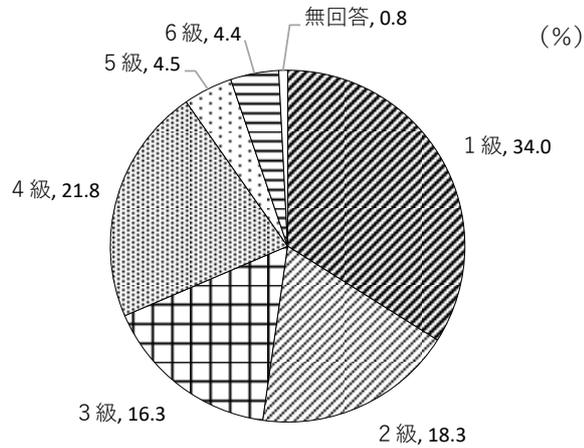


問4 障害者手帳等	1 身体障害者手帳	2 療育手帳（みどりの手帳）	3 精神障害者保健福祉手帳	4 いずれも持っていない	無回答	回答者数
全体	59.1	18.6	20.4	4.3	2.7	1546
障がい区分	身体+知的（精神含む）	100.0	100.0	9.3	0.0	43
	身体（精神含む）	100.0	0.0	2.1	0.0	870
	知的（精神含む）	0.0	100.0	5.3	0.0	245
	精神	0.0	0.0	100.0	0.0	281
	手帳なし	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	41

②身体障害者手帳の等級

1. 身体障害者手帳

「1級」が34.0%であり、次いで「4級」が21.8%、「2級」が18.3%となっています。障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」で「1級」と「2級」の割合が多くなっています。

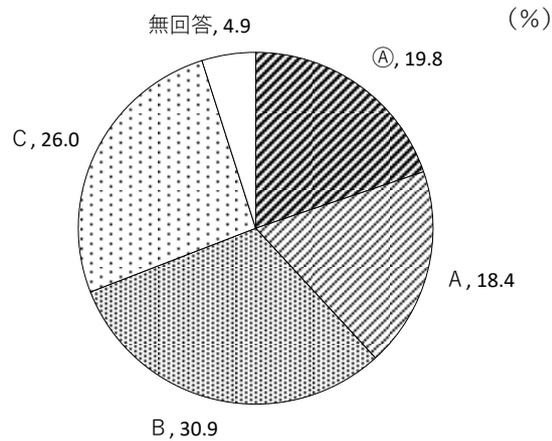


問4-1 身体障害者手帳の等級	1 1 級	2 2 級	3 3 級	4 4 級	5 5 級	6 6 級	無 回 答	回 答 者 数
全体	34.0	18.3	16.3	21.8	4.5	4.4	0.8	913
障がい区分								
身体+知的 (精神含む)	39.5	32.6	14.0	4.7	4.7	4.7	0.0	43
身体 (精神含む)	33.7	17.6	16.4	22.6	4.5	4.4	0.8	870
知的 (精神含む)	-	-	-	-	-	-	-	0
精神	-	-	-	-	-	-	-	0
手帳なし	-	-	-	-	-	-	-	0
無回答	-	-	-	-	-	-	-	0

③療育手帳の等級

2. 療育手帳（みどりの手帳）

「B」の割合が30.9%であり、次いで「C」が26.0%、「㊤」が19.8%となっています。障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」で「㊤」の割合が、「知的障がい」で「B」の割合が多くなっています。

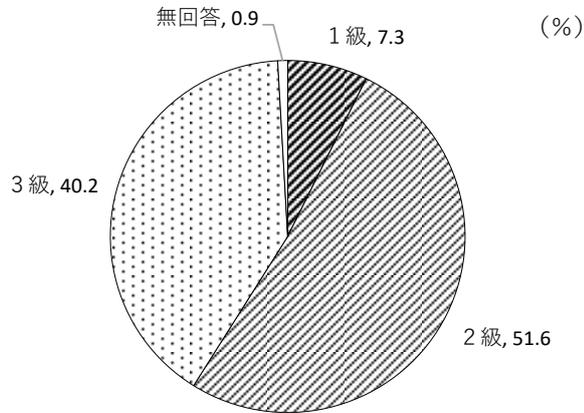


問4-2 療育手帳の等級	1 ㊤	2 A	3 B	4 C	無回答	回答者数	
全体	19.8	18.4	30.9	26.0	4.9	288	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	44.2	18.6	25.6	11.6	0.0	43
	身体（精神含む）	-	-	-	-	-	0
	知的（精神含む）	15.5	18.4	31.8	28.6	5.7	245
	精神	-	-	-	-	-	0
	手帳なし	-	-	-	-	-	0
無回答	-	-	-	-	-	0	

④精神障害者保健福祉手帳の等級

3. 精神障害者保健福祉手帳

「2級」が51.6%であり、次いで「3級」が40.2%、「1級」が7.3%となっています。



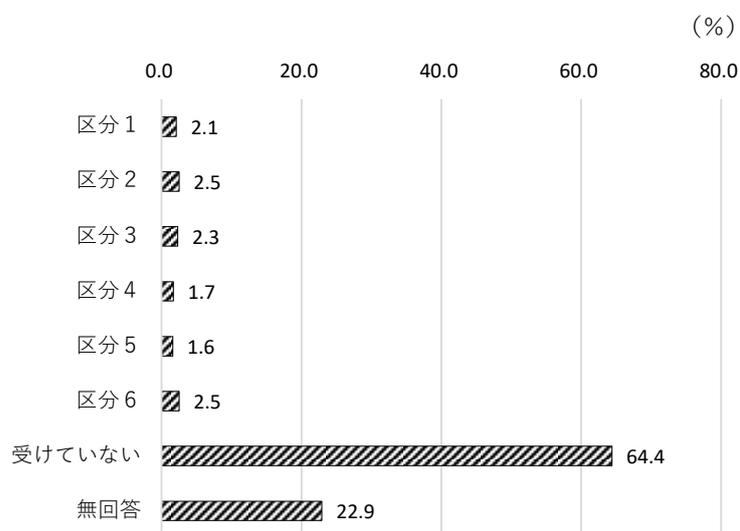
問4-3 精神障害者保健福祉手帳の等級	1 1級	2 2級	3 3級	無 回 答	回 答 者 数	
全体	7.3	51.6	40.2	0.9	316	
障 が い 区 分	身体+知的（精神含む）	25.0	50.0	25.0	0.0	4
	身体（精神含む）	27.8	38.9	27.8	5.6	18
	知的（精神含む）	15.4	84.6	0.0	0.0	13
	精神	5.3	50.9	43.1	0.7	281
	手帳なし	-	-	-	-	0
無回答	-	-	-	-	0	

(4) 障害支援区分

問5 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

障害支援区分の認定は、「受けていない」が64.4%、「無回答」が22.9%であり、合わせて87.3%となっています。

障がい区分別でみると、「精神障がい」と「身体障がい」で「受けていない」割合が多くなっています。



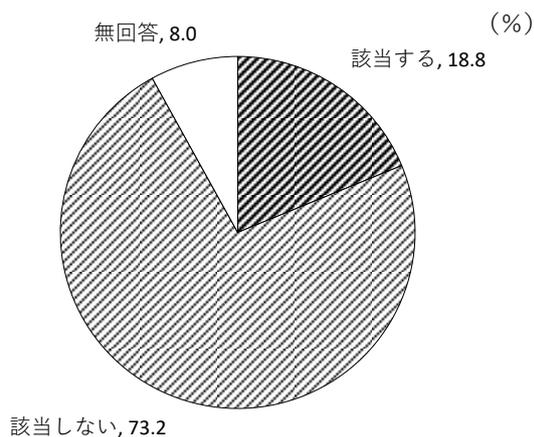
問5 障害支援区分	1 区分 1	2 区分 2	3 区分 3	4 区分 4	5 区分 5	6 区分 6	7 受けて いない	無 回 答	回 答 者 数
全体	2.1	2.5	2.3	1.7	1.6	2.5	64.4	22.9	1546
障 が い 区 分	身体+知的（精神含む）	2.3	4.7	0.0	0.0	4.7	27.9	34.9	43
	身体（精神含む）	3.2	2.4	1.7	1.4	0.6	64.9	25.1	870
	知的（精神含む）	0.8	4.1	6.1	5.7	6.9	50.2	18.0	245
	精神	0.4	1.1	1.8	0.0	0.4	79.0	17.1	281
	手帳なし	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	87.9	10.6	66
	無回答	0.0	2.4	0.0	2.4	0.0	39.0	53.7	41

(5) 重症心身障がい

問6 あなたは重症心身障がいに該当しますか。(○は1つだけ)

「該当する」が18.8%、「該当しない」が73.2%となっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」で「該当する」が66.1%となっています。他の区分では、「該当しない」が多く、中でも「精神障がい」で「該当しない」割合が多くなっています。



問6 重症心身障がい		1 該当する	2 該当しない	無回答	回答者数
全体		18.8	73.2	8.0	1546
障がい区分	身体+知的(精神含む)	65.1	25.6	9.3	43
	身体(精神含む)	24.7	67.2	8.0	870
	知的(精神含む)	15.1	81.2	3.7	245
	精神	2.5	89.7	7.8	281
	手帳なし	0.0	97.0	3.0	66
	無回答	9.8	48.8	41.5	41

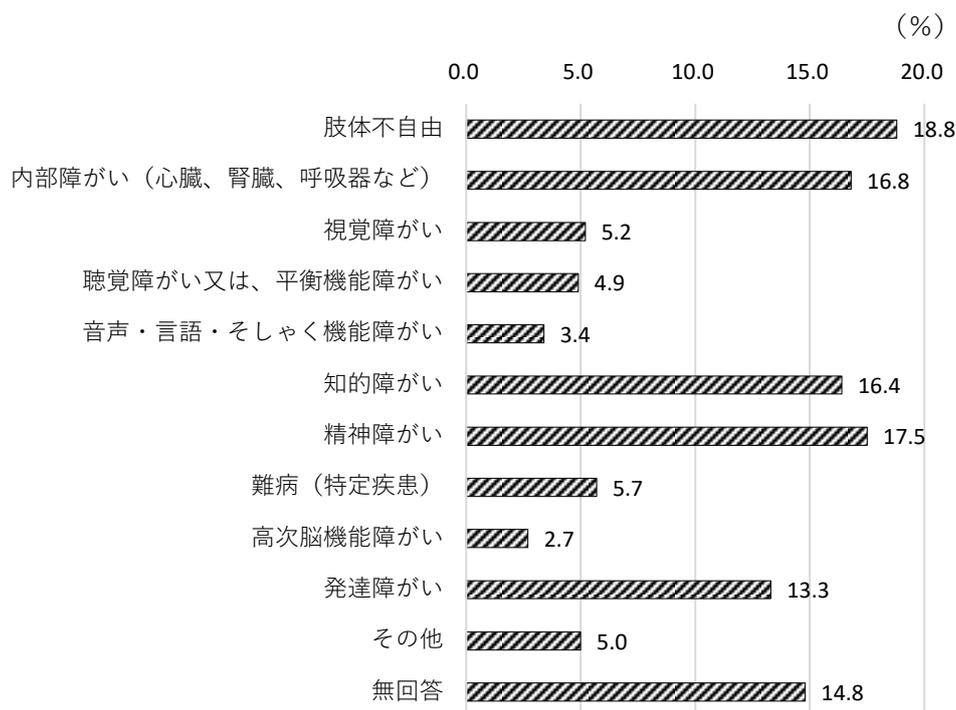
(6) 障がいや疾患の診断

①障がいや疾患の診断

問7 あなたは現在、以下の障がいや疾患の診断を受けていますか。(〇はいくつでも)

「肢体不自由」が18.8%、「精神障がい」が17.5%、「内部障害（心臓、腎臓、呼吸器など）」が16.8%、「知的障がい」が16.4%などとなっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」では「知的障がい」と「肢体不自由」が、「身体障がい」では「肢体不自由」と「内部障害（心臓、腎臓、呼吸器など）」が、「知的障がい」では「知的障がい」と「発達障がい」が、「精神障がい」では「精神障がい」と「発達障がい」が多くなっています。



問7 障がいや疾患の診断	1 視覚障がい	2 聴覚障がい又は、 平衡機能障がい	3 音声・言語・そしやく機能障がい	4 肢体不自由	5 内部障がい（心臓、 呼吸器など） 腎臓、	6 知的障がい	7 精神障がい	8 難病（特定疾患）	9 高次脳機能障がい	10 発達障がい	
全体	5.2	4.9	3.4	18.8	16.8	16.4	17.5	5.7	2.7	13.3	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	11.6	11.6	18.6	53.5	9.3	67.4	4.7	20.9	2.3	16.3
	身体（精神含む）	8.5	7.5	3.7	30.2	28.4	0.8	3.1	6.9	3.6	0.5
	知的（精神含む）	0.4	1.2	3.7	0.0	1.2	79.6	4.9	4.1	0.8	39.6
	精神	0.4	0.4	0.4	0.7	1.4	4.6	81.1	1.8	2.5	19.6
	手帳なし	0.0	3.0	3.0	0.0	0.0	9.1	0.0	1.5	1.5	50.0
	無回答	0.0	0.0	0.0	4.9	4.9	9.8	4.9	7.3	0.0	22.0

問7 障がいや疾患の診断	11 その他	無回答	回答者数	
全体	5.0	14.8	1546	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	2.3	4.7	43
	身体（精神含む）	4.0	19.0	870
	知的（精神含む）	4.5	6.5	245
	精神	6.4	2.8	281
	手帳なし	18.2	27.3	66
	無回答	2.4	48.8	41

②難病（特定疾患）

【問7で「8. 難病（特定疾患）」と回答した方にお聞きします。】

問7-1 差し支えなければ疾患名をご記入ください。また、その疾患に対してどのような支援があるとよいと思いますか。

疾患名については、記述の多くみられたものを下記に記載。また、あるとよいと思う支援については、一部を紹介。

《疾患名》

- | | | |
|----------|--------------|----------|
| ・うつ病 | ・筋ジストロフィー | ・網膜色素変性症 |
| ・てんかん | ・全身性エリテマトーデス | など |
| ・パーキンソン病 | ・腎不全 | |

《あるとよいと思う支援》

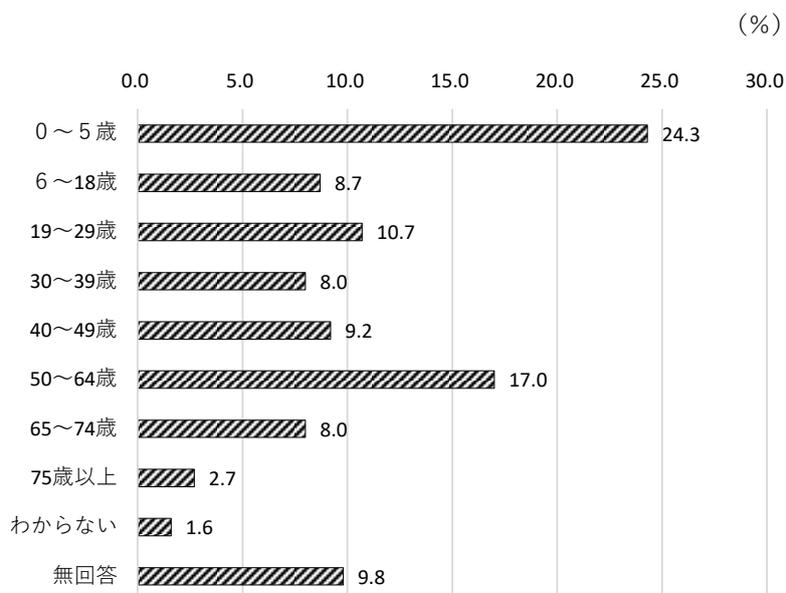
- ・自宅外（学校、学校行事、通院）での介護サービス
- ・再燃となると筋力低下で生活困難となる。療養期間の生活支援サービスが受けられる事が出来たら将来の不安が軽減される。
- ・重度の知的障害やてんかん発作等あり、トイレの自立が不可能なのに療育手帳のみでのオムツ負担がないのは困る。
- ・市内に専門医の外来があると良い
- ・相談が気軽にできる窓口の案内
- ・在宅ワークの職業支援（トイレの回数が多くなったり、ひどい場合外に出れない為）
- ・単発的（必要時）に見守りを行ってくれる教職員の配置（プールや実験、調理実習など）…市として
- ・移動支援の人、サポートの支援（通院等その他）夫一人で相当の疲れが見える（安価又はボランティアでほしい）
- ・同病者あるいは健常者との交流、放談会、囲碁 e t c の同行会
- ・病気に関する知識や情報
- ・借りている酸素の機械無料借し出し・無料でタクシー乗れるようになる（無限）
- ・定期的に訪問して欲しい
- ・文字音声変換システム
- ・進化している義足の助成（役所は、とりあえずあればいいでしょという意識しかない。体の負担少なくなるのにつけられない
- ・重度の知的障害と自閉症を抱えていても地域の中でくらすグループホームがあるといいです
- ・成人後、高校卒業後の療育施設や交流、レクリエーション・行事等。市内に心療内科。
- ・放課後等学習支援
- ・学校長期休暇時の長時間預り支援。放課後等デイサービスでは短い。支援学校と近隣学童間の移動支援
- ・障害者でも休日にできるスポーツ
- ・毎年、難病指定の届けを出すのを中止し、届出なく、継続にして欲しい。書類を集めて提出のが、とても苦痛で大変なので、なんとかして欲しいです
- ・自分の思っている事をうまく伝えられない為相手の言っている事はわかりませんがしっかり聞いてもらえるとありがたいです。
- ・自立支援医療や精神障害者保健福祉手帳の申請期限のメール等電子サービスで通知および電子申請をお願いしたく思います。

(7) 主な障がい・疾患が判明した年齢

問8 主な障がい・疾患がわかったのは何歳ごろでしたか。(○は1つだけ)

「0～5歳」が24.3%、「50～64歳」が17.0%などとなっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」と「知的障がい」では「0～5歳」がその多くを占めており、「身体障がい」では「50～64歳」が、「精神障がい」では「18～29歳」が多くなっています。



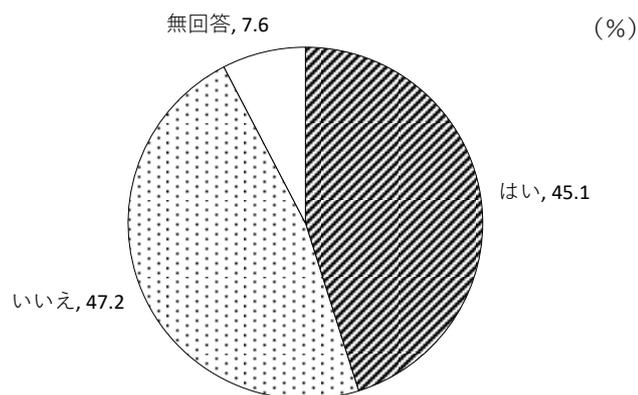
問8 主な障がい・疾患が判明した年齢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	無回答	回答者数	
	0 ～ 5 歳	6 ～ 8 歳	9 ～ 9 歳	3 ～ 3 歳	4 ～ 9 歳	5 ～ 6 歳	6 ～ 7 歳	7 ～ 5 歳 以上	わ か ら な い			
全体	24.3	8.7	10.7	8.0	9.2	17.0	8.0	2.7	1.6	9.8	1546	
障 が い 区 分	身体+知的 (精神含む)	79.1	11.6	2.3	0.0	0.0	4.7	2.3	0.0	0.0	43	
	身体 (精神含む)	10.9	3.9	6.2	7.2	12.3	27.1	13.9	4.7	1.7	12.0	870
	知的 (精神含む)	69.8	17.6	1.2	0.4	0.8	1.6	0.0	0.0	1.2	7.3	245
	精神	6.0	13.2	38.1	20.3	11.4	5.7	0.4	0.0	2.1	2.8	281
	手帳なし	63.6	15.2	0.0	1.5	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	18.2	66
無回答	39.0	14.6	2.4	4.9	4.9	9.8	2.4	0.0	0.0	22.0	41	

(8) 介助や支援の必要性

問9 あなたは普段の生活の中で、何らかの介助や支援を必要としていますか。(○は1つだけ)

「はい」が45.1%、「いいえ」が47.2%となっています。

障がい区分別では、「身体障がい+知的障がい」と「知的障がい」では「はい」が、「身体障がい」と「精神障がい」では「いいえ」が多くなっています。



問9 介助や支援の必要性	1 はい	2 いいえ	無回答	回答者数	
全体	45.1	47.2	7.6	1546	
障がい区分	身体+知的(精神含む)	81.4	11.6	7.0	43
	身体(精神含む)	35.7	55.9	8.4	870
	知的(精神含む)	71.8	22.4	5.7	245
	精神	43.4	52.3	4.3	281
	手帳なし	59.1	31.8	9.1	66
	無回答	36.6	39.0	24.4	41

(9) 介助者について

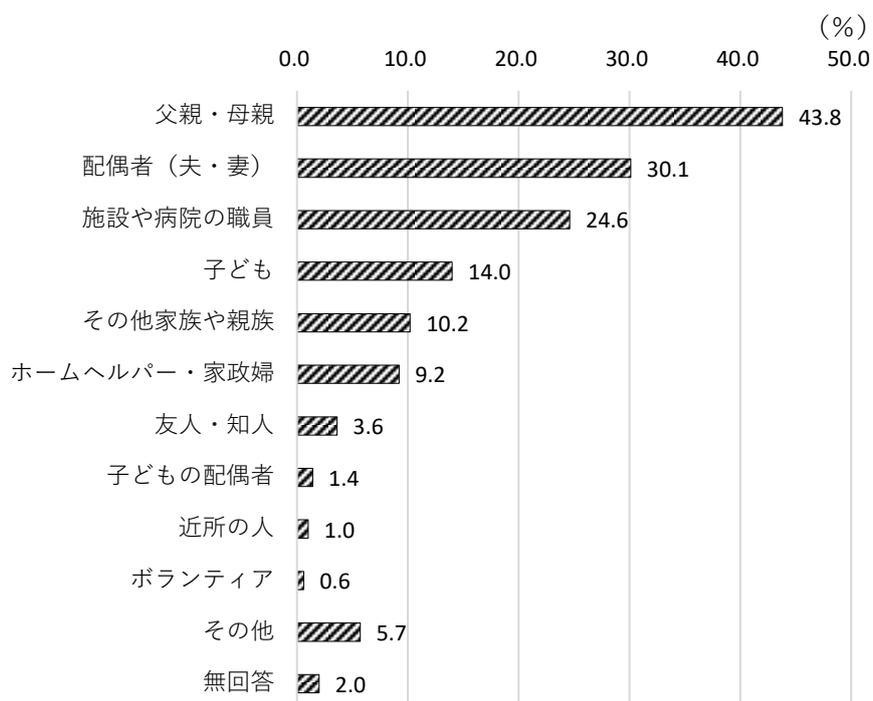
①主な介助者

【問9で「1. はい」と回答した方にお聞きします。】

問9-1 日常生活での主な介助者はどなたですか。(〇はいくつでも)

「父親・母親」が43.8%、「配偶者(夫・妻)」が30.1%、「施設や病院の職員」が24.6%などとなっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい」で「配偶者(夫・妻)」の割合が多くなっていますが、他の区分では「父親・母親」の割合が多くなっています。「身体障がい+知的障がい」と「知的障がい」では、「施設や病院の職員」が第2位と比較的多くなっています。



問9-1 主な介助者	1 配偶者（夫・妻）	2 父親・母親	3 子ども	4 子どもの配偶者	5 その他家族や親族	6 友人・知人	7 近所の人	8 ホームヘルパー・家政婦	9 ボランティア	10 施設や病院の職員	
全体	30.1	43.8	14.0	1.4	10.2	3.6	1.0	9.2	0.6	24.6	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	0.0	68.6	2.9	2.9	11.4	0.0	0.0	11.4	0.0	40.0
	身体（精神含む）	52.4	10.3	27.0	2.6	5.5	3.9	1.6	15.1	1.0	23.5
	知的（精神含む）	2.8	84.7	0.6	0.0	17.0	1.7	0.6	1.7	0.6	34.7
	精神	28.7	49.2	7.4	0.8	10.7	8.2	0.8	5.7	0.0	11.5
	手帳なし	5.1	92.3	2.6	0.0	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	12.8
無回答	33.3	33.3	13.3	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	33.3	

問9-1 主な介助者	11 その他	無回答	回答者数	
全体	5.7	2.0	698	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	0.0	2.9	35
	身体（精神含む）	5.8	1.9	311
	知的（精神含む）	4.0	2.3	176
	精神	10.7	1.6	122
	手帳なし	5.1	2.6	39
無回答	0.0	0.0	15	

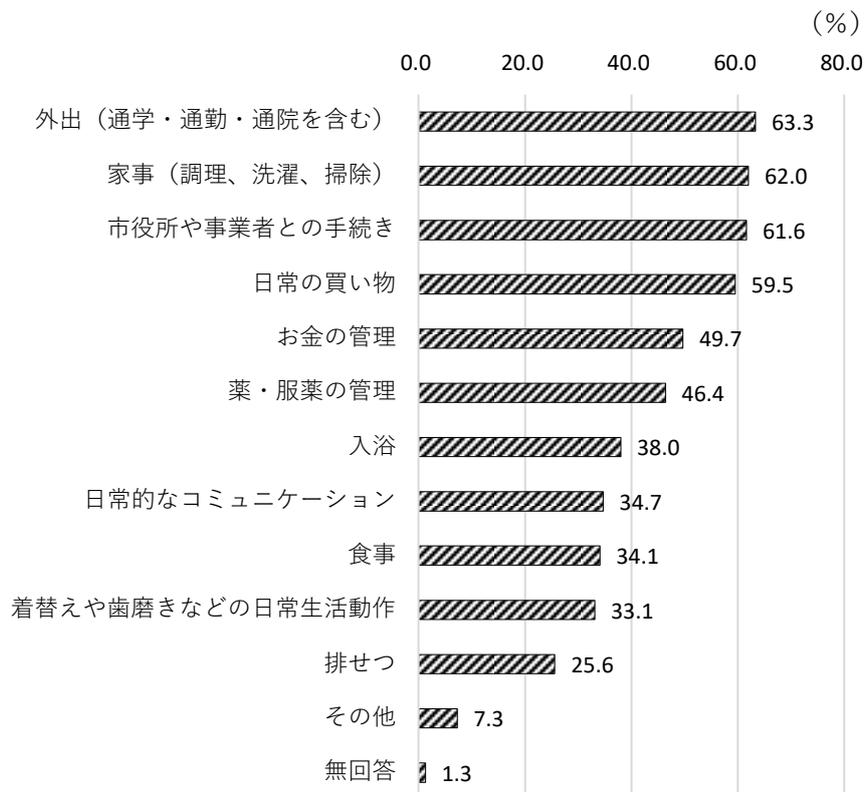
②介助や支援が必要な場面

【問9で「1. はい」と回答した方にお聞きします。】

問9-2 どのような場面で介助や支援が必要ですか。(〇はいくつでも)

「外出（通学・通勤・通院を含む）」が63.3%、「家事（調理、洗濯、掃除）」が62.0%、「市役所や事業者との手続き」が61.6%、「日常の買い物」が59.5%などとなっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」では「お金の管理」と「市役所や事業者との手続き」がともに第1位となっており、「身体障がい」では「外出（通学・通勤・通院を含む）」が、「知的障がい」では「市役所や事業者との手続き」が、「精神障がい」では「家事（調理、洗濯、掃除）」が、それぞれ最も多くなっています。



問9-2 介助や支援が必要な場面	1 食事	2 排せつ	3 入浴	4 着替えや歯磨きなどの日常生活動作	5 外出（通学・通勤・通院を含む）	6 日常の買い物	7 家事（調理、洗濯、掃除）	8 日常的なコミュニケーション	9 薬・服薬の管理	10 お金の管理	
全体	34.1	25.6	38.0	33.1	63.3	59.5	62.0	34.7	46.4	49.7	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	60.0	62.9	68.6	65.7	80.0	71.4	68.6	57.1	77.1	82.9
	身体（精神含む）	32.2	24.4	38.3	28.9	62.7	60.1	55.0	16.1	33.4	36.0
	知的（精神含む）	39.2	32.4	43.2	46.6	70.5	69.3	73.9	59.7	69.9	75.6
	精神	26.2	5.7	17.2	12.3	46.7	46.7	65.6	36.1	39.3	38.5
	手帳なし	25.6	33.3	51.3	38.5	64.1	38.5	41.0	38.5	43.6	41.0
無回答	40.0	26.7	33.3	40.0	86.7	60.0	80.0	53.3	33.3	66.7	

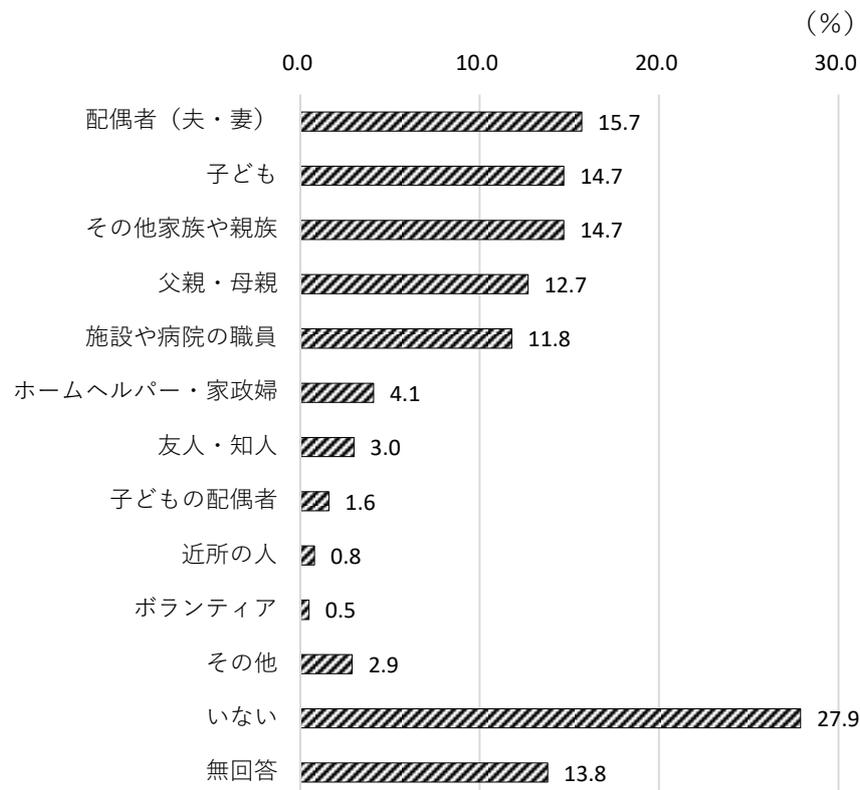
問9-2 介助や支援が必要な場面	11 市役所や事業者との手続き	12 その他	無回答	回答者数	
全体	61.6	7.3	1.3	698	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	82.9	11.4	2.9	35
	身体（精神含む）	54.0	6.8	1.0	311
	知的（精神含む）	80.1	7.4	1.1	176
	精神	54.9	4.1	0.8	122
	手帳なし	38.5	20.5	5.1	39
無回答	66.7	0.0	0.0	15	

③主な介護者が介護できないときの対応

問10 主な介護者が介護（ケア）をできない場合、どなたに代わりにお願いしていますか。
（〇はいくつでも）

「いない」が27.9%であり、「無回答」の13.8%を合わせると41.7%です。主な介護者の代わりにお願いできるのは、「配偶者（夫・妻）」が15.7%、「子ども」と「その他家族や親族」がともに14.7%、「父親・母親」が12.7%度となっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」や「知的障がい」では「その他家族や親族」が、「身体障がい」では「配偶者（夫・妻）」が、「精神障がい」では「父親・母親」が、それぞれ代わりになる方と回答しています。



問10 主な介護者が介護できないときの対応	1 配偶者（夫・妻）	2 父親・母親	3 子ども	4 子どもの配偶者	5 その他家族や親族	6 友人・知人	7 近所の人	8 ホームヘルパー・家政婦	9 ボランティア	10 施設や病院の職員	
全体	15.7	12.7	14.7	1.6	14.7	3.0	0.8	4.1	0.5	11.8	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	7.0	11.6	4.7	4.7	30.2	4.7	2.3	14.0	2.3	23.3
	身体（精神含む）	23.7	4.8	23.1	2.3	7.0	3.4	1.0	5.1	0.3	10.2
	知的（精神含む）	0.8	27.8	2.4	0.0	35.1	3.7	0.8	1.6	0.8	22.0
	精神	7.1	19.2	3.9	0.4	12.1	1.4	0.0	3.2	0.7	7.5
	手帳なし	9.1	27.3	3.0	1.5	31.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
無回答	12.2	22.0	12.2	2.4	31.7	2.4	0.0	2.4	0.0	12.2	

問10 主な介護者が介護できないときの対応	11 その他	12 いない	無回答	回答者数	
全体	2.9	27.9	13.8	1546	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	9.3	23.3	9.3	43
	身体（精神含む）	2.5	23.8	17.5	870
	知的（精神含む）	2.9	26.5	6.1	245
	精神	3.2	45.2	10.0	281
	手帳なし	4.5	25.8	12.1	66
無回答	0.0	12.2	17.1	41	

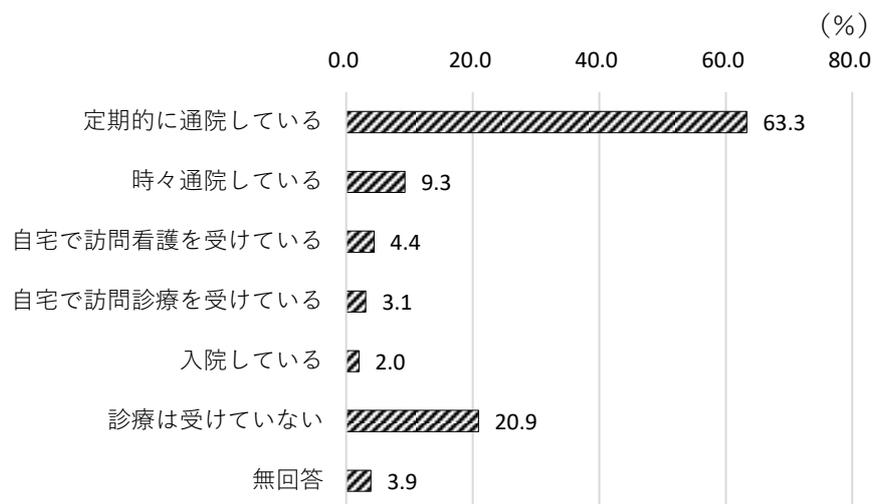
3 保健・医療について

(1) 受診状況

問11 現在、医師の診療や訪問看護を受けていますか。(〇はいくつでも)

「定期的に通院している」の割合が 63.3%、「診療は受けていない」が 20.9%となっています。

障がい区分別でも、いずれも「定期的に通院している」が多くなっています。



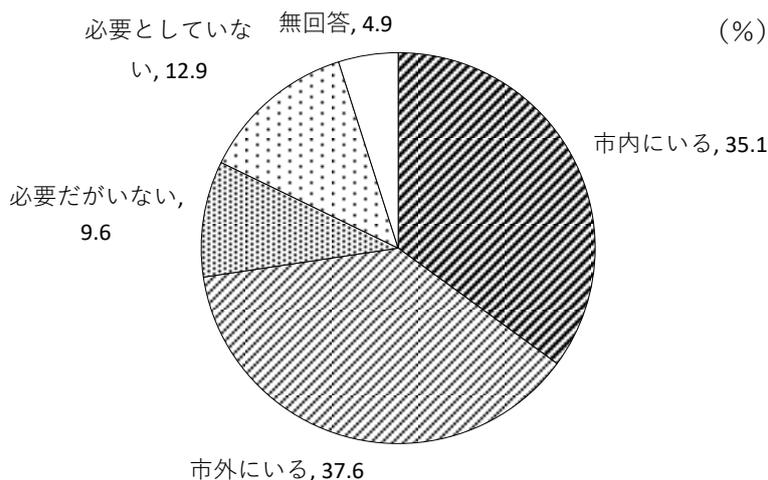
問11 受診状況	1 自宅で訪問診療を受けている	2 自宅で訪問看護を受けている	3 定期的に通院している	4 時々通院している	5 入院している	6 診療は受けていない	無回答	回答者数	
全体	3.1	4.4	63.3	9.3	2.0	20.9	3.9	1546	
障がい区分	身体+知的 (精神含む)	9.3	11.6	67.4	11.6	4.7	9.3	4.7	43
	身体 (精神含む)	4.0	5.3	63.9	8.5	2.6	19.3	4.9	870
	知的 (精神含む)	2.0	2.0	47.3	15.1	0.0	35.9	2.0	245
	精神	1.1	3.9	83.6	4.3	2.1	6.8	1.4	281
	手帳なし	0.0	0.0	37.9	10.6	0.0	53.0	1.5	66
無回答	2.4	2.4	41.5	22.0	0.0	22.0	14.6	41	

(2) かかりつけ医の有無

問 12 あなたには、日常的に診療や相談などを受けられる医師がいますか。(○は1つだけ)

「市外にいる」の割合が37.6%、「市内にいる」が35.1%、「必要としていない」の割合が12.9%となっています。

障がい区分別でも、「市外にいる」が多くなっている中で、「身体障がい」では「市内にいる」が多くなっています。



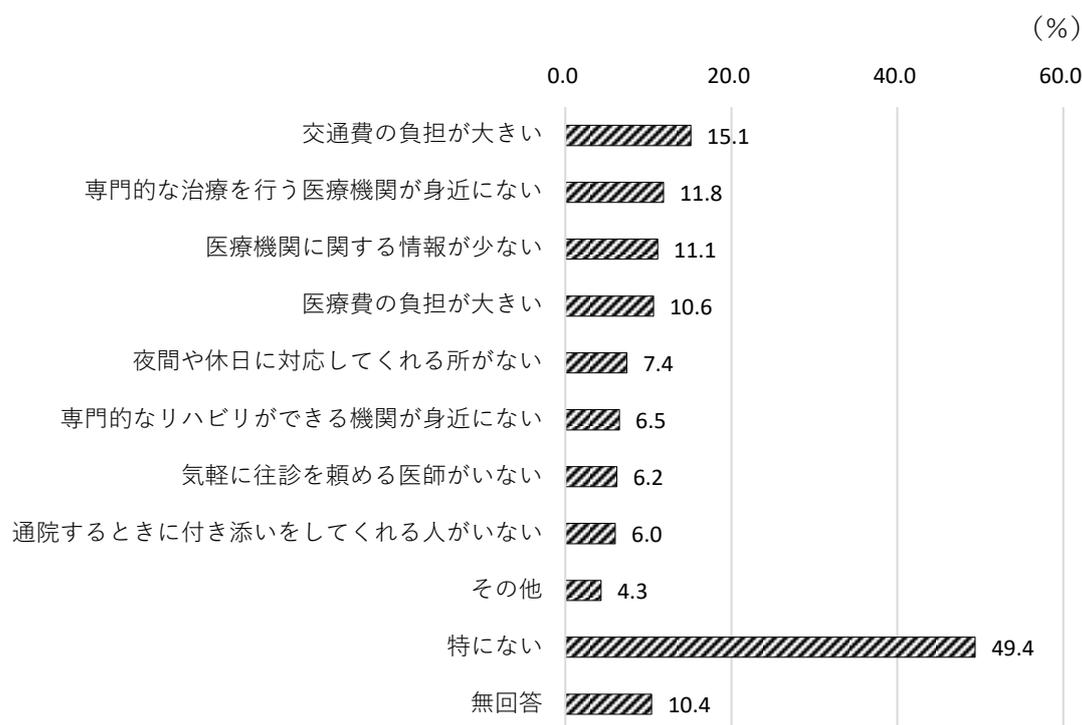
問12	1 市内に いる	2 市外 にいる	3 必要 だが いな い	4 必要 とし てい ない	無 回 答	回 答 者 数
全体	35.1	37.6	9.6	12.9	4.9	1546
障 が い 区 分	身体+知的 (精神含む)	25.6	48.8	16.3	4.7	43
	身体 (精神含む)	45.3	28.5	8.2	12.6	870
	知的 (精神含む)	26.5	35.5	13.9	21.2	245
	精神	16.7	66.2	7.5	6.0	281
	手帳なし	24.2	37.9	13.6	19.7	66
無回答	24.4	34.1	14.6	12.2	14.6	41

(3) 受診等に際して困っていること

問13 医師の診療や定期健診、リハビリを受けるにあたってお困りのことがありますか。
(○はいくつでも)

「特にない」が49.4%、「無回答」が10.4%であり、約6割は困っていることがあると回答しています。困っていることでは、「交通費の負担が大きい」が15.1%、「専門的な治療を行う医療機関が身近にない」が11.8%、「医療機関に関する情報が少ない」が11.1%などとなっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」では、「交通費の負担が大きい」が27.9%で最も多くなっています。



問13 受診等に際して困っていること	1 し通院するときに付き添いをしてくれる人がいない	2 専門的な治療を行う医療機関が身近にない	3 専門的なりハビリができる医療機関が身近にない	4 気軽に往診を頼める医師がない	5 医療費の負担が大きい	6 交通費の負担が大きい	7 夜間や休日に対応してくれる所がない	8 医療機関に関する情報が少ない	9 その他	10 特にない	無回答	回答者数
全体	6.0	11.8	6.5	6.2	10.6	15.1	7.4	11.1	4.3	49.4	10.4	1546
障がい区分												
身体+知的 (精神含む)	9.3	20.9	18.6	16.3	14.0	27.9	25.6	18.6	14.0	14.0	14.0	43
身体 (精神含む)	5.1	8.9	6.1	5.6	10.9	13.3	5.3	8.2	2.6	53.1	12.6	870
知的 (精神含む)	7.3	17.1	6.1	5.7	5.7	9.4	7.8	18.8	4.5	47.8	8.6	245
精神	6.8	11.7	5.0	7.8	15.3	27.0	12.5	10.0	7.5	43.8	5.3	281
手帳なし	4.5	24.2	15.2	4.5	3.0	7.6	4.5	19.7	6.1	54.6	1.5	66
無回答	9.8	12.2	2.4	2.4	9.8	4.9	0.0	14.6	2.4	46.3	19.5	41

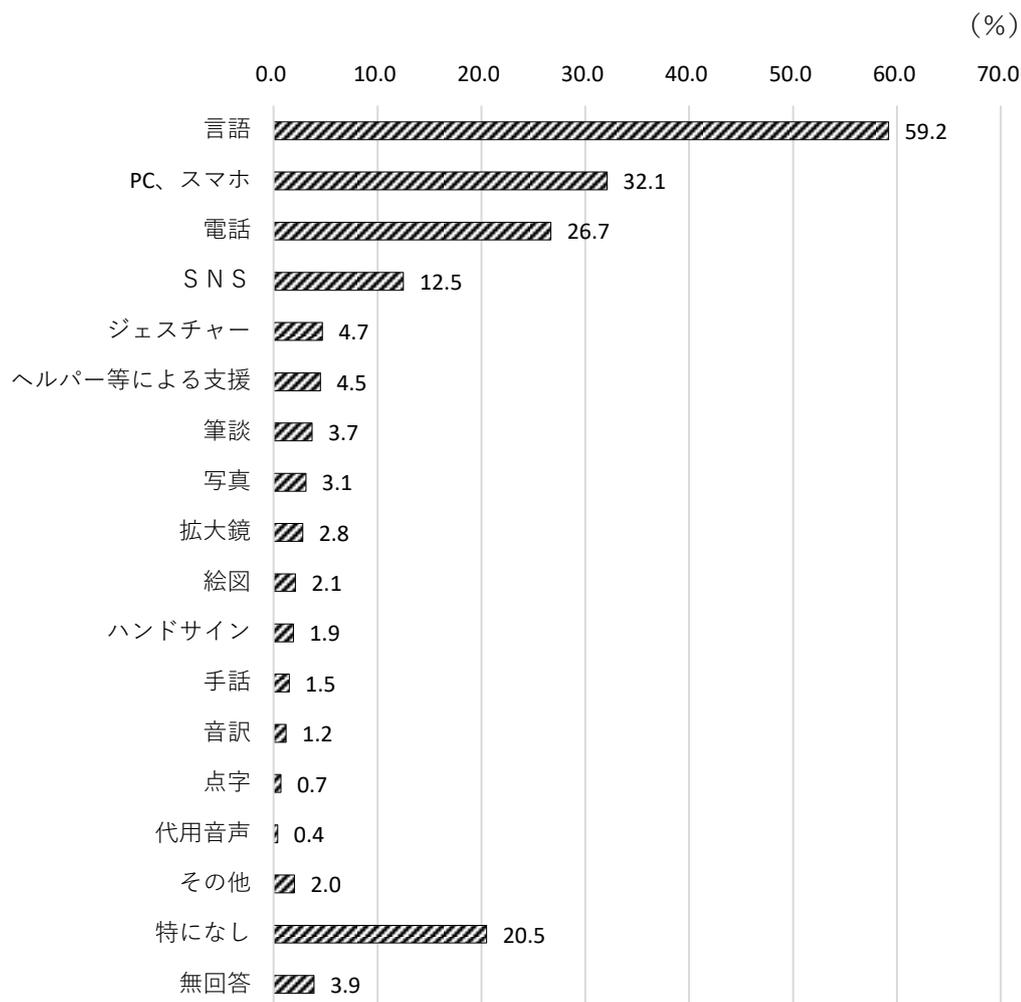
4 相談や情報入手について

(1) 利用しているコミュニケーション手段

問 14 あなたは日常的にどのようなコミュニケーション手段を利用していますか。(〇はいくつでも)

「言語」が59.2%と最も多く、「PC、スマホ」が32.1%、「電話」が26.7%などとなっています。

障がい区分別でも、いずれも「言語」の割合が多くなっています。



問14 利用しているコミュニケーション手段	1 言語	2 手話	3 筆談	4 点字	5 音訳	6 拡大鏡	7 絵図	8 写真	9 ハンドサイン	10 ジェスチャー
全体	59.2	1.5	3.7	0.7	1.2	2.8	2.1	3.1	1.9	4.7
障がい区分	身体+知的（精神含む）	39.5	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0	2.3	0.0	14.0
	身体（精神含む）	51.0	2.1	4.8	1.1	1.8	4.4	0.8	1.0	0.6
	知的（精神含む）	70.2	1.2	3.7	0.0	0.4	0.4	7.8	7.3	13.5
	精神	76.5	0.7	1.8	0.0	0.4	0.7	1.4	6.0	1.4
	手帳なし	80.3	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	1.5
無回答	34.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	2.4	2.4	0.0

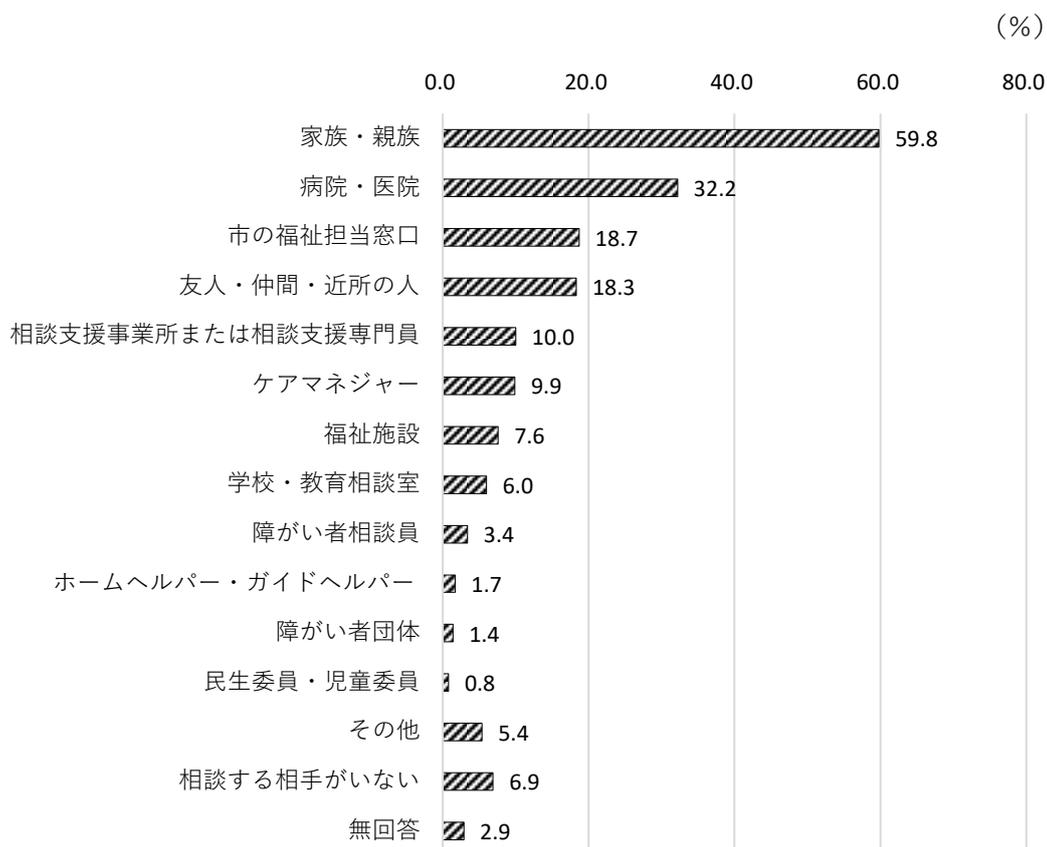
問14 利用しているコミュニケーション手段	11 代用音声	12 P C、 スマホ	13 電話	14 S N S	15 ヘルパー等による支援	16 その他	17 特になし	無回答	回答者数
全体	0.4	32.1	26.7	12.5	4.5	2.0	20.5	3.9	1546
障がい区分	身体+知的（精神含む）	0.0	14.0	16.3	2.3	7.0	34.9	4.7	43
	身体（精神含む）	0.7	30.0	27.7	7.7	4.6	25.3	4.9	870
	知的（精神含む）	0.0	22.0	13.9	8.2	6.1	15.9	2.0	245
	精神	0.0	58.7	44.1	35.9	3.2	2.1	8.9	0.7
	手帳なし	0.0	7.6	3.0	3.0	3.0	0.0	9.1	3.0
無回答	0.0	14.6	12.2	7.3	2.4	9.8	29.3	14.6	41

(2) 相談相手

問 15 あなたは困ったときや、相談したいことがあったとき、だれに相談していますか。
(○はいくつでも)

「家族・親族」が 59.8%、次いで「病院・医院」が 32.2%、「市の福祉相談窓口」が 18.7%、「友人・仲間・近所の人」が 18.3%などとなっています。

障がい区分別でも、「家族・親族」が多くなっています。



問15 相談相手	1 市の福祉担当窓口	2 相談支援事業所または相談支援専門員	3 民生委員・児童委員	4 障がい者相談員	5 学校・教育相談室	6 病院・医院	7 福祉施設	8 ケアマネジャー	9 ホームヘルパー・ガイドヘルパー	10 家族・親族	
全体	18.7	10.0	0.8	3.4	6.0	32.2	7.6	9.9	1.7	59.8	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	27.9	34.9	2.3	7.0	4.7	27.9	23.3	14.0	2.3	39.5
	身体（精神含む）	19.0	3.3	1.1	2.3	0.8	34.7	4.7	14.6	2.4	59.0
	知的（精神含む）	15.9	22.9	0.4	7.8	19.2	16.3	18.8	2.4	0.0	61.6
	精神	18.9	10.3	0.4	1.8	2.5	42.3	3.2	2.1	1.1	60.1
	手帳なし	22.7	34.8	0.0	4.5	37.9	21.2	12.1	3.0	0.0	80.3
無回答	12.2	4.9	0.0	4.9	9.8	26.8	9.8	14.6	2.4	51.2	

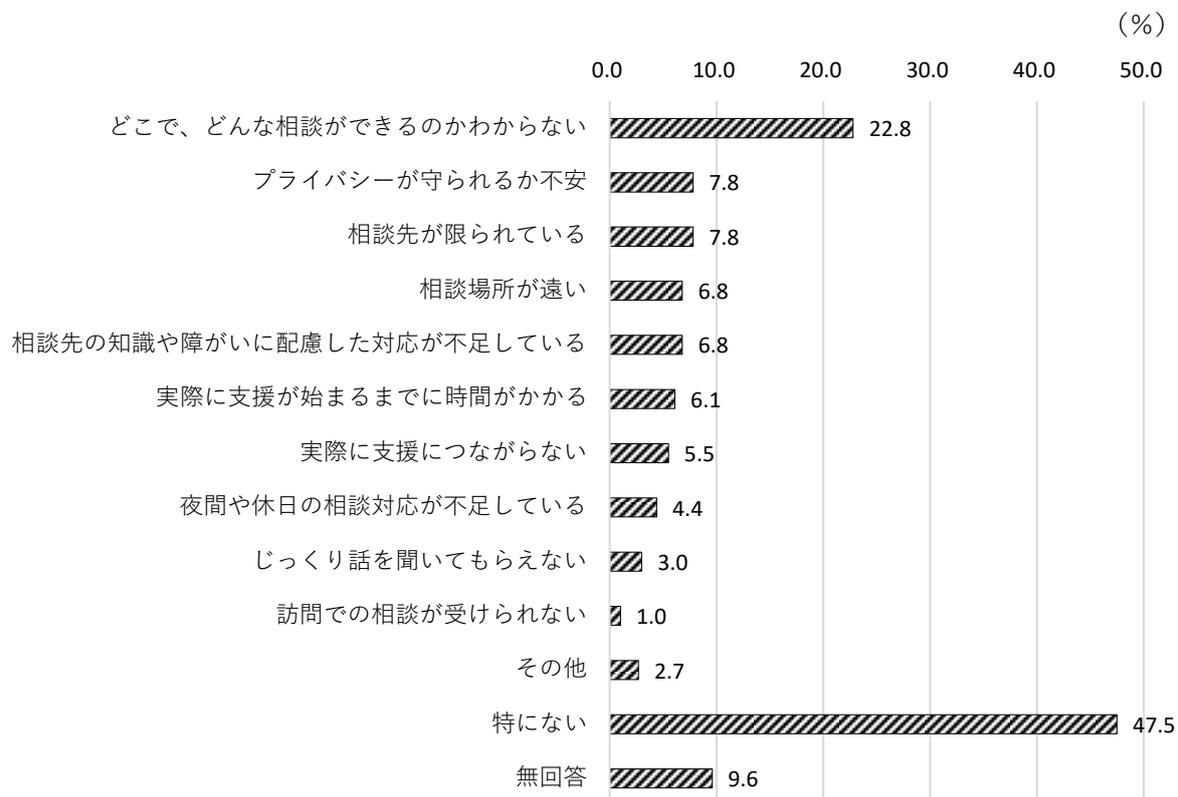
問15 相談相手	11 友人・仲間・近所の人	12 障がい者団体	13 その他	14 相談する相手がない	無回答	回答者数
全体	18.3	1.4	5.4	6.9	2.9	1546
障がい区分	身体+知的（精神含む）	9.3	0.0	9.3	11.6	43
	身体（精神含む）	18.3	1.7	2.0	6.9	870
	知的（精神含む）	19.6	1.2	8.6	4.5	245
	精神	21.0	0.7	12.5	9.6	281
	手帳なし	15.2	0.0	7.6	4.5	66
無回答	7.3	4.9	2.4	2.4	17.1	41

(3) 相談に際して不便なこと

問 16 悩み事や心配事を相談する場合に不便に感じていることがありますか。(主なもの3つまでに○)

「特にない」の割合が47.5%であり、「どこで、どんな相談ができるのかわからない」が22.8%となっています。

障がい区分別でみると、「特にない」が多くなっている中、「精神障がい」では「どこで、どんな相談ができるのかわからない」が最も多くなっています。



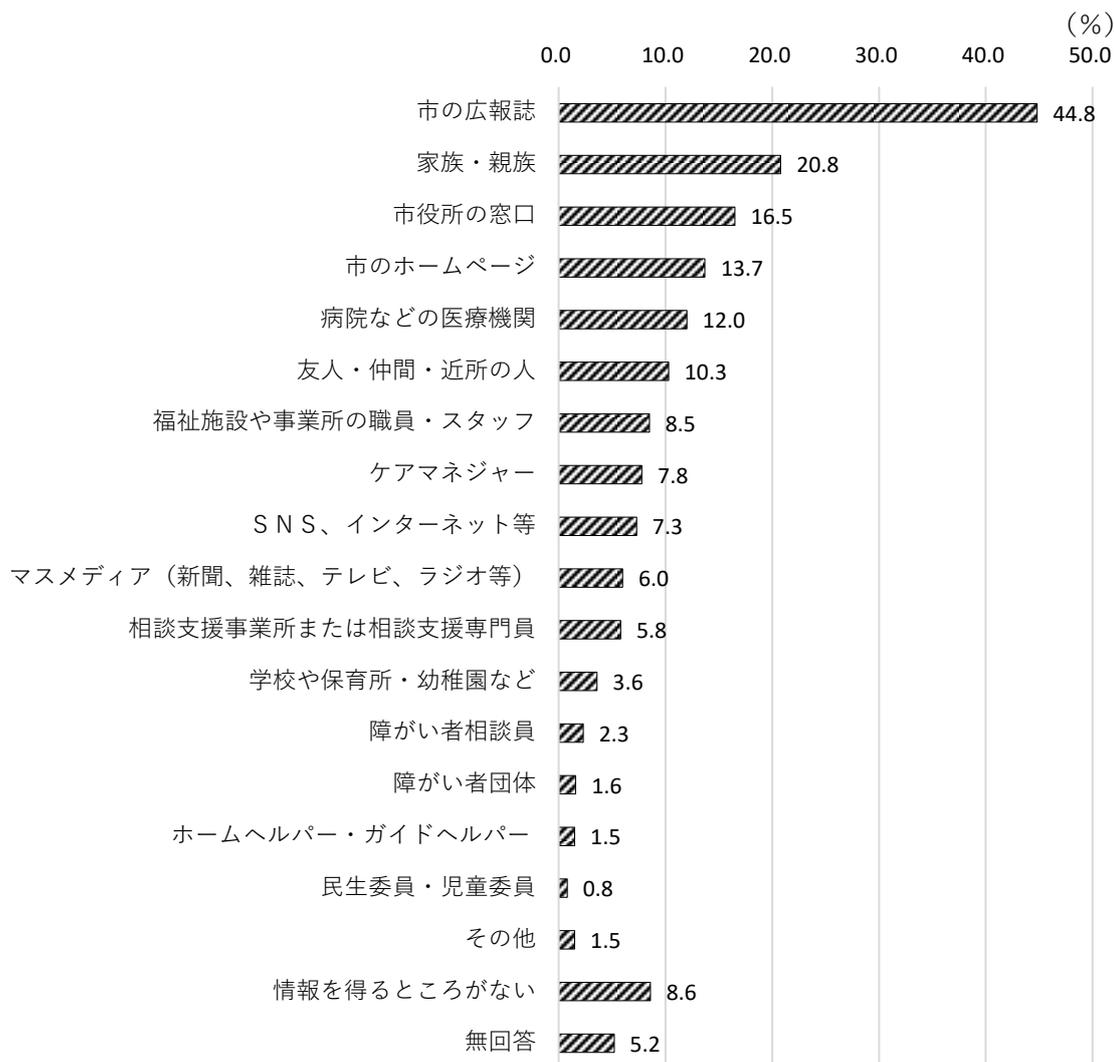
問16 相談に際して不便なこと	1 相談場所が遠い	2 夜間や休日の相談対応が不足している	3 プライバシーが守られるか不安	4 相談先の知識や障がいがいかに配慮しているか	5 実際にかかる時間が始まるまでに	6 実際に支援につながらない	7 どこで、どんな相談ができるのかわからない	8 訪問での相談が受けられない	9 じっくり話を聞いてもらえない	10 相談先が限られている	
全体	6.8	4.4	7.8	6.8	6.1	5.5	22.8	1.0	3.0	7.8	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	2.3	4.7	16.3	20.9	11.6	18.6	23.3	2.3	2.3	11.6
	身体（精神含む）	5.6	3.4	6.7	4.7	4.5	2.5	19.2	1.0	2.0	4.6
	知的（精神含む）	4.9	2.9	4.1	9.8	9.4	8.6	26.1	0.4	2.9	10.2
	精神	12.8	8.9	14.2	8.2	5.0	8.9	32.7	1.4	6.4	15.3
	手帳なし	7.6	6.1	6.1	7.6	16.7	9.1	16.7	0.0	3.0	12.1
無回答	4.9	0.0	4.9	7.3	7.3	7.3	22.0	0.0	2.4	0.0	

問16 相談に際して不便なこと	11 その他	12 特にない	無回答	回答者数	
全体	2.7	47.5	9.6	1546	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	7.0	30.2	11.6	43
	身体（精神含む）	1.5	53.9	11.4	870
	知的（精神含む）	4.1	44.9	8.2	245
	精神	4.6	32.0	5.0	281
	手帳なし	4.5	50.0	3.0	66
無回答	0.0	46.3	22.0	41	

(4) 市のサービス情報の入手先

問 17 市のサービスの情報は、どこから聞いたり、知ったりしていますか。(〇はいくつでも)

「市の広報誌」が 44.8%であり、「家族・親族」が 20.8%、「市役所の窓口」が 16.5%、「市のホームページ」が 13.7%、「病院などの医療機関」が 12.0%などとなっています。障がい区分別でみると、「市の広報誌」や「家族・親族」が多くなっている中、「身体障がい+知的障がい」では「福祉施設や事業所の職員・スタッフ」が第2位となっています。



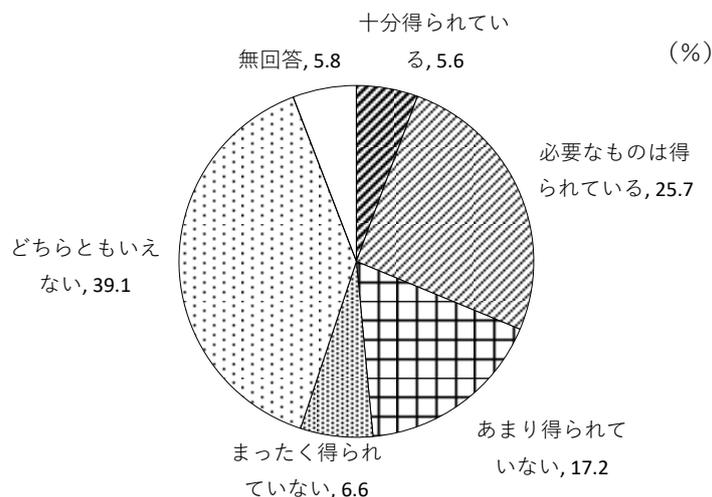
問17 市のサービス情報の入手先	1 市の広報誌	2 市役所の窓口	3 市のホームページ	4 相談支援事業所または相談支援専門員	5 民生委員・児童委員	6 障がい者相談員	7 学校や保育所・幼稚園など	8 病院などの医療機関	9 ケアマネジャー	10 福祉施設や事業所の職員・スタッフ	
全体	44.8	16.5	13.7	5.8	0.8	2.3	3.6	12.0	7.8	8.5	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	39.5	25.6	7.0	23.3	2.3	7.0	7.0	9.3	34.9	
	身体（精神含む）	53.9	16.8	15.3	1.8	0.9	1.5	0.3	15.6	11.8	
	知的（精神含む）	32.2	11.8	7.8	14.7	0.0	4.5	11.8	1.6	0.8	
	精神	35.9	18.1	14.6	3.2	0.7	1.8	0.0	12.5	1.4	
	手帳なし	22.7	19.7	19.7	22.7	1.5	4.5	21.2	6.1	3.0	
無回答	29.3	12.2	7.3	9.8	0.0	2.4	14.6	7.3	12.2	2.4	
問17 市のサービス情報の入手先	11 ホームヘルパー・ガイドヘルパー	12 家族・親族	13 友人・仲間・近所の人	14 障がい者団体	15 マスメディア（新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等）	16 SNS、インターネット等	17 その他	18 情報を得るところがない	無回答	回答者数	
全体	1.5	20.8	10.3	1.6	6.0	7.3	1.5	8.6	5.2	1546	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	0.0	14.0	14.0	0.0	4.7	2.3	2.3	7.0	0.0	43
	身体（精神含む）	2.2	18.3	11.3	1.4	7.5	6.0	1.1	6.6	6.2	870
	知的（精神含む）	0.8	31.0	13.5	3.3	2.4	4.1	1.6	10.6	4.1	245
	精神	0.0	20.6	5.7	0.7	5.3	14.2	2.5	13.9	2.5	281
	手帳なし	0.0	24.2	9.1	0.0	3.0	12.1	0.0	4.5	0.0	66
無回答	4.9	14.6	2.4	4.9	4.9	4.9	2.4	12.2	22.0	41	

(5) 市のサービス情報入手の十分さ

問18 市のサービスの情報は、十分に得られていますか。(○は1つだけ)

「必要なものは得られている」が25.7%と約4分の1となっています。「どちらともいえない」が39.1%と最も多くなっています。

障がい区分別でみると、各障がいとも「どちらともいえない」が最も多く、次いで「必要なものは得られている」となっています。



問18 市のサービス情報入手の十分さ	1 十分得られている	2 必要なものは得られている	3 あまり得られていない	4 まったく得られていない	5 どちらともいえない	無回答	回答者数	
全体	5.6	25.7	17.2	6.6	39.1	5.8	1546	
障がい区分	身体+知的(精神含む)	9.3	20.9	18.6	9.3	39.5	2.3	43
	身体(精神含む)	6.0	27.1	15.1	5.9	38.9	7.1	870
	知的(精神含む)	4.1	20.4	18.4	5.7	46.1	5.3	245
	精神	5.3	26.0	22.1	9.3	35.2	2.1	281
	手帳なし	7.6	24.2	19.7	6.1	40.9	1.5	66
	無回答	2.4	31.7	17.1	7.3	24.4	17.1	41

(6) 入手情報

【問18で「1.」～「4.」と回答した方にお聞きします。】

問18-1 情報が得られている方は、どのような情報が得られているか、また、情報が得られていない方は、どのような情報が必要ですか。具体的にご記入ください。

463件の記述があり、その中から一部を紹介します。

情報が得られている方

- うつ病と診断された時、何十年も自立支援のサービスを知りませんでした。知人が教えてくれて2年前からサービスを受けられる様になり金銭面の負担も軽減されて良かったです。
- グループホームのしょくいんをとうしてじょうほうをえている
- ケアマネージャーや広報誌により、十分情報を得ていると思う。
- ネット等で情報得られる。
- はがきが来る
- 医療関連の検査等の情報
- 医療費支援を頂いています（窓口で教わりました）十分感謝しています。困った時は市役所の窓口に伺います。
- 基本的に似たような悩みを抱えている母友と話をしてこういう時はここに相談するとよいとか教えてもらっている。放課後デイを利用する手順など…
- 具体的な支援情報
- 健康ガイドなど
- 公式LINE
- 広報誌の中で、イベント、市民伝言板、ご案内等
- 支援員さんには、事業所の紹介、事業所の方からは、就学前に向けての相談情報など、
- HPで見ることができる情報
- ケアマネージャーに聞いて情報を得ている。
- ショートステイ、病院などの情報を得ている
- タクシー券の利用、循環バスの利用、ガソリン代
- デイサービス、自立支援医療について
- デマンドタクシー
- 医療費について
- 介護保険サービス、市のサービス（布団乾燥）社協のサービス（草むしり）
- 健康診断等
- 子育てについて
- 子供が利用できるショートステイ先、行動援護事業所
- 児童発達支援の情報
- 自立支援医療受給しており、病院代が安くなっている。薬代も安くなっていて助かっている。

- 就職支援の情報
- 障がい者手帳所持によるメリット
- 配食サービス。寝具乾燥サービス。ふれあい収集
- 郵送による申請の窓口情報

情報を得られていない方

- どのような制度があり、利用できるか調べないとわからない
- 20歳から特別障害手当がもらえるはずだったのに、そのこと知りませんでした。療育手帳しかもっていないと、役所から特別障害手当がもらえますよ、手続きしてくださいという情報を得られませんでした。身体障害者手帳と療育手帳をもっている人には連絡が行っていたそうですが…
- LINEの公式アカウントで、もっと情報がほしい
- あちこち相談するのではなく、探し回るのではなく、ワンストップで情報を取れる窓口やホームページがほしい。休日・夜の対応がほしい。
- サービスがどのようなサービスがあるのかすら、わからない。
- サービスを受ける方法がわからないことが多い。更新方法なども。
- マイナンバーカードについて
- リハビリに行ける場所の情報が欲しい
- 移動支援
- 高校卒業後の生活について、グループホームについてなど
- 支援やサービス
- 支援金について
- 就職関連（転職先情報等）
- 生活支援など
- 精神障害者向けのサービス
- 放課後デイサービスの空き状況

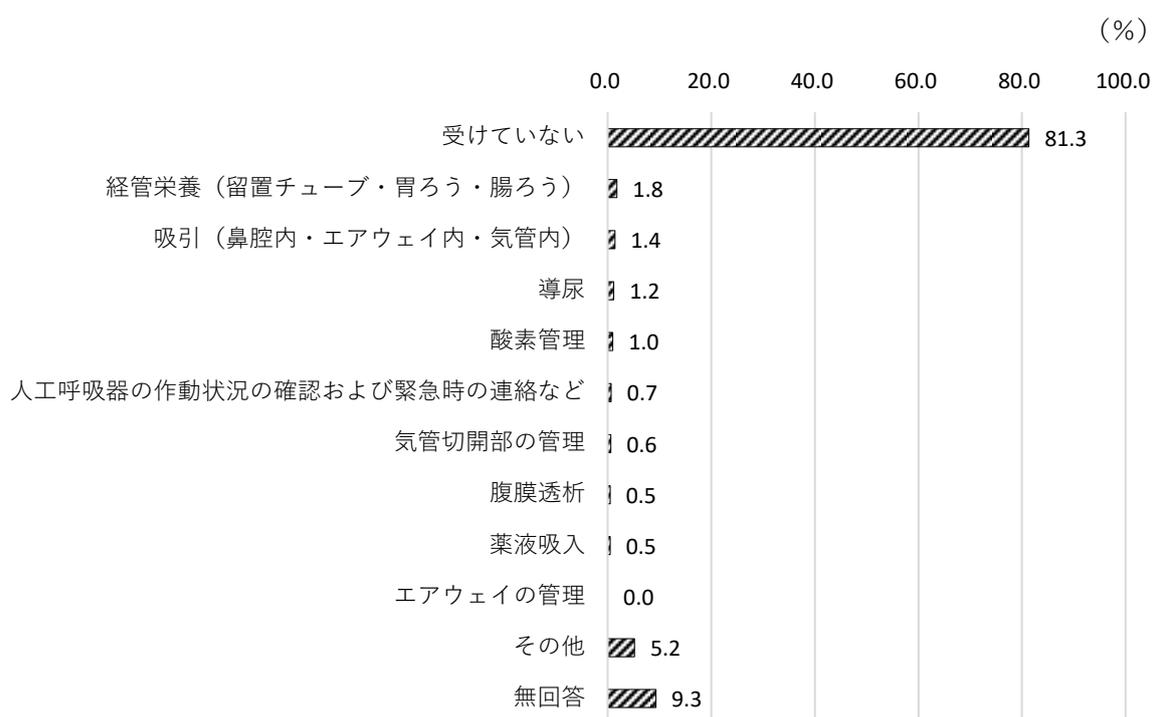
5 医療的ケアについて

(1) 医療的ケアの利用

問 19 あなたは、医療的な支援（医療的ケア）を受けていますか。（○はいくつでも）

「受けていない」の割合が81.3%となっています。

障がい区分別でみると、いずれも「受けていない」が多くなっています。「身体障がい＋知的障がい」の第2位は「経管栄養（留置チューブ・胃ろう・腸ろう）」や「吸引（鼻腔内・エアウェイ内・器管内）」となっています。



問19 医療的ケアの利用	1 受けていない	2 経管栄養（留置チューブ・胃ろう・腸ろう）	3 吸引（鼻腔内・エアウェイ内・気管内）	4 酸素管理	5 エアウェイの管理	6 導尿	7 気管切開部の管理	8 腹膜透析	9 薬液吸入	10 人工呼吸器の作動状況の確認 および緊急時の連絡など	
全体	81.3	1.8	1.4	1.0	0.0	1.2	0.6	0.5	0.5	0.7	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	53.5	14.0	14.0	7.0	0.0	2.3	7.0	0.0	4.7	2.3
	身体（精神含む）	77.1	2.3	1.5	1.4	0.0	2.0	0.8	0.9	0.3	1.1
	知的（精神含む）	89.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	精神	89.7	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
	手帳なし	97.0	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0
無回答	70.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	

問19 医療的ケアの利用	11 その他	無回答	回答者数
全体	5.2	9.3	1546
障がい区分	身体+知的（精神含む）	9.3	43
	身体（精神含む）	7.0	870
	知的（精神含む）	2.9	245
	精神	3.2	281
	手帳なし	0.0	66
無回答	0.0	26.8	41

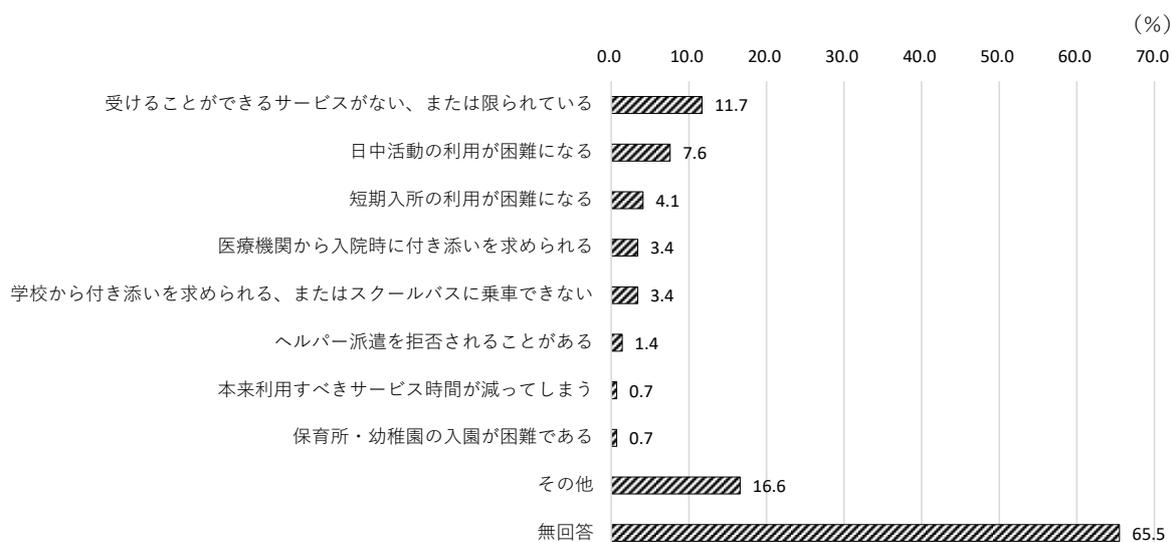
(2) 医療的ケアで困っていること

【問19で「2～11」と回答した方にお聞きします。】

問19-1 日常生活の中で、医療的ケアに関して困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

「受けることができるサービスがない、または限られている」が11.7%と多くなっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」では「受けることができるサービスがない、または限られている」や「学校から付き添いを求められる、またはスクールバスに乗車できない」が比較的多くなっています。



問19-1 医療的ケアで困っていること	1 受けることができるサービスがない、または限られている	2 ヘルパー派遣を拒否されることがある	3 本来利用すべきサービス時間が減ってしまう	4 日中活動の利用が困難になる	5 短期入所の利用が困難になる	6 医療機関から入院時に付き添いを求められる	7 学校から付き添いを求められ、またはスクールバスに乗車できない	8 保育所・幼稚園の入園が困難である	9 その他	無回答	回答者数
全体	11.7	1.4	0.7	7.6	4.1	3.4	3.4	0.7	16.6	65.5	145
障がい区分	身体+知的(精神含む)	42.9	14.3	7.1	28.6	21.4	35.7	7.1	21.4	14.3	14
	身体(精神含む)	8.0	0.0	0.0	4.5	0.9	0.9	0.0	16.1	72.3	112
	知的(精神含む)	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	71.4	7
	精神	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	30.0	60.0	10
	手帳なし	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	1	

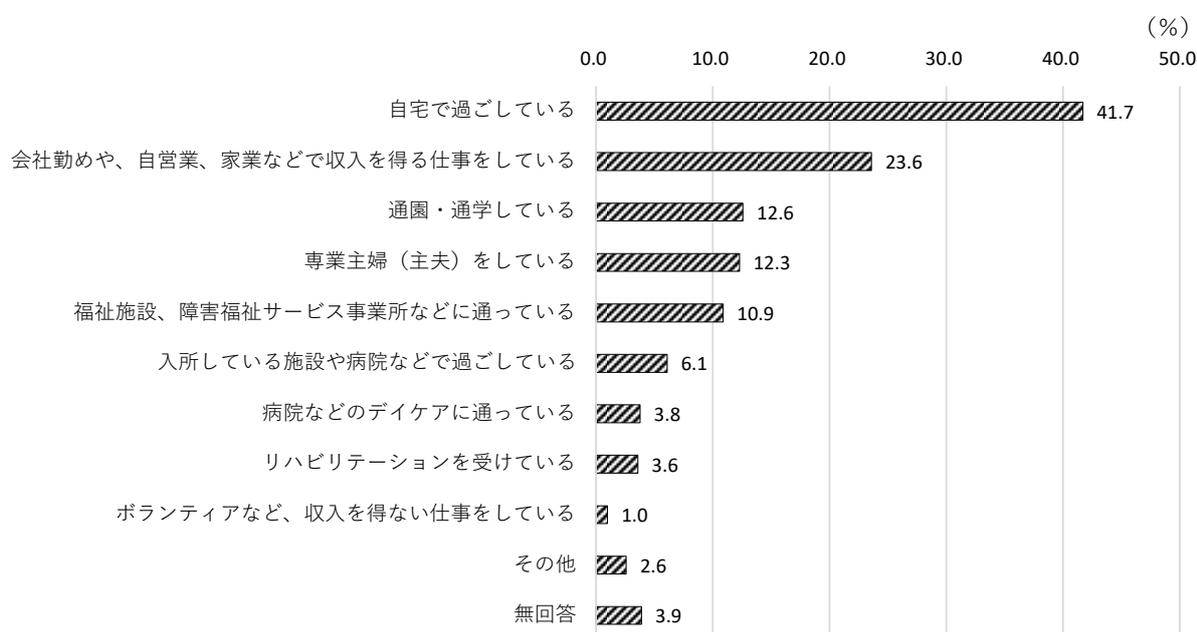
6 日中の活動や仕事の状況について

(1) 日中の過ごし方

問 20 平日の日中は主にどのように過ごしていますか。(主なもの3つまでに○)

「自宅で過ごしている」が41.7%と最も多く、次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」が23.6%、「専業主婦（主夫）をしている」が12.3%などとなっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい」と「精神障がい」では「自宅で過ごしている」の割合が最も多く、「身体障がい+知的障がい」では「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」が、「知的障がい」では「通園・通学している」が最も多くなっています。



問20 日中の過ごし方	1 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている	2 ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	3 専業主婦（主夫）をしている	4 福祉施設、障害福祉サービス事業所などに通っている	5 病院などのデイケアに通っている	6 リハビリテーションを受けている	7 自宅で過ごしている	8 入所している施設や病院などで過ごしている	9 通園・通学している	10 その他	無回答	回答者数
全体	23.6	1.0	12.3	10.9	3.8	3.6	41.7	6.1	12.6	2.6	3.9	1546
障がい区分												
身体+知的（精神含む）	14.0	0.0	2.3	30.2	2.3	0.0	14.0	20.9	23.3	2.3	4.7	43
身体（精神含む）	23.9	1.1	17.6	5.5	4.7	5.6	54.1	6.3	1.5	2.8	4.7	870
知的（精神含む）	24.5	0.0	0.0	28.6	1.2	0.4	7.8	6.9	34.3	1.2	2.0	245
精神	29.2	2.1	12.1	10.0	4.3	1.4	47.0	3.2	7.1	3.6	2.1	281
手帳なし	3.0	0.0	1.5	3.0	0.0	0.0	4.5	1.5	90.9	1.5	0.0	66
無回答	17.1	0.0	2.4	17.1	2.4	4.9	31.7	7.3	19.5	2.4	14.6	41

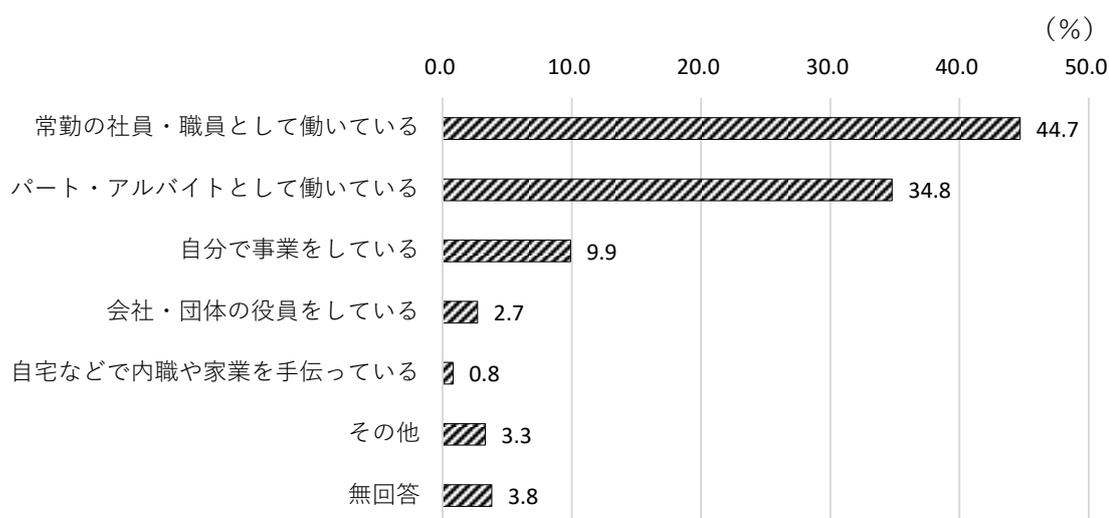
(2) 就労状況

①現在の働き方

問21 あなたは、現在、どのように働いていますか。(○は1つだけ)

「常勤の社員・職員として働いている」が44.7%、「パート・アルバイトとして働いている」が34.8%となっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」と「知的障がい」では「パート・アルバイトとして働いている」が、「身体障がい」と「精神障がい」では「常勤の社員・職員として働いている」が多くなっています。



問21 就労状況 ①現在の働き方	1 常勤の社員・職員として働いている	2 パート・アルバイトとして働いている	3 自分で事業をしている	4 自宅などで内職や家業を手伝っている	5 会社・団体の役員をしている	6 その他	無回答	回答者数
全体	44.7	34.8	9.9	0.8	2.7	3.3	3.8	365
障がい区分	身体+知的 (精神含む)	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7	6
	身体 (精神含む)	47.6	26.9	14.4	0.5	4.8	1.9	208
	知的 (精神含む)	36.7	51.7	1.7	0.0	0.0	8.3	60
	精神	46.3	39.0	4.9	2.4	0.0	3.7	82
	手帳なし	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
無回答	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7

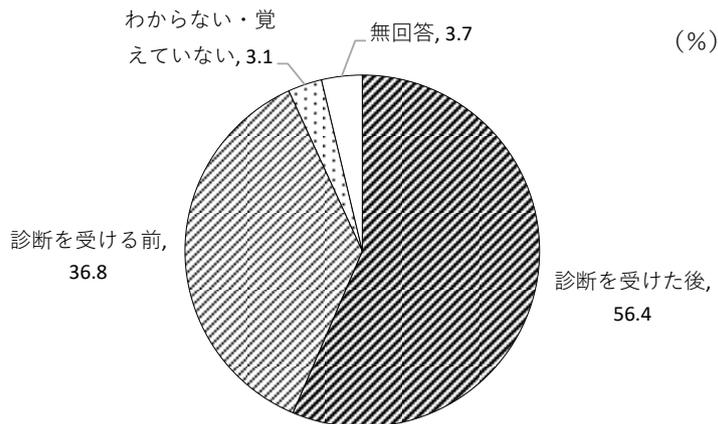
②障がい等の診断と就労の時期

【問 21 で「1. 常勤の社員・職員として働いている」と回答した方にお聞きします。】

問 21-1 現在の職場に就職したのは、疾患や障がいの診断を受ける後でしたか。(○は1つだけ)

「診断を受けた後」が 56.4、「診断を受ける前」が 36.8%となっています。

障がい区分別でみると、「診断を受けた後」の割合が多い中、「身体障がい」では「診断を受ける前」が多くなっています。



問21-1 障がい等の診断と就労の時期	1 診断を受けた後	2 診断を受ける前	3 わからない・覚えていない	無回答	回答者数
全体	56.4	36.8	3.1	3.7	163
障がい区分					
身体+知的 (精神含む)	100.0	0.0	0.0	0.0	1
身体 (精神含む)	45.5	47.5	3.0	4.0	99
知的 (精神含む)	77.3	9.1	9.1	4.5	22
精神	71.1	26.3	0.0	2.6	38
手帳なし	-	-	-	-	0
無回答	66.7	33.3	0.0	0.0	3

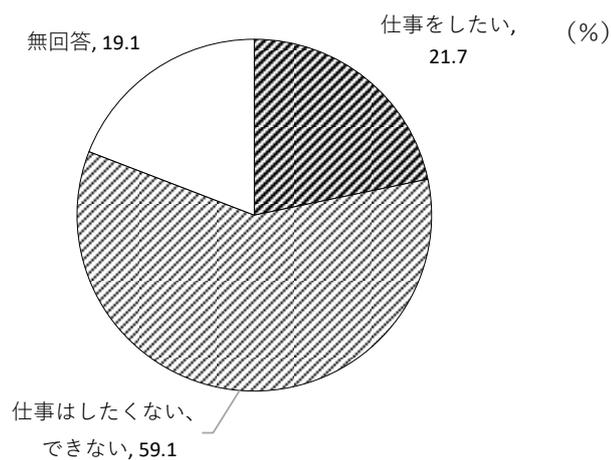
(3) 今後の就労

①就労意向

【問 20 で「2.」～「8.」と回答した方にお聞きします。】

問 22 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(○は1つだけ)

「仕事をしたい」が 21.7%、「仕事はしたくない、できない」が 59.1%となっています。
障がい区分別でみると、いずれも「仕事はしたくない、できない」が多くなっています。



問22 就労意向	1 仕事をしたい	2 仕事はしたくない、 できない	無 回 答	回 答 者 数	
全体	21.7	59.1	19.1	961	
障 が い 区 分	身体+知的 (精神含む)	7.4	63.0	29.6	27
	身体 (精神含む)	13.6	66.3	20.0	624
	知的 (精神含む)	40.8	41.7	17.5	103
	精神	42.5	43.6	14.0	179
	手帳なし	0.0	57.1	42.9	7
	無回答	19.0	57.1	23.8	21

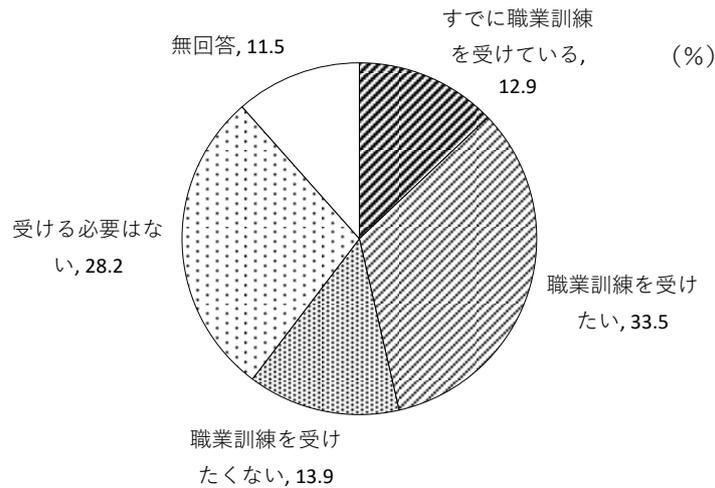
②職業訓練の意向

【問 22 で「1. 仕事をしたい」と回答した方にお聞きします。】

問 22-1 収入を得る仕事に就くために、職業訓練などを受けたいと思いますか。(○は1つだけ)

「職業訓練を受けたい」が 33.5%、「受ける必要はない」が 28.2%、「職業訓練を受けたくない」が 13.9%となっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」と「知的障がい」、「精神障がい」では「職業訓練を受けたい」が多くなっています。



問22-1 職業訓練の意向	1 すでに職業訓練を受けている	2 職業訓練を受けたい	3 職業訓練を受けたくない	4 受ける必要はない	無回答	回答者数
全体	12.9	33.5	13.9	28.2	11.5	209
障がい区分	身体+知的 (精神含む)	0.0	100.0	0.0	0.0	2
	身体 (精神含む)	5.9	27.1	12.9	38.8	85
	知的 (精神含む)	23.8	28.6	11.9	28.6	42
	精神	13.2	42.1	17.1	18.4	76
	手帳なし	-	-	-	-	0
無回答	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	4

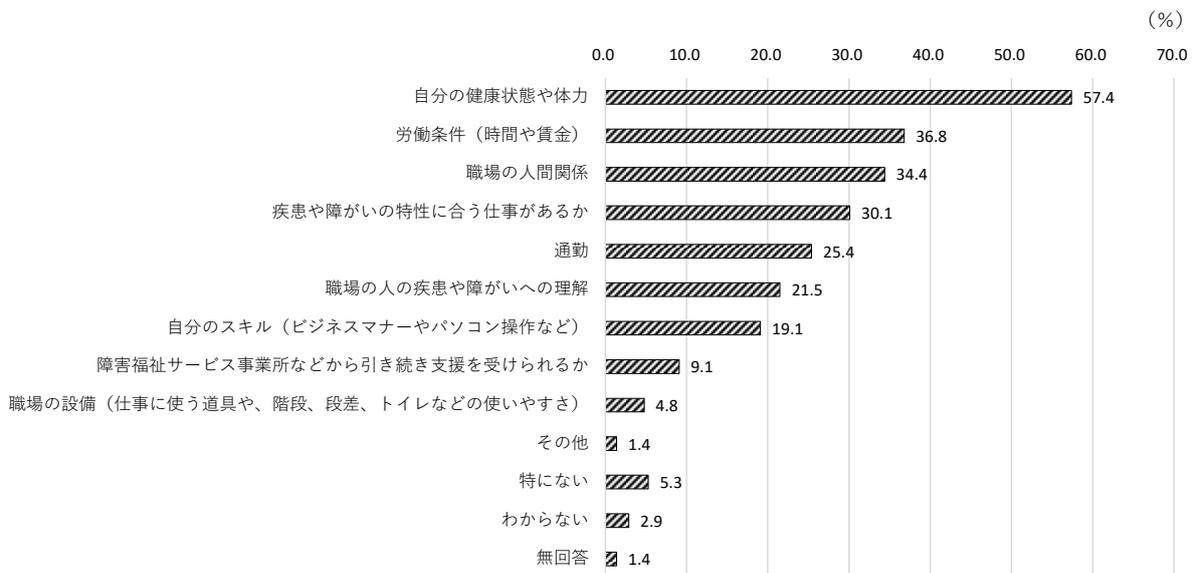
③就労にあたって心配なこと

【問 22 で「1. 仕事をしたい」と回答した方にお聞きします。】

問 22-2 働くにあたって、特に心配なことはありますか。(主なもの3つまでに○)

「自分の健康状態や体力」が 57.4%、「労働条件（時間や賃金）」が 36.8%、「職場の人間関係」が 34.4%、「疾患や障がいの特性に合う仕事があるか」が 30.1%などとなっています。

障がい区分別では、「身体障がい」と「精神障がい」では「自分の健康状態や体力」が最も多く、「知的障がい」では「疾患や障がいの特性に合う仕事があるか」と「職場の人間関係」が多くなっています。



問22-2 就労にあたって心配なこと	1 労働条件 (時間や賃金)	2 自分の健康状態や体力	3 自分のスキル(ビジネスマナーやパソコン操作など)	4 通勤	5 疾患や障がい の特性に合う	6 職場の設備(仕事に使う道具や階段、段差、トイレなどの使いやすさ)	7 職場の人間関係	8 職場の人の疾患や障がいへの理解	9 障害福祉サービス事業所などから引き続き支援を受けられるか	10 その他
全体	36.8	57.4	19.1	25.4	30.1	4.8	34.4	21.5	9.1	1.4
障がい区分	身体+知的(精神含む)	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	身体(精神含む)	38.8	61.2	14.1	28.2	36.5	5.9	21.2	10.6	5.9
	知的(精神含む)	19.0	23.8	19.0	21.4	38.1	9.5	38.1	28.6	11.9
	精神	44.7	73.7	23.7	25.0	19.7	1.3	50.0	28.9	6.6
	手帳なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	75.0	0.0

問22-2 就労にあたって心配なこと	11 特 に な い	12 わ か ら な い	無 回 答	回 答 者 総 数	
全体	5.3	2.9	1.4	209	
障がい区分	身体+知的(精神含む)	0.0	0.0	0.0	2
	身体(精神含む)	7.1	2.4	1.2	85
	知的(精神含む)	9.5	4.8	2.4	42
	精神	0.0	2.6	1.3	76
	手帳なし	-	-	-	0
無回答	25.0	0.0	0.0	4	

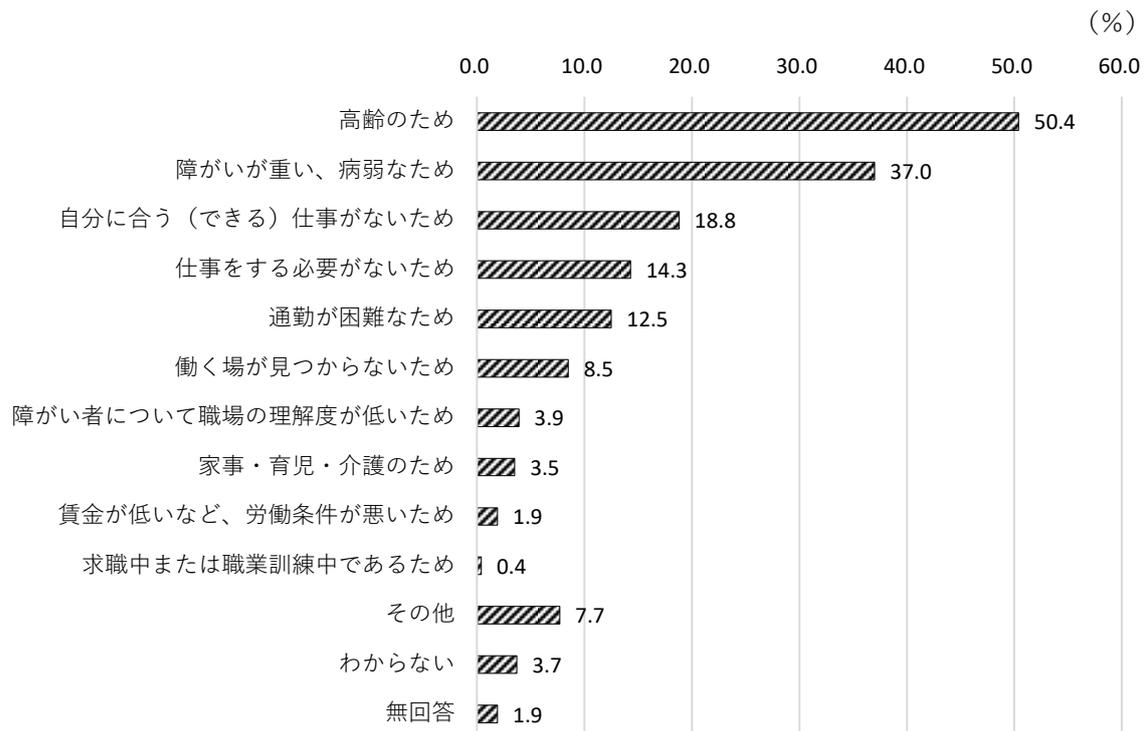
④就労しない理由

【問 22 で「2. 仕事はしたくない、できない」と回答した方にお聞きします。】

問 22-3 仕事はしたくない、できないと思う理由は何ですか。(主なものを3つまでに○)

「高齢のため」が 50.4%、「障がい重い、病弱なため」が 37.0%、「自分に合う（できる）仕事がないため」が 18.8%となっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」と「知的障がい」は「障害が重い、病弱なため」が、「身体障がい」は「高齢のため」が、「精神障がい」では「自分に合う（できる）仕事がないため」が多くなっています。



問22-3 就労しない理由	1 高齢のため	2 求職中または職業訓練中であるため	3 仕事をする必要がないため	4 障がい重い、病弱なため	5 働く場が見つからないため	6 賃金が低いなど、労働条件が悪い	7 自分に合う(できる)仕事がない	8 通勤が困難なため	9 家事・育児・介護のため	10 障がい者について職場の理解度が低い	
全体	50.4	0.4	14.3	37.0	8.5	1.9	18.8	12.5	3.5	3.9	
障がい区分	身体+知的(精神含む)	17.6	0.0	0.0	70.6	5.9	0.0	11.8	11.8	0.0	5.9
	身体(精神含む)	62.3	0.0	17.1	34.3	6.3	1.0	13.8	10.6	3.1	1.0
	知的(精神含む)	14.0	0.0	4.7	46.5	16.3	2.3	32.6	14.0	0.0	11.6
	精神	12.8	2.6	7.7	38.5	16.7	7.7	42.3	20.5	9.0	14.1
	手帳なし	75.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
無回答	50.0	0.0	8.3	33.3	8.3	0.0	8.3	16.7	0.0	8.3	

問22-3 就労しない理由	11 その他	12 わからない	無回答	回答者数	
全体	7.7	3.7	1.9	568	
障がい区分	身体+知的(精神含む)	5.9	5.9	5.9	17
	身体(精神含む)	7.2	1.7	1.4	414
	知的(精神含む)	4.7	14.0	4.7	43
	精神	12.8	9.0	0.0	78
	手帳なし	0.0	0.0	25.0	4
無回答	8.3	0.0	8.3	12	

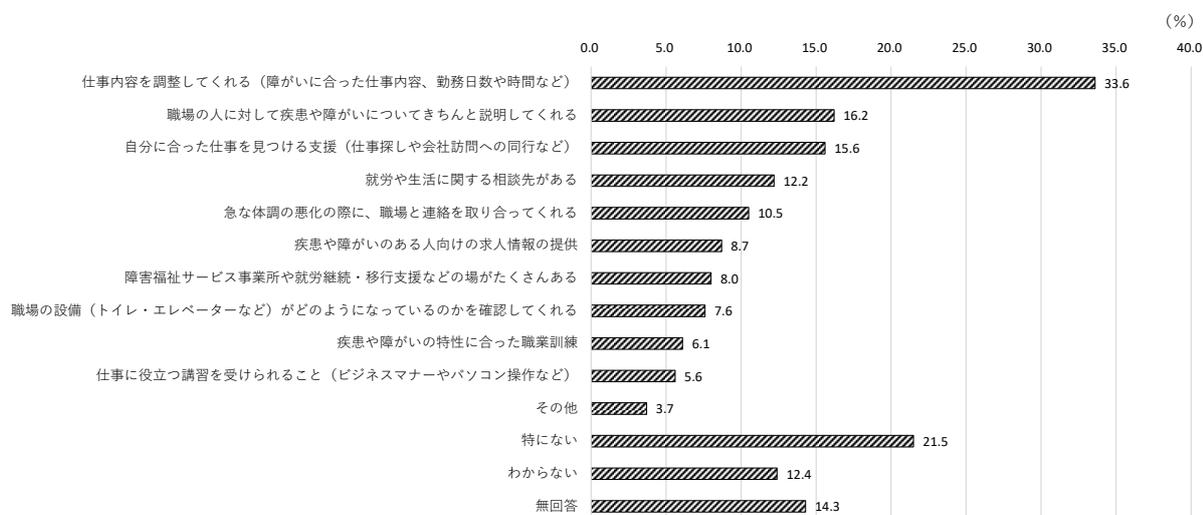
(4) 就労に際して必要な支援

【ここから再び全員の方にお聞きします。】

問 23 あなたが働く際、特にどのような支援があったらよいと思いますか。(主なもの3つまでに○)

「仕事内容を調整してくれる(障がいにあった仕事内容、勤務日数や時間など)」が33.6%、「特にない」が21.5%、「職場の人に対して疾患や障がいについてきちんと説明してくれる」が16.2%となっています。

障がい区分別でも、「仕事内容を調整してくれる(障がいにあった仕事内容、勤務日数や時間など)」が多くなっています。



問23 就労に際して必要な支援	1 仕事内容を調整してくれる（障害者に合った仕事内容、勤務日数や時間など）	2 職場の設備（トイレ・エレベーターなど）がどのようになっているのかを確認してくれる	3 職場の人に対して疾患や障がいについてきちんと説明してくれる	4 就労や生活に関する相談先がある	5 急な体調の悪化の際に、連絡を取り合ってくれる	6 仕事に役立つ講習を受けられること（ビジネスマナーやパソコン操作など）	7 自分に合った仕事を見つけたら（仕事探しや会社社訪問への同行など）	8 疾患や障がいの特性に合った職業訓練	9 疾患や障がいのある人向けの求人情報の提供	10 障害福祉サービス事業所や就労継続・移行支援などの場がたくさんある	
全体	33.6	7.6	16.2	12.2	10.5	5.6	15.6	6.1	8.7	8.0	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	20.9	2.3	4.7	14.0	7.0	0.0	11.6	9.3	7.0	14.0
	身体（精神含む）	25.3	10.3	10.3	5.7	8.3	4.4	9.1	3.3	7.1	2.5
	知的（精神含む）	42.0	4.9	22.9	17.1	6.1	7.3	26.1	12.2	6.9	26.1
	精神	57.3	4.6	30.2	24.2	24.9	8.9	23.8	6.4	14.6	9.6
	手帳なし	28.8	1.5	18.2	30.3	1.5	6.1	31.8	19.7	9.1	4.5
	無回答	19.5	2.4	14.6	7.3	2.4	2.4	12.2	2.4	12.2	4.9

問23 就労に際して必要な支援	11 その他	12 特になし	13 わからない	無回答	回答者数	
全体	3.7	21.5	12.4	14.3	1546	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	9.3	20.9	16.3	14.0	43
	身体（精神含む）	3.2	30.0	13.6	18.5	870
	知的（精神含む）	2.0	11.8	7.8	10.6	245
	精神	5.0	5.7	10.3	3.2	281
	手帳なし	1.5	7.6	25.8	10.6	66
	無回答	12.2	31.7	2.4	29.3	41

7 通園・通学している方について

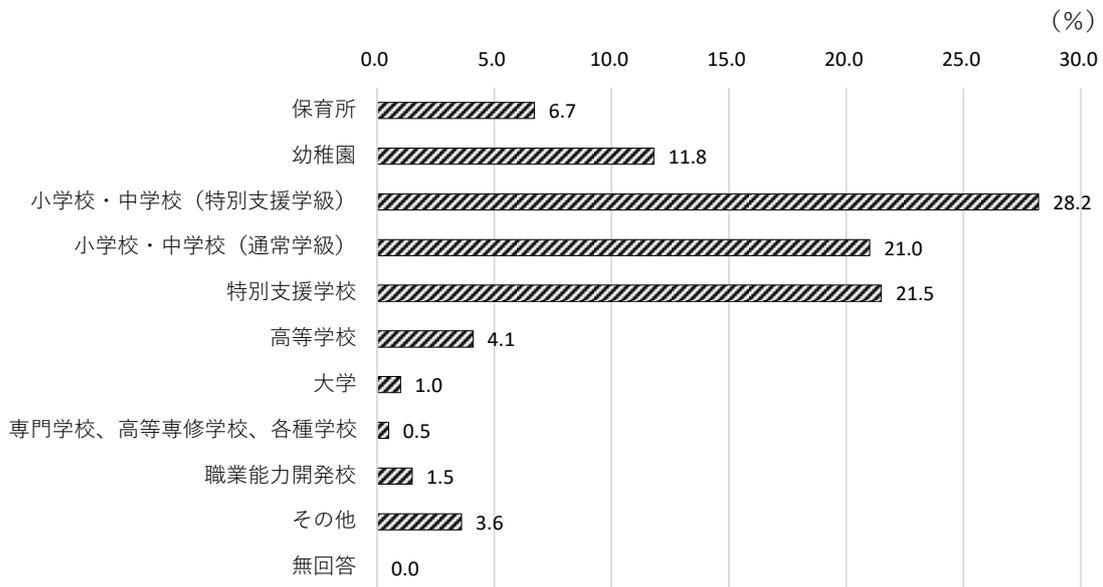
【問 24～問 28 は、問 20 で「9. 通園・通学している」と回答した方にお聞きします。
それ以外の方は問 29 へお進みください。

(1) 通園・通学先

問 24 通園・通学しているところはどこですか。(○は1つだけ)

「小学校・中学校（特別支援学級）」が 28.2%、「特別支援学校」が 21.5%、「小学校・中学校（通常学級）」が 21.0%となっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」では「特別支援学校」が、「知的障がい」では「小学校・中学校（特別支援学級）」が、「精神障がい」では「小学校・中学校（通常学級）」が、それぞれ最も多くなっています。



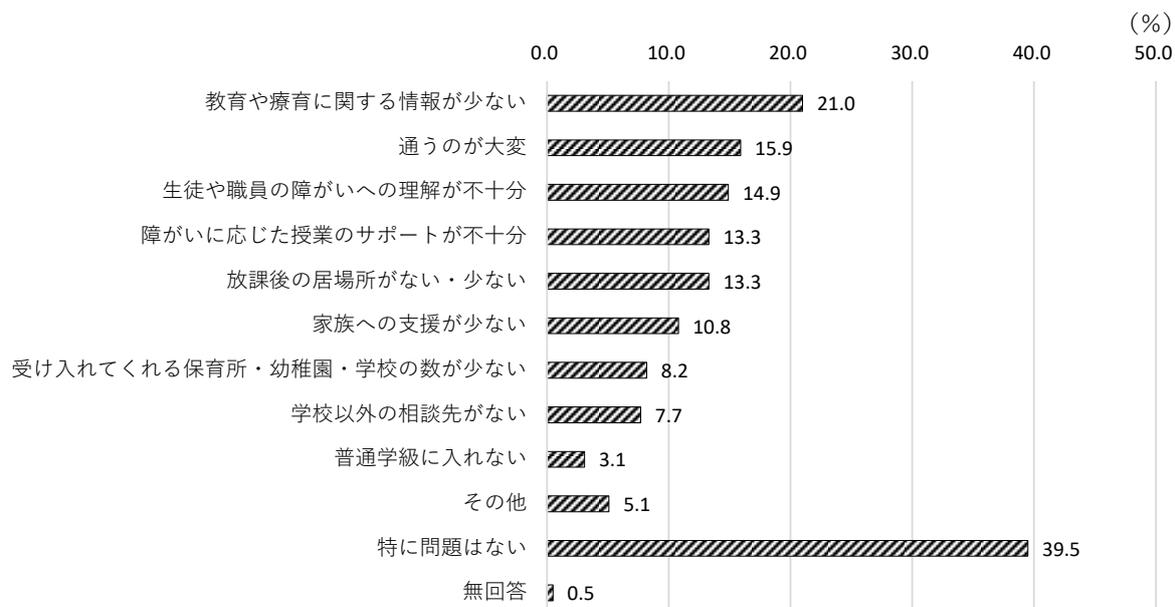
問24 通園・通学先	1 保育所	2 幼稚園	3 学級 小学校・ 中学校 (特別支援)	4 級) 小学校・ 中学校 (通常学)	5 特別 支援学校	6 高等 学校	7 大学	8 専 門学 校、 高 等 専 修 学 校、	9 職 業 能 力 開 発 校	10 そ の 他	無 回 答	回 答 者 数
全体	6.7	11.8	28.2	21.0	21.5	4.1	1.0	0.5	1.5	3.6	0.0	195
障 が い 区 分	身体+知的（精神含む）	0.0	0.0	20.0	0.0	70.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10
	身体（精神含む）	23.1	7.7	7.7	23.1	23.1	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	13
	知的（精神含む）	1.2	6.0	45.2	4.8	36.9	3.6	0.0	0.0	1.2	0.0	84
	精神	0.0	5.0	20.0	25.0	5.0	20.0	5.0	5.0	10.0	5.0	20
	手帳なし	15.0	23.3	13.3	41.7	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0
無回答	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8

(2) 通園・通学で困っていること

問 25 通園・通学などで困っていることはありますか。(主なもの3つまでに○)

「特に問題はない」が39.5%と最も多くなっています。困っていることは、「教育や療育に関する情報が少ない」が21.0%、「通うのが大変」が15.9%、「生徒や職員の障がいへの理解が不十分」が14.9%などとなっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」では「通うのが大変」が多くなっています。



問25 通園・通学で困っていること	1 通うのが大変	2 障 がいに 応じた 授業の サ ポート が不十 分	3 解 が不十 分 生徒 や職員 の障が いへの 理	4 受 け入 れて くれ る保 育所・ 幼 稚園・ 学校 の数が 少ない	5 普 通学 級に 入れ ない	6 放 課後 の居 場所 がない ・少 ない	7 教 育や 療育 に関 する 情報 が少 ない	8 家 族へ の支 援が 少な い	9 学 校以 外の 相談 先が ない	10 そ の他	
全体	15.9	13.3	14.9	8.2	3.1	13.3	21.0	10.8	7.7	5.1	
障 が い 区 分	身体+知的（精神含む）	70.0	20.0	10.0	10.0	0.0	10.0	20.0	10.0	0.0	10.0
	身体（精神含む）	38.5	0.0	0.0	30.8	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0
	知的（精神含む）	10.7	10.7	6.0	6.0	3.6	17.9	22.6	13.1	11.9	7.1
	精神	20.0	10.0	25.0	5.0	0.0	10.0	5.0	0.0	15.0	5.0
	手帳なし	10.0	21.7	30.0	8.3	3.3	11.7	30.0	15.0	3.3	3.3
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

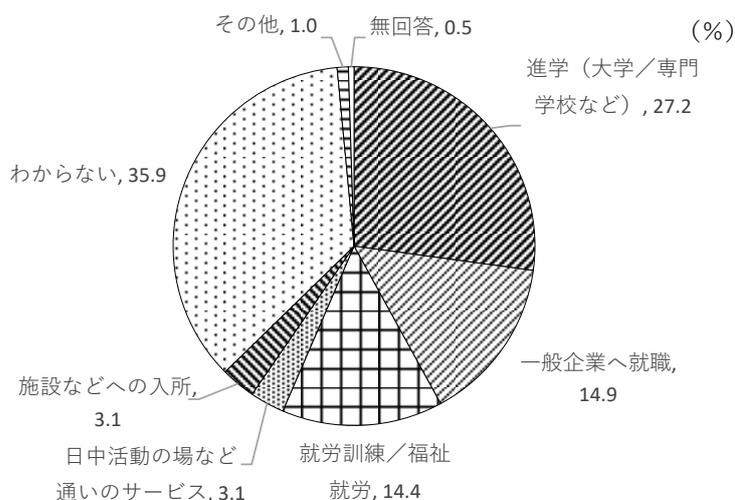
問25 通園・通学で困っていること	11 特 に問 題は ない	無 回 答	回 答 者 数	
全体	39.5	0.5	195	
障 が い 区 分	身体+知的（精神含む）	10.0	0.0	10
	身体（精神含む）	38.5	0.0	13
	知的（精神含む）	41.7	1.2	84
	精神	40.0	0.0	20
	手帳なし	35.0	0.0	60
無回答	87.5	0.0	8	

(3) 将来の進路希望

問 26 将来（高等学校または高等部卒業後）の進路について、希望しているものはどれですか。（○は主なものに1つだけ）

「わからない」の割合が 35.9%となっています。進路希望については、「進学（大学／専門学校など）」が 27.2%、「一般企業へ就職」が 14.9%、「就労訓練／福祉就労」が 14.4% などとなっています。

障がい区別でみると、「身体障がい＋知的障がい」では「日中活動の場など通いのサービス」が、「身体障がい」では「進学（大学／専門学校など）」が、それぞれ多くなっています。



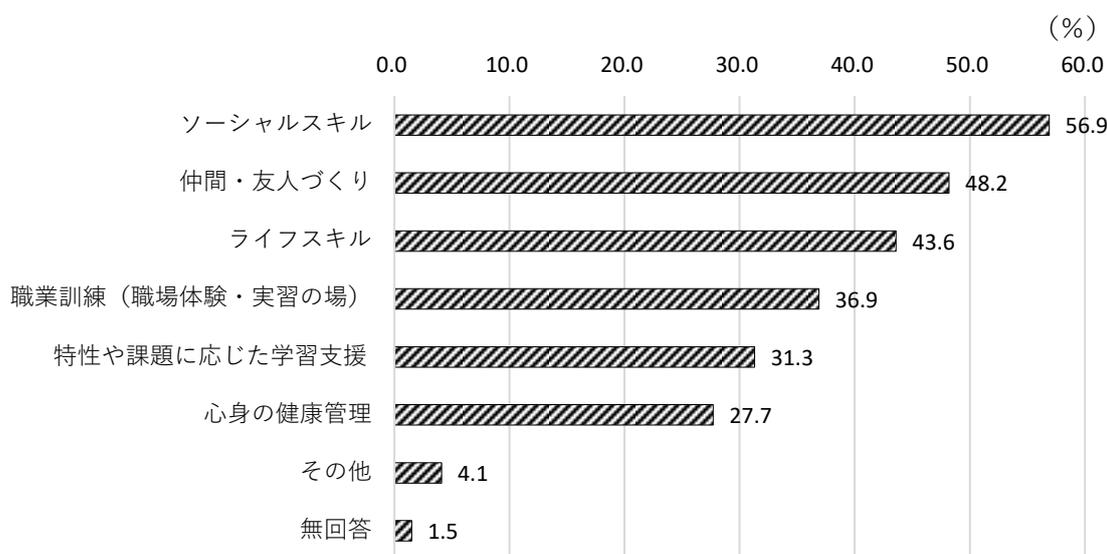
問26 将来の進路希望	1 進学（大学／専門学校など）	2 一般企業へ就職	3 就労訓練／福祉就労	4 日中活動の場など通いのサービス	5 施設などへの入所	6 わからない	7 その他	無回答	回答者数
全体	27.2	14.9	14.4	3.1	3.1	35.9	1.0	0.5	195
障がい区分	身体＋知的（精神含む）	0.0	10.0	20.0	30.0	20.0	20.0	0.0	10
	身体（精神含む）	46.2	15.4	7.7	0.0	0.0	30.8	0.0	13
	知的（精神含む）	11.9	16.7	27.4	2.4	4.8	34.5	1.2	84
	精神	30.0	25.0	0.0	0.0	0.0	40.0	5.0	20
	手帳なし	41.7	10.0	3.3	1.7	0.0	43.3	0.0	60
無回答	75.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	8	

(4) 卒業後の地域生活のために必要なこと

問 27 卒業後、地域で日常生活を送るために必要だと思うものはどれですか。(主なもの3つまでに○)

「ソーシャルスキル」が 56.9%、「仲間・友人づくり」が 48.2%、「ライフスキル」が 43.6%などとなっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」では「ソーシャルスキル」と「心身の健康管理」が、「身体障がい」では「仲間・友人づくり」が、「知的障がい」では「ソーシャルスキル」が、「精神障がい」では「ソーシャルスキル」と「仲間・友人づくり」が、それぞれ最も多くなっています。



問27 卒業後の地域生活のために必要なこと	1 援特性 性や課 題に応 じた学 習支 援	2 の職 業訓 練(職 場体 験・ 実習)	3 ソ ーシ ャ ル ス キ ル	4 ラ イ フ ス キ ル	5 心 身 の 健 康 管 理	6 仲 間 ・ 友 人 づ く り	7 そ の 他	無 回 答	回 答 者 数	
全体	31.3	36.9	56.9	43.6	27.7	48.2	4.1	1.5	195	
障 が い 区 分	身体+知的 (精神含む)	30.0	20.0	50.0	40.0	50.0	20.0	10.0	0.0	10
	身体 (精神含む)	38.5	30.8	30.8	30.8	23.1	61.5	7.7	0.0	13
	知的 (精神含む)	28.6	40.5	60.7	58.3	15.5	42.9	6.0	3.6	84
	精神	25.0	30.0	55.0	25.0	45.0	55.0	5.0	0.0	20
	手帳なし	33.3	38.3	60.0	36.7	36.7	51.7	0.0	0.0	60
無回答	50.0	37.5	50.0	12.5	25.0	75.0	0.0	0.0	8	

(5) 卒業後の不安

問 28 学校を卒業した後の過ごし方について不安に感じていることなどはありますか。よろしければご意見をお聞かせください。(自由記述)

86 件の記述がありました。その中から、一部を紹介します。

- ・卒業後の選択肢が、どのようなところがあって、どう選べばよいのかが全て自身で調べなければわからない現状を改善してほしい。必要な費用、受けられる支援についても全て個人で一から調べないとわからないので負担が大きい(中学卒業後の受験・就学先等)
- ・本人の特性を理解してもらえる、本人の得意分野を活かせる職業(特に人間関係において)会社に就職できるかどうか。
- ・親亡き後1人で自立した生活ができるかどうか。
- ・1人で生活しだした時に、発作等が起きた時どうすればいいのか不安に思う時がある
- ・24時間全介護が必要な状態だが、保護者といつまでも一緒にはいけないが、どうしたらよいか不明
- ・グレーゾーンなので手帳を持っているわけでもなく、定型発達の人よりは能力が劣るので支援が受けられるかどうか心配。
- ・デイサービスが使えるなくなるので、その代わりになる場がないこと。またグループホームにいつかは入れるのか?
- ・わからない事ばかりで不安しかありません。
- ・医療ケアがあり、知的面も重すぎるので受け入れてくれる所が通所、入所どちらもほとんどないこと。近隣はもちろん、県内全域でも難しく、県外でさがすべきなのか考えることもある。
- ・学校での友達と縁を切れないようにしたい
- ・義務教育終了後の進学先について、非常に困っている。特別支援学校は知的・身体のみで情緒がない。かといって、通常クラスの授業の体制や先生・生徒の発達障がいへの理解がない環境で通常の高校へ進学すると、恐らく高確率でひきこもりになるのが目に見えて分かる。(実際そのようなお子さんを沢山知っている)
- ・仕事に就かせたいと思っているが、様々なことに苦手意識があり、やる気が持続しない。我が子に合った就労先や住まいがあるのか。お金の管理等も。
- ・自分に合った作業所(生活介護)に通うことができるのか不安です。希望しても定員オーバーで入れないかもしれない。学校や放デイの友達と会って遊ぶことが、なかなかできなくなる。(高校生になりやっと意識がでてきている)
- ・卒業後の継続的な学習支援は必要。
- ・知的障害者の月収は少ない。親が亡くなった後の生活費住居が不安
- ・通角学級に通っていても、配慮をある程度必要としても、対応できる職員がいない。発達障害に対する知識が不十分なため、可能性を狭くしてしまうのではないか。その子の特性を理解し、対応してくれるサービスがないと難しい。社会に出ても、限りなく繋げていけるいっかん性のあるサービスが必要だけどない。

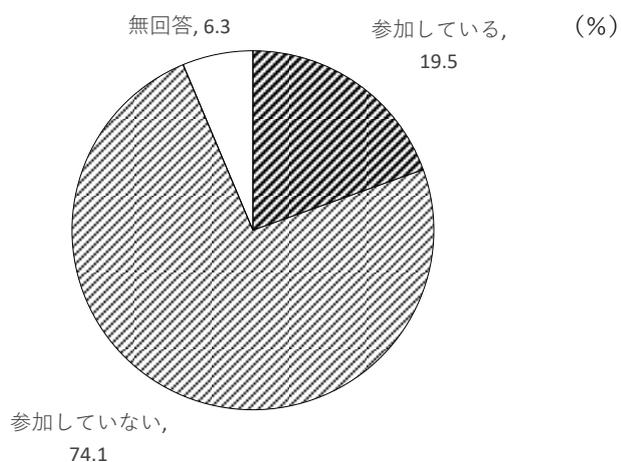
8 趣味の活動や地域の活動について

(1) 趣味や地域の活動

①活動への参加状況

問29 あなたは現在、趣味の活動や地域の活動に参加していますか。(○は1つだけ)

「参加している」が19.5%、「参加していない」が74.1%となっています。
障がい区分別でも、「参加している」割合は少なく、特に「身体障がい+知的障がい」では「参加している」が9.3%、全体の半分以下となっています。



問29 趣味や地域の活動への参加状況		1 参加 している	2 参加 していない	無 回 答	回 答 者 数
全体		19.5	74.1	6.3	1546
障 が い 区 分	身体+知的 (精神含む)	9.3	83.7	7.0	43
	身体 (精神含む)	18.2	74.5	7.4	870
	知的 (精神含む)	22.4	71.8	5.7	245
	精神	23.1	74.0	2.8	281
	手帳なし	19.7	78.8	1.5	66
	無回答	17.1	63.4	19.5	41

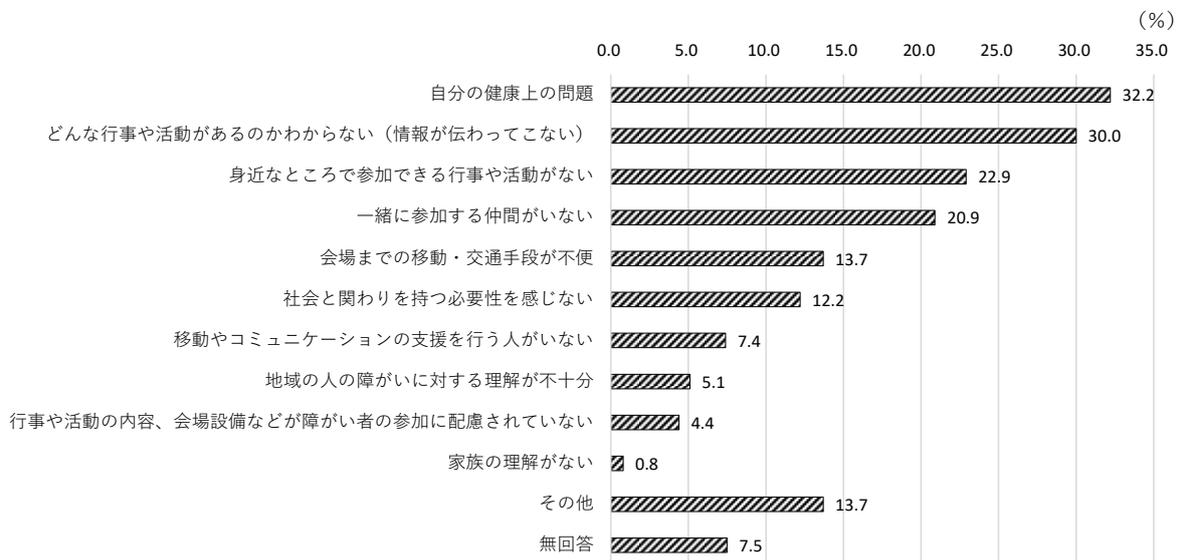
②活動に参加していない理由

【問 29 で「2. 参加していない」と回答した方にお聞きします。】

問 29-1 参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「自分の健康上の問題」が 32.2%、「どんな行事や活動があるのかわからない（情報が伝わってこない）」が 30.0%、「身近なところで参加できる行事や活動がない」が 22.9%などとなっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」や「身体障がい」では「自分の健康上の問題」が、「知的障がい」や「精神障がい」では「どんな行事や活動があるのかわからない（情報が伝わってこない）」が最も多くなっています。また、「身体障がい+知的障がい」や「知的障がい」では「身近なところで参加できる行事や活動がない」が第 2 位となっています。



問29-1 活動に参加していない理由	1 身近なところで参加できる行事や活動がない	2 わからない行事や活動があるのか(こない)	3 会場までの移動・交通手段が不便	4 移動やコミュニケーションの支援を行う人がいない	5 行事や活動の内容、会場設備などが障がい者の参加に配慮されていない	6 一緒に参加する仲間がいない	7 家族の理解がない	8 地域の人の障がいに対する理解が不十分	9 自分の健康上の問題	10 社会と関わりを持つ必要性を感じない	
全体	22.9	30.0	13.7	7.4	4.4	20.9	0.8	5.1	32.2	12.2	
障がい区分	身体+知的(精神含む)	27.8	22.2	19.4	11.1	8.3	13.9	2.8	13.9	44.4	5.6
	身体(精神含む)	19.3	23.3	14.4	4.9	3.1	17.6	0.5	2.0	39.5	12.3
	知的(精神含む)	32.4	45.5	9.1	11.9	8.5	26.1	0.6	9.7	6.3	7.4
	精神	26.4	39.4	16.3	11.5	3.4	28.4	1.9	9.6	38.5	20.7
	手帳なし	21.2	34.6	9.6	7.7	9.6	23.1	0.0	5.8	5.8	1.9
無回答	19.2	19.2	7.7	0.0	0.0	11.5	0.0	3.8	11.5	3.8	

問29-1 活動に参加していない理由	11 その他	無回答	回答者数
全体	13.7	7.5	1146
障がい区分	身体+知的(精神含む)	16.7	36
	身体(精神含む)	11.3	648
	知的(精神含む)	15.3	176
	精神	14.4	208
	手帳なし	30.8	52
無回答	19.2	23.1	26

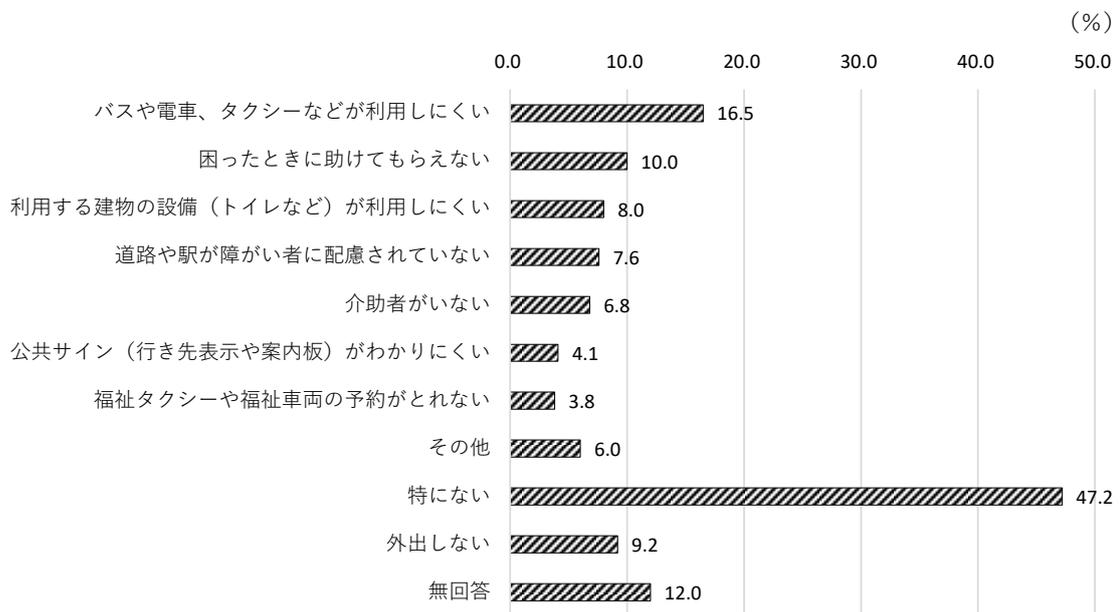
(2) 外出時に困ること

問 30 あなたが外出時に困ることはありますか。(○はいくつでも)

「特にない」が47.2%、これに「外出しない」と「無回答」を合わせた68.4%以外の約3割の方は“困ることがある”と回答しています。

「バスや電車、タクシーなどが利用しにくい」が16.5%、「困ったときに助けてもらえない」が10.0%、「利用する建物の設備（トイレなど）が利用しにくい」が8.0%などとなっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」で「バスや電車、タクシーなどが利用しにくい」、「介助者がいない」、「困ったときに助けてもらえない」の割合が他に比べて多くなっています。



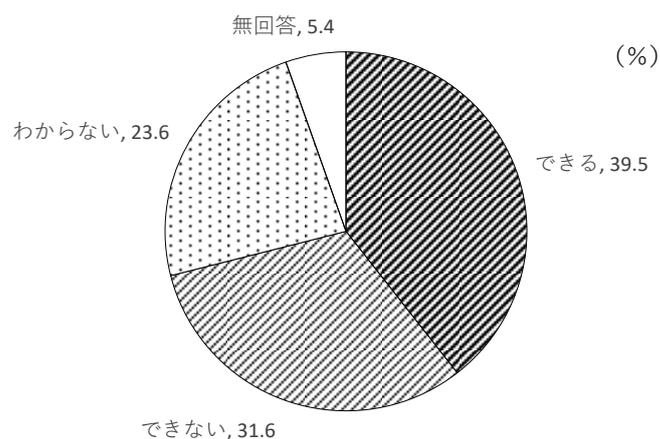
問30 外出時に困ること	1 介助者がいない	2 困ったときに助けてもらえない	3 利用する建物の設備（トイレなど）が利用しにくい	4 バスや電車、タクシーなどが利用しにくい	5 道路や駅が障がい者に配慮されていない	6 公共サイン（行き先表示や案内板）がわかりにくい	7 福祉タクシーや福祉車両の予約がとれない	8 その他	9 特にない	10 外出しない	無回答	回答者数
全体	6.8	10.0	8.0	16.5	7.6	4.1	3.8	6.0	47.2	9.2	12.0	1546
障がい区分別												
身体+知的（精神含む）	16.3	9.3	16.3	34.9	9.3	7.0	4.7	11.6	23.3	14.0	9.3	43
身体（精神含む）	6.2	6.2	9.9	17.1	9.8	3.6	4.6	5.9	47.1	8.9	12.4	870
知的（精神含む）	11.0	13.1	6.1	16.7	5.3	9.0	3.7	4.5	50.2	5.7	8.6	245
精神	5.0	18.5	4.3	15.3	3.9	1.8	2.5	6.4	46.6	13.5	12.5	281
手帳なし	0.0	12.1	1.5	6.1	4.5	1.5	0.0	6.1	60.6	7.6	12.1	66
無回答	7.3	9.8	7.3	7.3	4.9	2.4	2.4	7.3	39.0	4.9	24.4	41

9 災害時の対応について

(1) 災害時に一人で避難

問 31 家族の不在または一人暮らしの場合で、地震や台風などの災害時に、あなたは一人で避難できますか。(○は1つだけ)

「できる」が 39.5%、「できない」が 31.6%、「わからない」が 23.6%となっています。
障がい区分別でみると、「身体障がい」と「精神障がい」では「できる」が多く、「身体障がい+知的障がい」と「知的障がい」では「できない」が多くなっています。



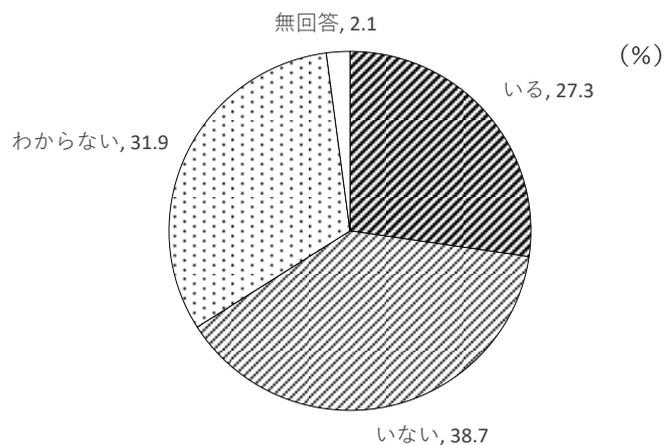
問31 災害時に一人で避難	1 できる	2 できない	3 わからない	無回答	回答者数	
全体	39.5	31.6	23.6	5.4	1546	
障がい区分	身体+知的(精神含む)	11.6	67.4	11.6	9.3	43
	身体(精神含む)	46.6	27.0	20.8	5.6	870
	知的(精神含む)	19.6	53.5	21.2	5.7	245
	精神	48.4	12.8	35.2	3.6	281
	手帳なし	10.6	63.6	25.8	0.0	66
無回答	22.0	36.6	26.8	14.6	41	

(2) 災害時に助けてくれる人の存在

【問31で「2. できない」、「3. わからない」とお答えの方にお聞きします。】

問31-1 災害時にあなたを助けてくれる方はご近所にいますか。(○は1つだけ)

「いる」が27.3%、「いない」が38.7%、「わからない」が31.9%となっています。
障がい区別でも、「いない」が多く、「精神障がい」で特に「いない」割合が多くなっています。



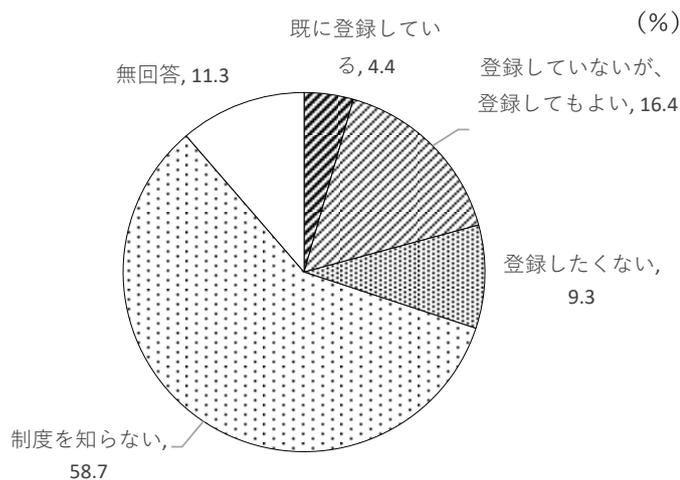
問31-1 災害時に助けてくれる人の存在	1 いる	2 いない	3 わからない	無回答	回答者数	
全体	27.3	38.7	31.9	2.1	853	
障がい区分	身体+知的(精神含む)	32.4	41.2	23.5	2.9	34
	身体(精神含む)	26.2	35.8	34.6	3.4	416
	知的(精神含む)	30.1	38.8	30.1	1.1	183
	精神	17.0	54.1	28.9	0.0	135
	手帳なし	42.4	30.5	25.4	1.7	59
無回答	38.5	19.2	42.3	0.0	26	

(3) 避難行動要支援者登録制度への登録

問 32 あなたは、「避難行動要支援者登録制度」について、どう思いますか。(○は1つだけ)

「制度を知らない」が58.7%と最も多く、次いで「登録していないが、登録してもよい」が16.4%、「登録したくない」が9.3%であり、「既に登録している」は4.4%です。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」で「既に登録している」が多くなっています。



問32 避難行動要支援者登録制度への登録	1 既に登録している	2 ても登録していないが、登録し	3 登録したくない	4 制度を知らない	無回答	回答者数
全体	4.4	16.4	9.3	58.7	11.3	1546
障がい区分	身体+知的 (精神含む)	16.3	16.3	9.3	44.2	43
	身体 (精神含む)	4.6	17.7	10.1	54.7	870
	知的 (精神含む)	5.7	17.1	6.1	64.1	245
	精神	1.1	12.1	11.4	65.8	281
	手帳なし	1.5	13.6	3.0	78.8	66
無回答	7.3	17.1	7.3	43.9	24.4	41

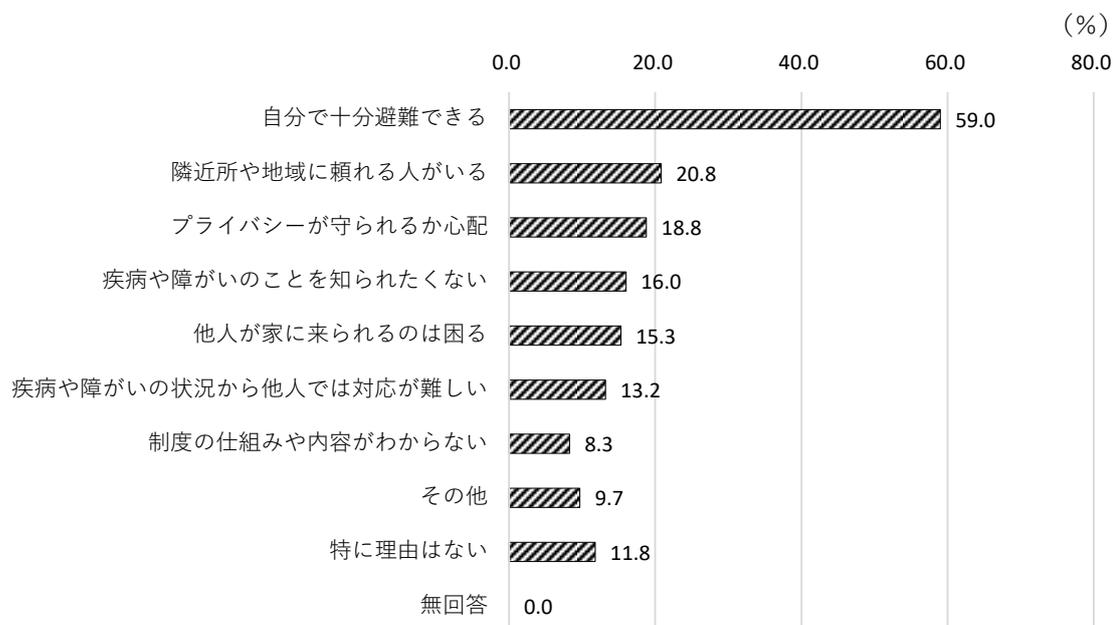
(4) 登録したくない理由

【問 32 で「3. 登録したくない」と回答した方にお聞きします。】

問 32-1 登録したくない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「自分で十分避難できる」が 59.0%、「隣近所や地域に頼れる人がいる」が 20.8%、「プライバシーが守られるか心配」が 18.8%などとなっています。

障がい区分別でみると、「自分で十分避難できる」が多い中、「身体障がい+知的障がい」では「隣近所や地域に頼れる人がいる」が比較的多くなっています。



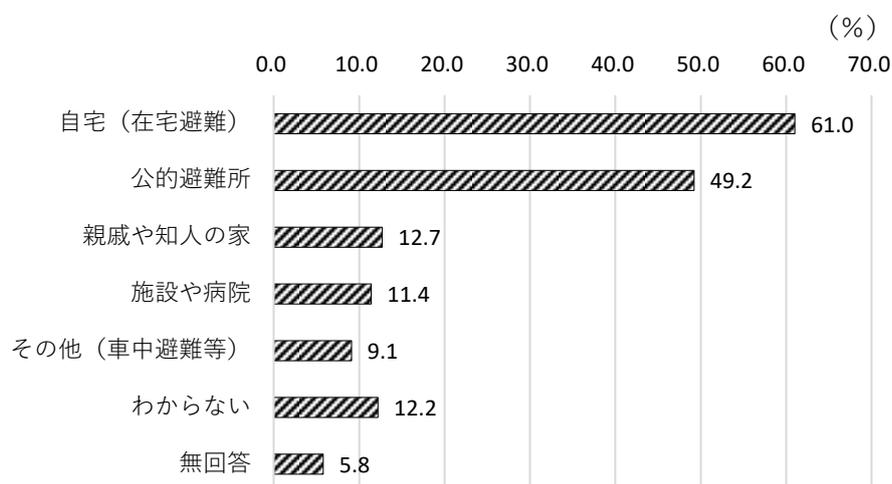
問32-1 登録したくない理由	1 自分で十分避難できる	2 隣近所や地域に頼れる人がいる	3 疾病や障がいのことを知られたくない	4 他人が家に来られるのは困る	5 プライバシーが守られるか心配	6 疾病や障がいの状況から他人では対応が難しい	7 制度の仕組みや内容がわからない	8 その他	9 特に理由はない	無回答	回答者数	
全体	59.0	20.8	16.0	15.3	18.8	13.2	8.3	9.7	11.8	0.0	144	
障がい区分	身体+知的(精神含む)	50.0	75.0	0.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	4	
	身体(精神含む)	64.8	23.9	3.4	10.2	14.8	10.2	5.7	10.2	13.6	88	
	知的(精神含む)	53.3	26.7	20.0	6.7	6.7	20.0	6.7	13.3	20.0	0.0	15
	精神	50.0	6.3	46.9	31.3	31.3	15.6	9.4	9.4	3.1	0.0	32
	手帳なし	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	2
無回答	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	3	

(5) 避難先

問 33 災害時にあなたは、どこに避難を考えていますか。(〇はいくつでも)

「自宅」が61.0%、「公的避難所」が49.2%、「親戚や知人の家」が12.7%などとなっています。

障がい区分別でみると、第1位は各障がいとも「自宅」が第1位となっています。また、「身体障がい+知的障がい」では「施設や病院」が比較的多くなっています。



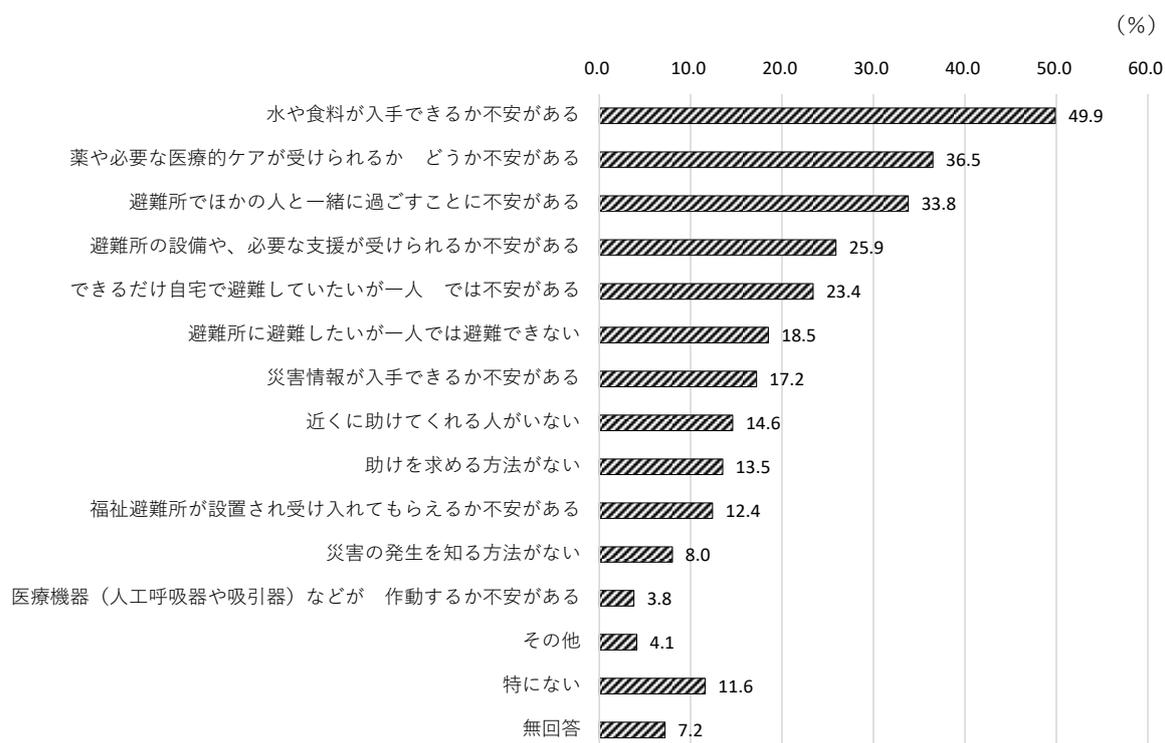
問33 避難先	1 自宅 (在宅避難)	2 親戚や 知人の家	3 施設 や病院	4 公的 避難所	5 その他 (車中 避難等)	6 わからない	無 回答	回 答者 数
全体	61.0	12.7	11.4	49.2	9.1	12.2	5.8	1546
障 が い 区 分	身体+知的 (精神含む)	60.5	9.3	30.2	30.2	7.0	2.3	43
	身体 (精神含む)	59.1	11.0	12.0	48.6	9.1	6.9	870
	知的 (精神含む)	62.4	18.8	11.0	46.1	11.0	4.9	245
	精神	64.4	10.3	9.3	55.9	8.5	3.2	281
	手帳なし	75.8	24.2	3.0	62.1	7.6	1.5	66
無回答	46.3	12.2	12.2	34.1	4.9	14.6	41	

(6) 災害発生時に困ること・不安

問 34 もし、大地震などの災害が発生した場合、困ることや不安なことはありますか。(○はいくつでも)

「水や食料が入手できるか不安がある」が 49.9%、「薬や必要な医療的ケアが受けられるか どうか不安がある」が 36.5%、「避難所でほかの人と一緒に過ごすことに不安がある」の割合が 33.3%となっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」では、「薬や必要な医療的ケアが受けられるか どうか不安がある」が最も多くなっています。



問34 災害発生時に困ること・不安	1 い災害の発生を知る方法がない	2 助けを求める方法がない	3 近くに助けてくれる人がいない	4 医療機器（人工呼吸器や吸引器）などがある	5 薬や必要な医療的ケアが受けられるかどうか	6 一人で自宅では避難できないが一人では避難して	7 災害情報が入手できるか不安がある	8 水や食料が入手できるか不安がある	9 避難所に避難したいが一人では避難できない	10 福祉避難所が設置され受け入れてもらえるか不安がある	
全体	8.0	13.5	14.6	3.8	36.5	23.4	17.2	49.9	18.5	12.4	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	11.6	16.3	14.0	11.6	48.8	16.3	7.0	44.2	39.5	30.2
	身体（精神含む）	6.7	10.7	12.0	5.5	38.7	20.1	15.5	47.9	15.5	9.7
	知的（精神含む）	12.7	23.7	20.0	0.4	18.4	26.9	20.8	49.0	32.2	23.3
	精神	6.4	13.5	21.7	1.1	52.0	32.7	21.4	62.6	10.7	10.7
	手帳なし	9.1	15.2	6.1	1.5	7.6	19.7	19.7	40.9	28.8	9.1
無回答	12.2	4.9	4.9	2.4	26.8	22.0	9.8	29.3	14.6	2.4	

問34 災害発生時に困ること・不安	11 避難所の設備や必要が支	12 避難所での不安と一緒に	13 その他	14 特にな	無回答	回答者数
全体	25.9	33.8	4.1	11.6	7.2	1546
障がい区分	身体+知的（精神含む）	41.9	37.2	7.0	9.3	43
	身体（精神含む）	25.6	22.5	3.4	12.5	870
	知的（精神含む）	29.4	47.8	4.5	11.4	245
	精神	24.6	55.5	5.7	6.4	281
	手帳なし	16.7	43.9	4.5	18.2	66
無回答	17.1	19.5	0.0	22.0	19.5	41

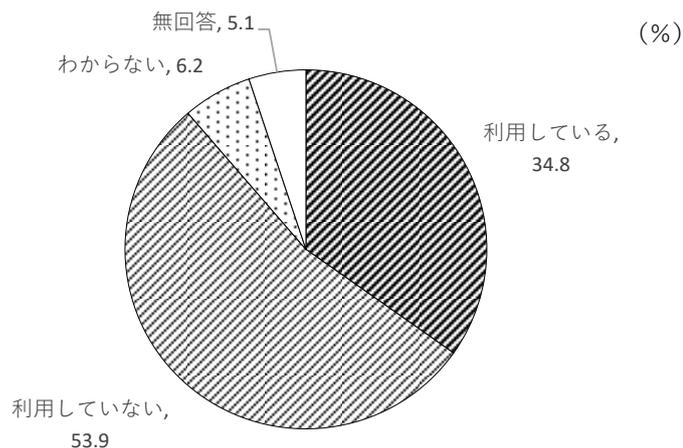
10 サービスの利用などについて

(1) 障害福祉サービスの利用

問 35 あなたは現在、障害福祉サービスを利用していますか。(○は1つだけ)

「利用していない」が53.9%、「利用している」が34.8%となっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」と「知的障がい」で「利用している」が多く、「身体障がい」と「精神障がい」では「利用していない」が多くなっています。



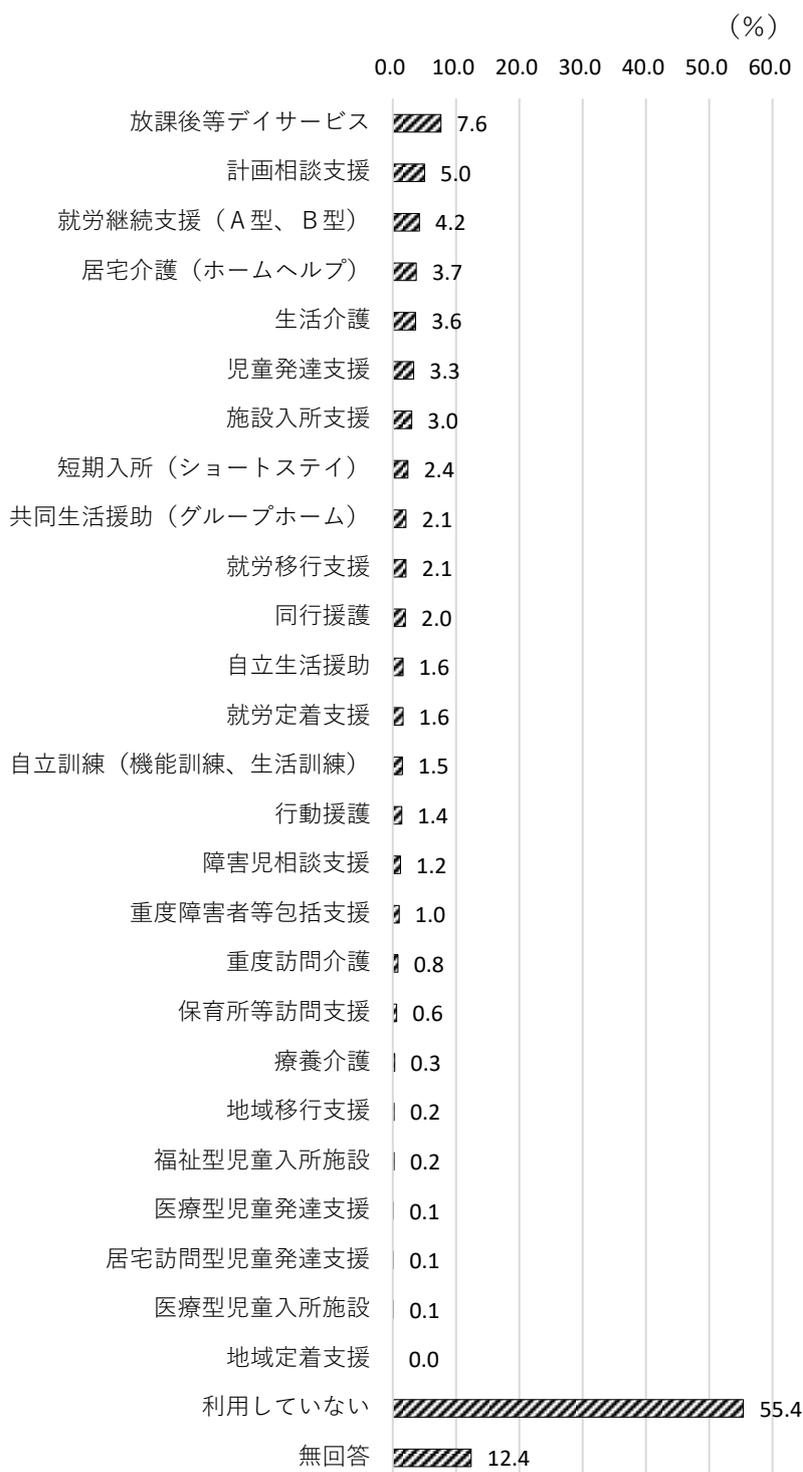
問35 障害福祉サービスの利用		1 利用している	2 利用していない	3 わからない	無回答	回答者数
全体		34.8	53.9	6.2	5.1	1546
障がい区分	身体+知的(精神含む)	79.1	20.9	0.0	0.0	43
	身体(精神含む)	21.5	66.9	5.6	6.0	870
	知的(精神含む)	65.3	25.7	5.3	3.7	245
	精神	27.0	58.0	11.7	3.2	281
	手帳なし	92.4	4.5	1.5	1.5	66
	無回答	48.8	31.7	0.0	19.5	41

(2) 利用している障害福祉サービス

問 36 あなたは次の障害福祉サービスを利用していますか。(〇はいくつでも)

「利用していない」が55.4%と多くなっています。

障がい区分別で見ると、「身体障がい+知的障がい」では「計画相談支援」や「放課後等デイサービス」が、「知的障がい」では「放課後等デイサービス」が比較的多くなっています。「身体障がい」と「精神障がい」では「利用していない」が6割を超えています。



問36 利用している障害福祉サービス	1 居宅介護 (ホームヘルプ)	2 重度訪問介護	3 同行援護	4 行動援護	5 重度障害者等包括支援	6 施設入所支援	7 短期入所(ショートステイ)	8 療養介護	9 生活介護	10 自立生活援助	
全体	3.7	0.8	2.0	1.4	1.0	3.0	2.4	0.3	3.6	1.6	
障がい区分	身体+知的(精神含む)	16.3	7.0	4.7	2.3	4.7	16.3	14.0	0.0	18.6	0.0
	身体(精神含む)	4.5	1.1	2.6	0.3	1.1	2.5	1.7	0.3	1.4	1.1
	知的(精神含む)	1.6	0.0	2.0	6.9	0.8	5.7	5.3	0.0	10.6	0.0
	精神	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.4	0.4	2.1	5.0
	手帳なし	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	4.9	2.4	2.4	7.3	0.0	

問36 利用している障害福祉サービス	11 共同生活援助(グループホーム)	12 自立訓練(機能訓練、生活訓練)	13 就労移行支援	14 就労継続支援(A型、B型)	15 就労定着支援	16 計画相談支援	17 地域移行支援	18 地域定着支援	19 児童発達支援	20 医療型児童発達支援	
全体	2.1	1.5	2.1	4.2	1.6	5.0	0.2	0.0	3.3	0.1	
障がい区分	身体+知的(精神含む)	7.0	4.7	4.7	9.3	7.0	23.3	0.0	0.0	2.3	2.3
	身体(精神含む)	0.7	1.5	0.2	0.6	0.0	1.7	0.2	0.0	0.3	0.0
	知的(精神含む)	8.6	0.4	5.3	15.1	3.3	14.3	0.4	0.0	5.7	0.0
	精神	0.0	2.1	5.0	6.4	4.3	3.2	0.0	0.0	0.4	0.0
	手帳なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.6	0.0	0.0	42.4	0.0
無回答	7.3	2.4	2.4	2.4	2.4	4.9	0.0	0.0	9.8	0.0	

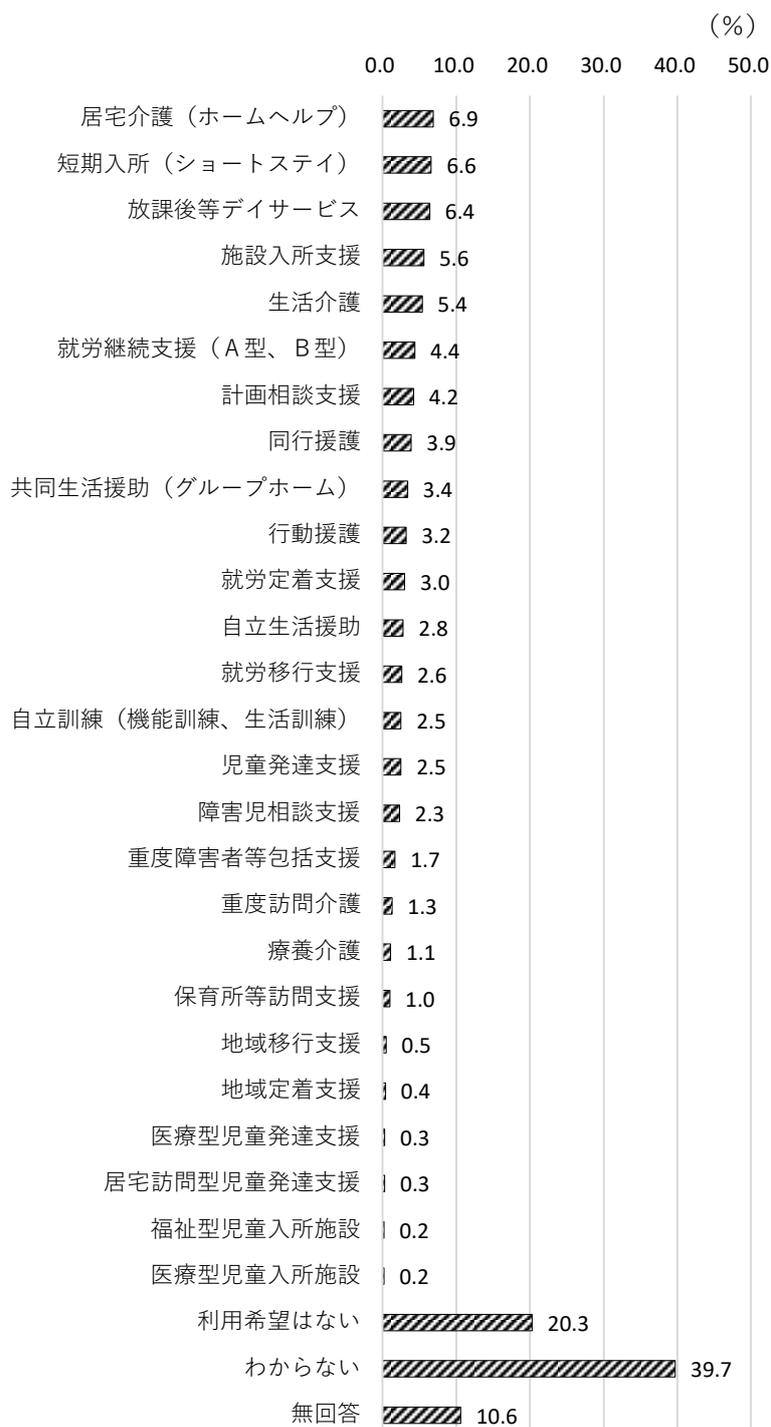
問36 利用している障害福祉サービス	21 放課後等デイサービス	22 障害児相談支援	23 居宅訪問型児童発達支援	24 保育所等訪問支援	25 福祉型児童入所施設	26 医療型児童入所施設	27 利用していない	無回答	回答者数
全体	7.6	1.2	0.1	0.6	0.2	0.1	55.4	12.4	1546
障がい区分	身体+知的(精神含む)	20.9	2.3	0.0	0.0	2.3	11.6	7.0	43
	身体(精神含む)	0.9	0.2	0.0	0.0	0.1	69.0	15.4	870
	知的(精神含む)	23.3	2.4	0.4	1.2	0.0	26.5	4.1	245
	精神	2.1	0.7	0.0	0.0	0.0	61.2	11.4	281
	手帳なし	47.0	12.1	0.0	7.6	1.5	0.0	4.5	66
無回答	14.6	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	29.3	41	

(3) 今後利用したい障害福祉サービス

問 37 現在の利用の有無に係らず、今後3年以内に、次の障害福祉サービスを利用したいですか。(〇はいくつでも)

「わからない」が39.7%「利用希望はない」が20.3%となっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」では、「短期入所(ショートステイ)」や「施設入所支援」が、「短期入所(ショートステイ)」や「放課後等デイサービス」が比較的多くなっています。



問37 今後利用したい障害福祉サービス	1 居宅介護（ホームヘルプ）	2 重度訪問介護	3 同行援護	4 行動援護	5 重度障害者等包括支援	6 施設入所支援	7 短期入所（ショートステイ）	8 療養介護	9 生活介護	10 自立生活援助	
全体	6.9	1.3	3.9	3.2	1.7	5.6	6.6	1.1	5.4	2.8	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	11.6	9.3	4.7	7.0	9.3	16.3	23.3	0.0	11.6	2.3
	身体（精神含む）	9.0	1.4	4.6	2.5	1.7	5.4	4.5	1.1	4.6	1.8
	知的（精神含む）	2.0	0.4	4.5	9.0	2.0	9.4	17.1	0.4	11.0	4.1
	精神	5.0	0.7	1.8	0.7	0.7	1.1	2.5	1.8	2.8	5.3
	手帳なし	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	0.0	0.0	1.5
無回答	9.8	2.4	4.9	2.4	0.0	12.2	7.3	2.4	9.8	0.0	

問37 今後利用したい障害福祉サービス	11 共同生活援助（グループホーム）	12 自立訓練（機能訓練、生活訓練）	13 就労移行支援	14 就労継続支援（A型、B型）	15 就労定着支援	16 計画相談支援	17 地域移行支援	18 地域定着支援	19 児童発達支援	20 医療型児童発達支援	
全体	3.4	2.5	2.6	4.4	3.0	4.2	0.5	0.4	2.5	0.3	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	7.0	4.7	2.3	0.0	4.7	16.3	2.3	0.0	4.7	2.3
	身体（精神含む）	1.5	1.4	0.8	1.0	0.6	1.5	0.5	0.2	0.3	0.0
	知的（精神含む）	13.1	5.3	4.5	13.5	6.1	10.2	0.4	0.4	5.7	0.8
	精神	0.7	2.8	6.8	8.5	8.5	5.0	0.0	0.4	0.7	0.4
	手帳なし	0.0	3.0	1.5	0.0	0.0	7.6	0.0	0.0	22.7	1.5
無回答	7.3	4.9	2.4	4.9	2.4	2.4	2.4	4.9	4.9	0.0	

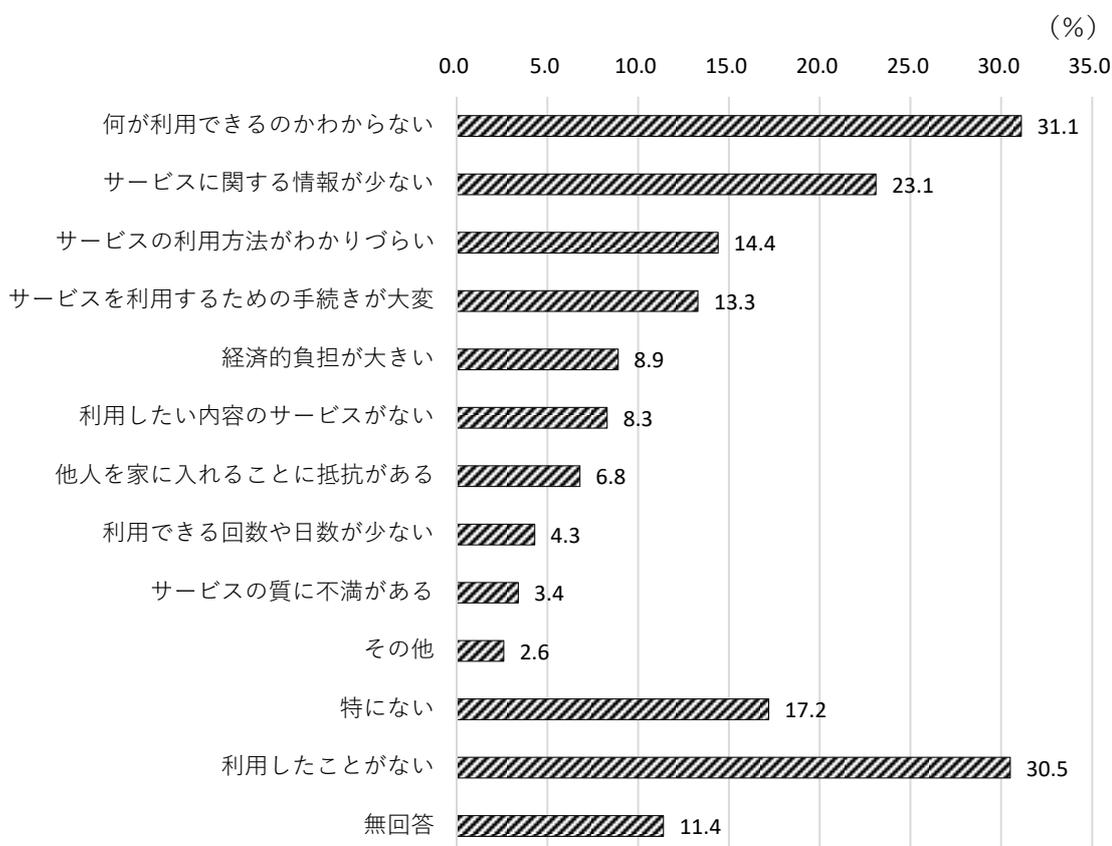
問37 今後利用したい障害福祉サービス	21 放課後等デイサービス	22 障害児相談支援	23 居宅訪問型児童発達支援	24 保育所等訪問支援	25 福祉型児童入所施設	26 医療型児童入所施設	27 利用希望はない	28 わからない	無回答	回答者数
全体	6.4	2.3	0.3	1.0	0.2	0.2	20.3	39.7	10.6	1546
障がい区分	身体+知的（精神含む）	7.0	9.3	2.3	0.0	2.3	7.0	37.2	9.3	43
	身体（精神含む）	0.9	0.5	0.0	0.1	0.0	23.9	45.6	12.0	870
	知的（精神含む）	16.7	5.7	1.2	1.2	0.4	0.4	11.8	23.7	245
	精神	1.4	1.1	0.4	0.7	0.0	0.0	23.5	42.3	281
	手帳なし	56.1	15.2	0.0	13.6	1.5	0.0	3.0	24.2	66
無回答	14.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.6	17.1	26.8	41

(4) 障害福祉サービス利用時に困ること

問 38 障害福祉サービスを利用する際、または利用しようとした際に、困ったり、不便だ
と思うことはありますか。(〇はいくつでも)

「何が利用できるのかわからない」が 31.1%、「サービスに関する情報が少ない」が 23.1%、「サービスの利用方法がわかりづらい」が 14.4%などであり、一方、「利用したことがない」は 28.4%となっています。

障がい区分別でみると、各障がいとも、「何が利用できるのかわからない」や「サービスに関する情報が少ない」が多くなっています。「利用したことがない」は、「身体障がい」で比較的多くなっています。



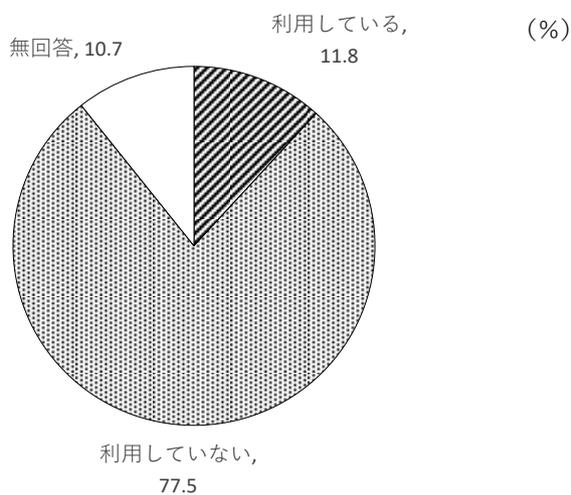
問38 障害福祉サービス利用時に困ること	1 ない	2 何が利用できるのかわからない	3 利用したい内容のサービスがない	4 サービスの利用方法がわかりづらい	5 サービスを利用するための手続きが大変	6 利用できる回数や日数が少ない	7 サービスの質に不満がある	8 経済的負担が大きい	9 他人を家に入れることに抵抗がある	10 その他
全体	23.1	31.1	8.3	14.4	13.3	4.3	3.4	8.9	6.8	2.6
障がい区分	身体+知的（精神含む）	25.6	34.9	9.3	23.3	23.3	11.6	2.3	7.0	2.3
	身体（精神含む）	17.9	27.2	6.4	10.6	6.6	1.5	1.6	7.1	1.6
	知的（精神含む）	31.8	35.5	13.1	20.8	22.9	11.8	4.5	9.4	4.9
	精神	26.7	39.5	9.6	19.6	20.3	5.7	6.8	12.5	14.6
	手帳なし	47.0	36.4	9.1	18.2	34.8	4.5	10.6	16.7	9.1
無回答	14.6	17.1	7.3	4.9	4.9	2.4	0.0	7.3	7.3	0.0

問38 障害福祉サービス利用時に困ること	11 特にない	12 利用したことがない	無回答	回答者数
全体	17.2	30.5	11.4	1546
障がい区分	身体+知的（精神含む）	25.6	9.3	43
	身体（精神含む）	16.0	39.9	870
	知的（精神含む）	17.6	13.5	245
	精神	14.9	29.2	281
	手帳なし	27.3	3.0	66
無回答	31.7	7.3	39.0	41

(5) 介護保険サービスの利用

問39 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つだけ)

「利用している」が11.8%、「利用していない」が77.5%となっています。
障がい区分別でみると、「身体障がい」で「利用していない」の割合が比較的多くなっています。



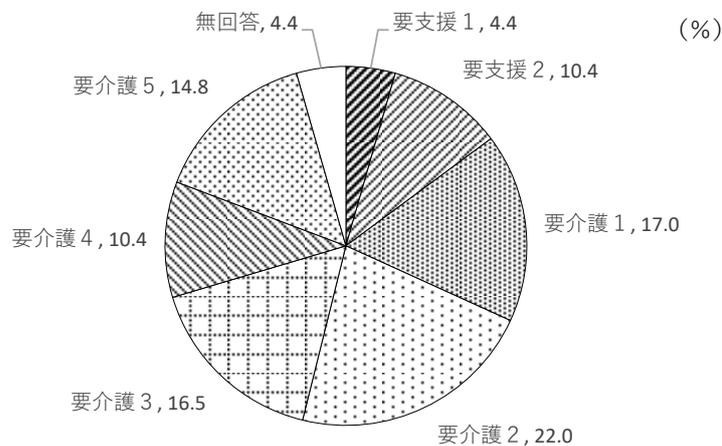
問39 介護保険サービスの利用	1 利用している	2 利用していない	無回答	回答者数	
全体	11.8	77.5	10.7	1546	
障がい区分	身体+知的(精神含む)	11.6	72.1	16.3	43
	身体(精神含む)	17.9	69.0	13.1	870
	知的(精神含む)	1.2	91.4	7.3	245
	精神	2.5	93.2	4.3	281
	手帳なし	4.5	93.9	1.5	66
無回答	19.5	46.3	34.1	41	

(6) 要支援・要介護認定

【問 39 で「1. 利用している」とお答えの方にお聞きします。】

問 39-1 該当する要介護度はどれですか。(○は1つだけ)

「要介護 2」が 22.0%、「要介護 1」が 17.0%、「要介護 3」が 16.5%などとなっています。

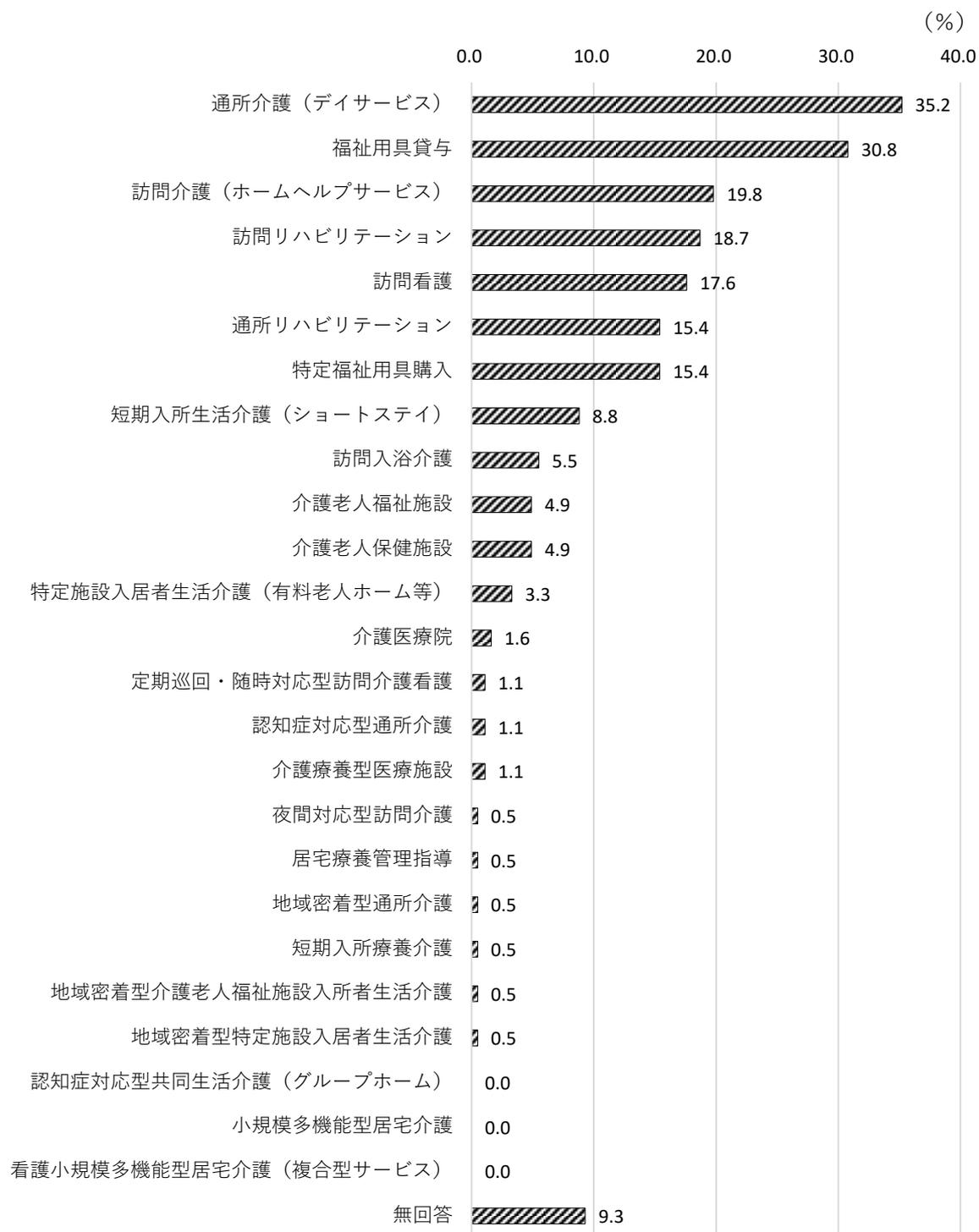


問39-1 要支援・要介護認定	1 要支援 1	2 要支援 2	3 要介護 1	4 要介護 2	5 要介護 3	6 要介護 4	7 要介護 5	無 回 答	回 答 者 数	
全体	4.4	10.4	17.0	22.0	16.5	10.4	14.8	4.4	182	
障 が い 区 分	身体+知的（精神含む）	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	5
	身体（精神含む）	4.5	10.3	15.4	23.7	17.3	12.2	13.5	3.2	156
	知的（精神含む）	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3
	精神	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3	7
	手帳なし	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	3
無回答	12.5	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5	8	

(7) 利用している介護保険サービス

問 39-2 利用している介護保険サービスはどれですか。(〇はいくつでも)

「通所介護（デイサービス）」が 35.2%、次いで「福祉用具貸与」の割合が 30.8%、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が 19.8%などとなっています。



問39-2 利用している介護保険サービス	1 訪問介護（ホームヘルプサービス）	2 訪問入浴介護	3 訪問看護	4 訪問リハビリテーション	5 夜間対応型訪問介護	6 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	7 居宅療養管理指導	8 通所介護（デイサービス）	9 通所リハビリテーション	10 地域密着型通所介護
全体	19.8	5.5	17.6	18.7	0.5	1.1	0.5	35.2	15.4	0.5
障がい区分	身体+知的（精神含む）	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	身体（精神含む）	19.2	6.4	18.6	21.8	0.6	1.3	35.3	16.7	0.6
	知的（精神含む）	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	精神	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0
	手帳なし	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	12.5	0.0

問39-2 利用している介護保険サービス	11 認知症対応型通所介護	12 短期入所生活介護（ショートステイ）	13 短期入所療養介護	14 介護老人福祉施設	15 介護老人保健施設	16 介護療養型医療施設	17 特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）	18 介護医療院	19 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	20 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
全体	1.1	8.8	0.5	4.9	4.9	1.1	3.3	1.6	0.0	0.5
障がい区分	身体+知的（精神含む）	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	身体（精神含む）	0.6	8.3	0.0	5.8	5.8	0.6	3.8	1.9	0.0
	知的（精神含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	精神	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
	手帳なし	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問39-2 利用している介護保険サービス	21 地域密着型特定施設入居者生活介護	22 小規模多機能型居宅介護	23 看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	24 福祉用具貸与	25 特定福祉用具購入	無回答	回答者数	
全体	0.5	0.0	0.0	30.8	15.4	9.3	182	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0	5
	身体（精神含む）	0.6	0.0	0.0	32.7	14.7	7.1	156
	知的（精神含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3
	精神	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	7
	手帳なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	3
無回答	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	8	

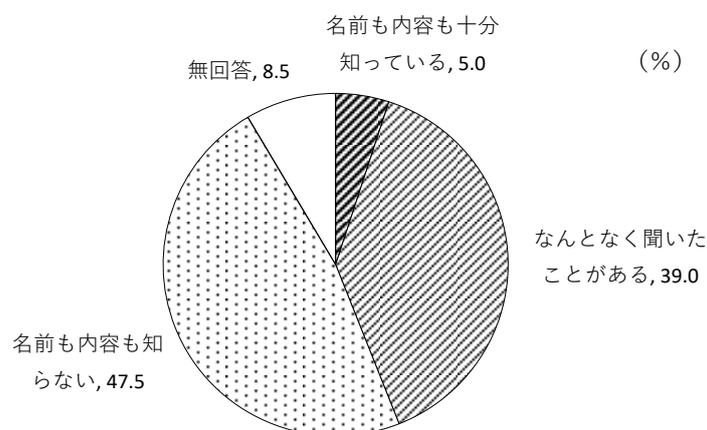
11 権利擁護などについて

(1) 障害者虐待防止法の認知

問40 「障害者虐待防止法（障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律）」について知っていますか。（○は1つだけ）

「名前も内容も知らない」が47.5%、「なんとなく聞いたことがある」が39.0%、「名前も内容も知っている」が5.0%となっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」で「名前も内容も十分知っている」と「なんとなく聞いたことがある」の割合が比較的多くなっています。



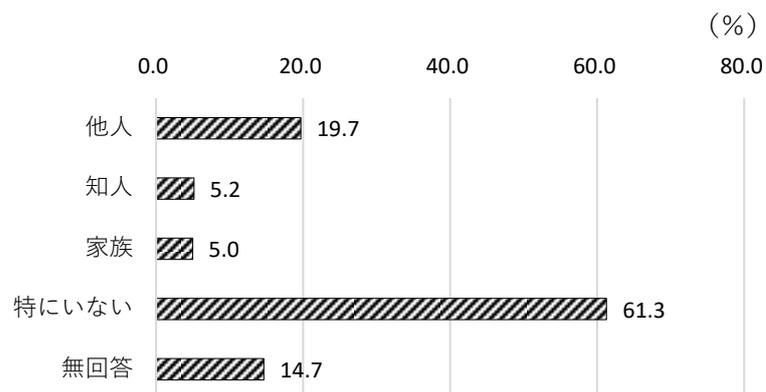
問40 障害者虐待防止法の認知	1 る 名 前 も 内 容 も 十 分 知 っ て い る	2 る な ん と な く 聞 い た こ と が あ る	3 名 前 も 内 容 も 知 ら な い	無 回 答	回 答 者 数	
全体	5.0	39.0	47.5	8.5	1546	
障 が い 区 分	身体+知的（精神含む）	9.3	46.5	34.9	9.3	43
	身体（精神含む）	4.7	42.4	42.4	10.5	870
	知的（精神含む）	6.5	33.5	53.5	6.5	245
	精神	5.3	32.4	59.1	3.2	281
	手帳なし	1.5	47.0	51.5	0.0	66
無回答	2.4	24.4	46.3	26.8	41	

(2) 差別を受けた、配慮がなく困った相手

問 41 差別を受けたと思ったこと、配慮がなくて困ったことについてお聞きます。誰から受けましたか (○はいくつでも)

「特にいない」が61.3%となっています。相手としては、「他人」が19.7%、「知人」が5.2%、「かぞく」が5.0%となっています。

障がい区分別でみると、「精神障がい」では、「家族」や「知人」の割合が比較的多くなっています。



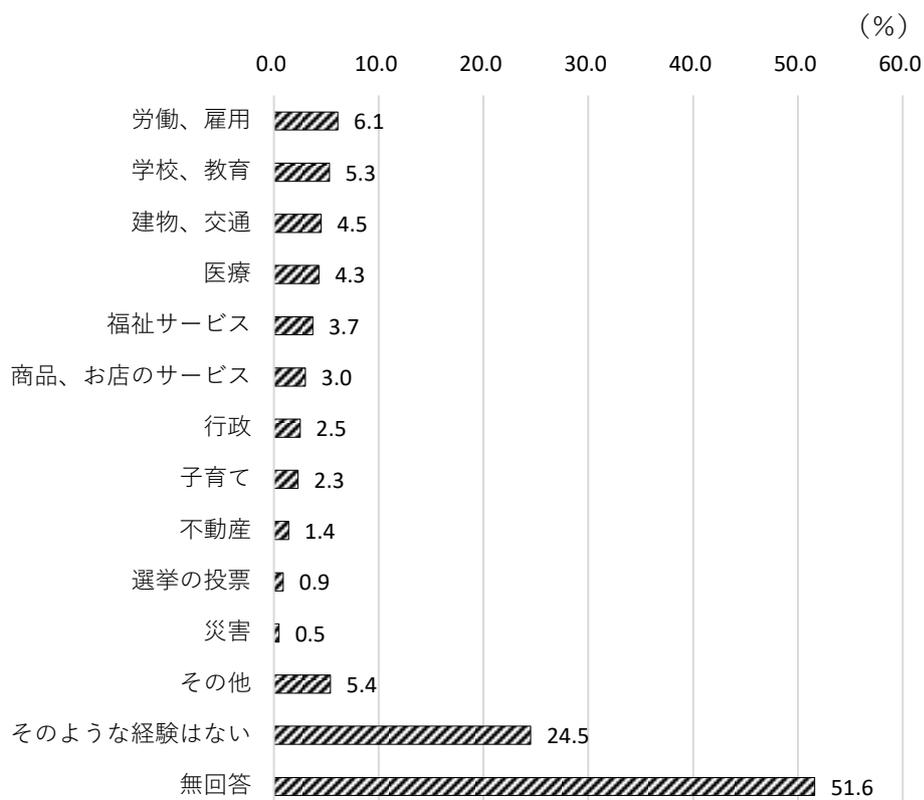
問41-1 差別を受けた、配慮がなく困った相手	1 家族	2 知人	3 他人	4 特にいない	無回答	回答者数
全体	5.0	5.2	19.7	61.3	14.7	1546
障がい区分	身体+知的 (精神含む)	7.0	7.0	30.2	46.5	43
	身体 (精神含む)	2.6	2.9	11.7	69.1	870
	知的 (精神含む)	2.9	5.7	27.3	55.5	245
	精神	15.3	10.3	33.8	47.3	281
	手帳なし	1.5	9.1	31.8	59.1	66
無回答	2.4	7.3	17.1	43.9	34.1	41

どのようなことですか (〇はいくつでも)

具体的な内容

「そのような経験はない」が24.5%、「無回答」が51.6%、合わせて76.1%であり、具体的に回答した方は約4人に1人となっています。「労働、雇用」が6.1%、「学校、教育」が5.3%、「医療」が4.3%などとなっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」では「建物、交通」や「学校、教育」が、「知的障がい」では「学校、教育」が、「精神障がい」では「労働、雇用」が比較的多くなっています。



問41-2 その内容	1 福祉サービス	2 行政	3 選挙の投票	4 医療	5 商品、 お店のサービス	6 建物、 交通	7 労働、 雇用	8 学校、 教育	9 子育て	10 災害	
全体	3.7	2.5	0.9	4.3	3.0	4.5	6.1	5.3	2.3	0.5	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	9.3	7.0	0.0	9.3	7.0	11.6	7.0	11.6	4.7	0.0
	身体（精神含む）	3.7	1.8	1.3	2.8	2.4	5.1	3.7	1.4	0.6	0.7
	知的（精神含む）	2.4	1.2	0.8	2.9	5.3	2.4	5.7	12.7	4.9	0.0
	精神	5.0	4.6	0.4	10.0	2.8	5.0	15.3	6.8	3.6	0.7
	手帳なし	1.5	3.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	21.2	9.1	0.0
無回答	0.0	2.4	0.0	4.9	2.4	0.0	4.9	2.4	2.4	0.0	

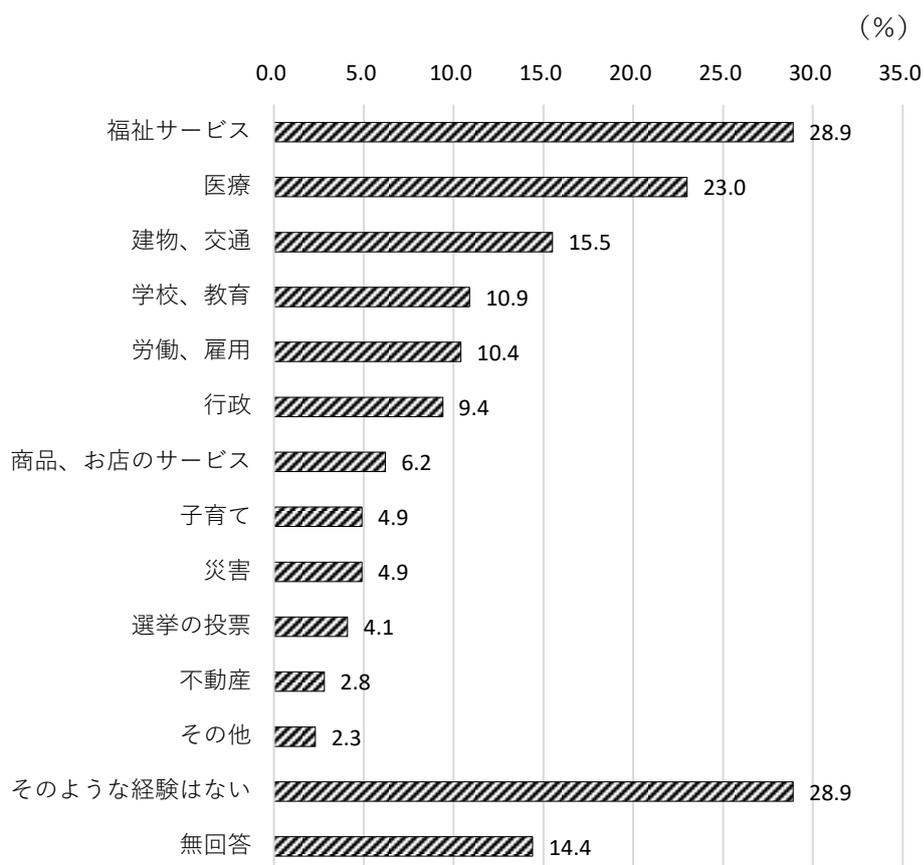
問41-2 その内容	11 不動産	12 その他	13 そのような経験はない	無回答	回答者数	
全体	1.4	5.4	24.5	51.6	1546	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	0.0	0.0	11.6	48.8	43
	身体（精神含む）	0.9	3.0	27.7	57.6	870
	知的（精神含む）	0.0	4.1	21.2	46.9	245
	精神	4.6	15.3	21.4	37.0	281
	手帳なし	1.5	3.0	19.7	47.0	66
無回答	0.0	7.3	17.1	61.0	41	

(3) 障がいのある人へ配慮してほしいこと

問 42 あなたは、障がいのある人への配慮として良かったこと、配慮があって助かったこと、今後配慮してほしいことなどはありますか。

「そのような経験はない」が31.6%、「無回答」が14.4%、合わせて46.0%であり、半分以上の方に配慮してほしいことがあります。「福祉サービス」が28.9%、「医療」が23.0%、「建物、交通」が15.5%などとなっています。

障がい区別でも、「福祉サービス」と「医療」が上位となっている中、「知的障がい」では「学校、教育」が第2位となっています。



問42 障がいのある人へ配慮してほしいこと	1 福祉サービス	2 行政	3 選挙の投票	4 医療	5 商品、 お店のサービス	6 建物、 交通	7 労働、 雇用	8 学校、 教育	9 子育て	10 災害
全体	28.9	9.4	4.1	23.0	6.2	15.5	10.4	10.9	4.9	4.9
障がい 区分	身体+知的（精神含む）	32.6	11.6	11.6	25.6	7.0	20.9	18.6	4.7	4.7
	身体（精神含む）	24.3	8.3	5.1	23.6	6.0	17.7	4.8	2.3	3.6
	知的（精神含む）	40.0	9.4	2.9	21.6	7.8	9.8	20.0	29.8	9.4
	精神	31.0	11.7	1.8	24.6	6.0	16.4	17.4	8.5	6.0
	手帳なし	42.4	13.6	0.0	15.2	6.1	9.1	16.7	60.6	31.8
無回答	22.0	7.3	4.9	17.1	2.4	0.0	4.9	7.3	0.0	

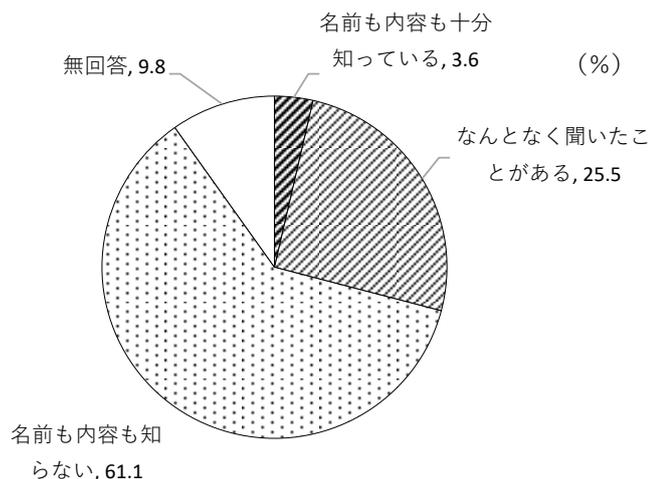
問42 障がいのある人へ配慮してほしいこと	11 不動産	12 その他	13 そのような経験はない	無回答	回答者数
全体	2.8	2.3	28.9	14.4	1546
障がい 区分	身体+知的（精神含む）	0.0	0.0	7.0	23.3
	身体（精神含む）	2.1	1.7	32.2	16.2
	知的（精神含む）	3.7	1.2	22.4	13.1
	精神	4.6	5.3	29.2	8.5
	手帳なし	4.5	0.0	25.8	0.0
無回答	0.0	4.9	24.4	39.0	

(4) 障害者差別解消法の認知

問 43 「障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」について
知っていますか。（○は1つだけ）

「名前も内容も知らない」が61.1%、「なんとなく聞いたことがある」の割合が25.5%、
「名前も内容も十分知っている」が3.6%となっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」で「なんとなく聞いたことがある」
が比較的多くなっています。



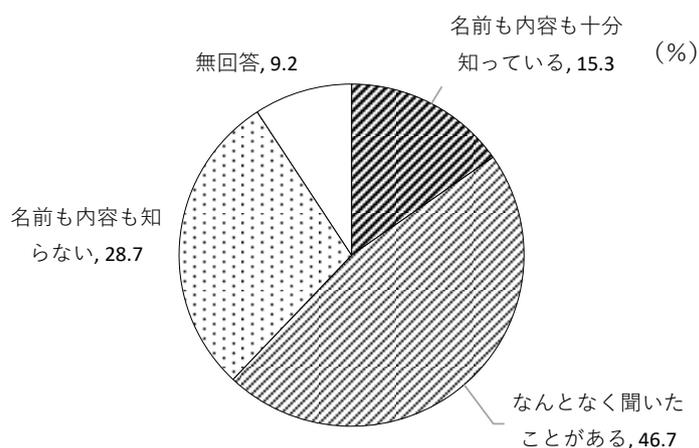
問43 障害者差別解消法の認知	1 る 名 前 も 内 容 も 十 分 知 っ て い	2 る な ん と な く 聞 い た こ と が あ	3 名 前 も 内 容 も 知 ら な い	無 回 答	回 答 者 数	
全体	3.6	25.5	61.1	9.8	1546	
障 が い 区 分	身体+知的（精神含む）	4.7	30.2	46.5	18.6	43
	身体（精神含む）	3.7	26.9	56.7	12.8	870
	知的（精神含む）	3.7	24.1	66.5	5.7	245
	精神	3.9	21.7	71.5	2.8	281
	手帳なし	1.5	28.8	68.2	1.5	66
無回答	0.0	22.0	53.7	24.4	41	

(5) 成年後見制度の認知

問44 成年後見制度について知っていますか。(○は1つだけ)

「なんとなく聞いたことがある」が46.7%、「名前も内容も知らない」が28.7%、「名前も内容も十分知っている」が15.3%となっています。

障がい区別でみると、「身体障がい+知的障がい」で「名前も内容も十分知っている」が比較的多くなっています。



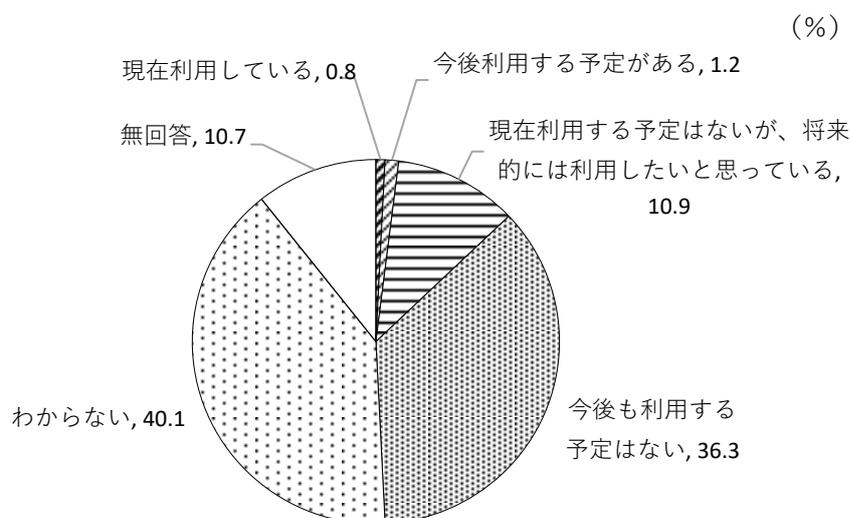
問44 成年後見制度の認知	1 る 名 前 も 内 容 も 十 分 知 っ て い	2 る な ん と な く 聞 い た こ と が あ	3 名 前 も 内 容 も 知 ら な い	無 回 答	回 答 者 数	
全体	15.3	46.7	28.7	9.2	1546	
障 が い 区 分	身体+知的(精神含む)	20.9	39.5	23.3	16.3	43
	身体(精神含む)	17.1	47.1	23.7	12.1	870
	知的(精神含む)	13.5	46.5	35.1	4.9	245
	精神	14.2	45.6	37.0	3.2	281
	手帳なし	6.1	60.6	31.8	1.5	66
無回答	4.9	31.7	41.5	22.0	41	

(6) 成年後見制度の利用状況

問 45 あなたは現在、成年後見制度を利用していますか。また今後、利用する予定はありますか。(○は1つだけ)

「わからない」が40.1%、「今後も利用する予定はない」が36.3%、「現在利用する予定はないが、将来的には利用したいと思っている」が10.9%となっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい+知的障がい」で「現在利用している」と「今後利用する予定がある」が、また、「身体障がい+知的障がい」と「知的障がい」で「現在利用する予定はないが、将来的には利用したいと思っている」が比較的多くなっています。「身体障がい」と「精神障がい」では「今後も利用する予定はない」が多くなっています。



問45 成年後見制度の利用状況	1 現在利用している	2 今後利用する予定がある	3 が現在利用する予定はない と将来利用する予定はない と思っている	4 今後利用する予定はない	5 わからない	無回答	回答者数
全体	0.8	1.2	10.9	36.3	40.1	10.7	1546
障がい区分							
身体+知的(精神含む)	4.7	9.3	30.2	4.7	32.6	18.6	43
身体(精神含む)	0.5	0.8	6.1	43.1	35.5	14.0	870
知的(精神含む)	1.2	2.4	27.3	17.6	45.7	5.7	245
精神	0.4	0.4	8.9	41.6	44.8	3.9	281
手帳なし	1.5	0.0	9.1	27.3	62.1	0.0	66
無回答	2.4	2.4	12.2	14.6	43.9	24.4	41

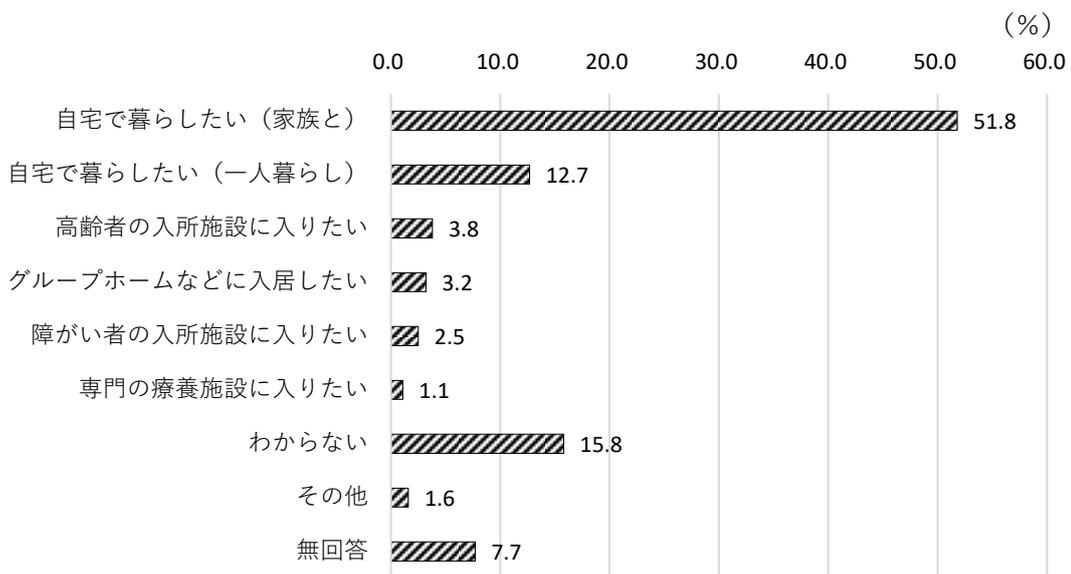
12 今後のことについてお聞きします。

(1) 将来の暮らし方

問46 あなたは、将来（概ね10年後）どのように暮らしたいと思いますか。（○は1つだけ）

「自宅で暮らしたい（家族と）」が51.8%と最も多く、「自宅で暮らしたい（一人暮らし）」が12.7%などであり、「わからない」は15.8%でした。

障がい区分別でみると、「身体障がい」と「精神障がい」では「障がい者の入所施設に入りたい」が、「知的障がい」では「グループホームなどに入居したい」が、比較的多くなっています。



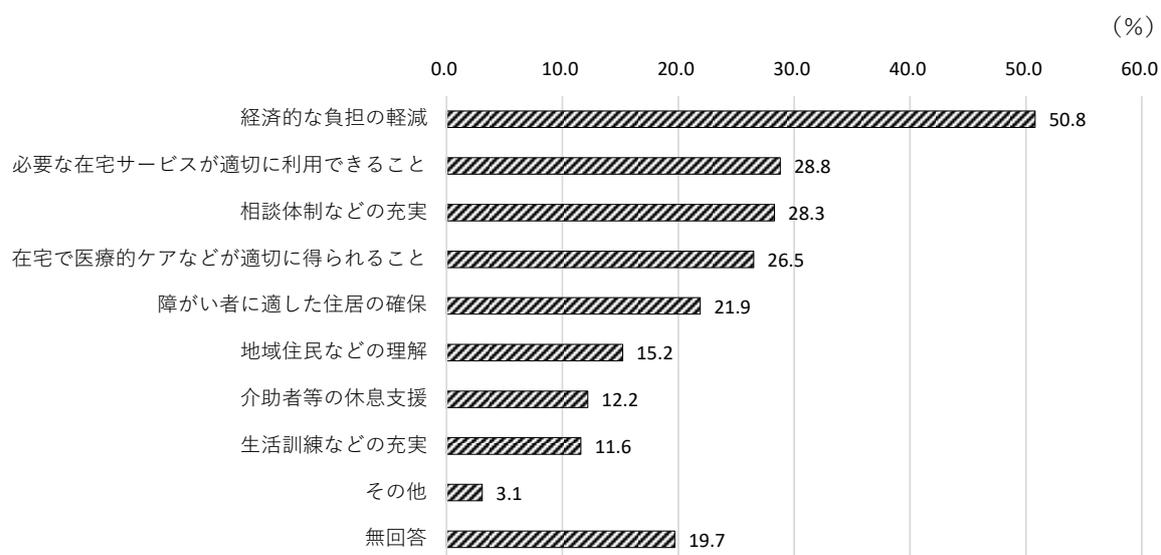
問46 将来の暮らし方	1 と 自宅 で 暮ら した い （家 族 ）	2 自 宅 で 暮 ら し た い （一 人 暮 ）	3 グ ル ー プ ホ ー ム な ど に 入 居 	4 た 障 が い 者 の 入 所 施 設 に 入 り 	5 い 高 齢 者 の 入 所 施 設 に 入 り た 	6 専 門 の 療 養 施 設 に 入 り た い 	7 わ か ら な い 	8 そ の 他 	無 回 答 	回 答 者 数 	
全体	51.8	12.7	3.2	2.5	3.8	1.1	15.8	1.6	7.7	1546	
障 が い 区 分	身体+知的（精神含む）	39.5	9.3	4.7	14.0	2.3	2.3	11.6	2.3	14.0	43
	身体（精神含む）	55.1	10.8	0.5	1.1	5.7	1.4	15.2	0.9	9.3	870
	知的（精神含む）	40.4	8.6	15.5	8.2	0.8	0.8	17.1	3.3	5.3	245
	精神	51.6	24.2	1.1	0.4	1.1	0.4	14.9	2.5	3.9	281
	手帳なし	68.2	6.1	0.0	0.0	1.5	0.0	24.2	0.0	0.0	66
無回答	39.0	12.2	4.9	2.4	2.4	2.4	17.1	0.0	19.5	41	

(2) 地域で生活するために必要な支援

問47 あなたが将来にわたって地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(〇はいくつでも)

「経済的な負担の軽減」が50.8%、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が28.8%、「相談体制の充実」が28.3%、「在宅で医療的ケアなどが適切に得られること」が26.5%などとなっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい」と「精神障がい」では「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が最も多くなっています。



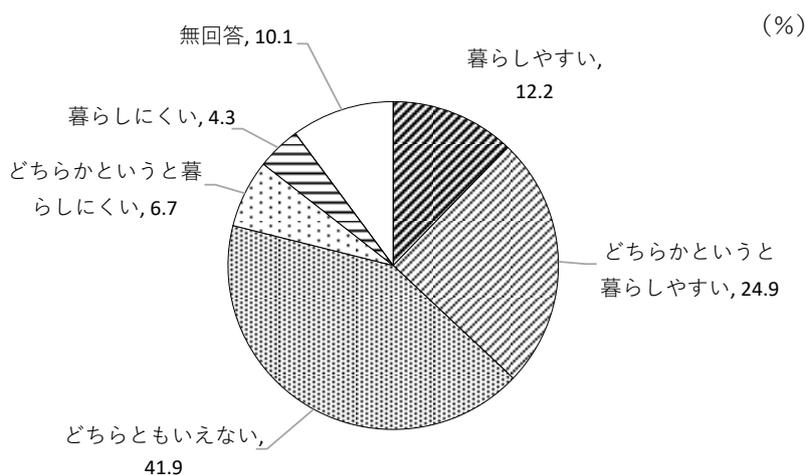
問47 地域で生活するために必要な支援	1 在宅で医療的ケアなどが適切	2 障がい者に適した住居の確保	3 に必要な在宅サービスが適切	4 生活訓練などの充実	5 経済的な負担の軽減	6 相談体制などの充実	7 地域住民などの理解	8 介助者等の休息支援	9 その他	無回答	回答者数	
全体	26.5	21.9	28.8	11.6	50.8	28.3	15.2	12.2	3.1	19.7	1546	
障がい区分	身体+知的(精神含む)	32.6	27.9	46.5	14.0	44.2	23.3	20.9	27.9	7.0	20.9	43
	身体(精神含む)	35.4	18.9	34.0	6.1	46.8	20.0	8.3	10.1	3.0	21.5	870
	知的(精神含む)	11.4	38.4	24.5	24.9	56.7	33.9	29.4	16.3	1.6	16.3	245
	精神	17.4	17.4	18.5	9.3	61.6	42.3	18.5	11.0	5.0	15.7	281
	手帳なし	6.1	15.2	15.2	43.9	59.1	59.1	31.8	21.2	0.0	13.6	66
無回答	17.1	24.4	19.5	12.2	22.0	29.3	22.0	7.3	2.4	36.6	41	

(3) 富士見市の暮らしやすさ

問 48 総合的に見て、現在の富士見市は障がいのある人にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(〇は1つだけ)

「どちらともいえない」が41.9%、「どちらかという暮らしやすい」が24.9%、「暮らしやすい」が12.2%となっています。

障がい区分別でみると、「身体障がい」と「精神障がい」では「どちらかという暮らしにくい」と「暮らしにくい」が比較的多くなっています。



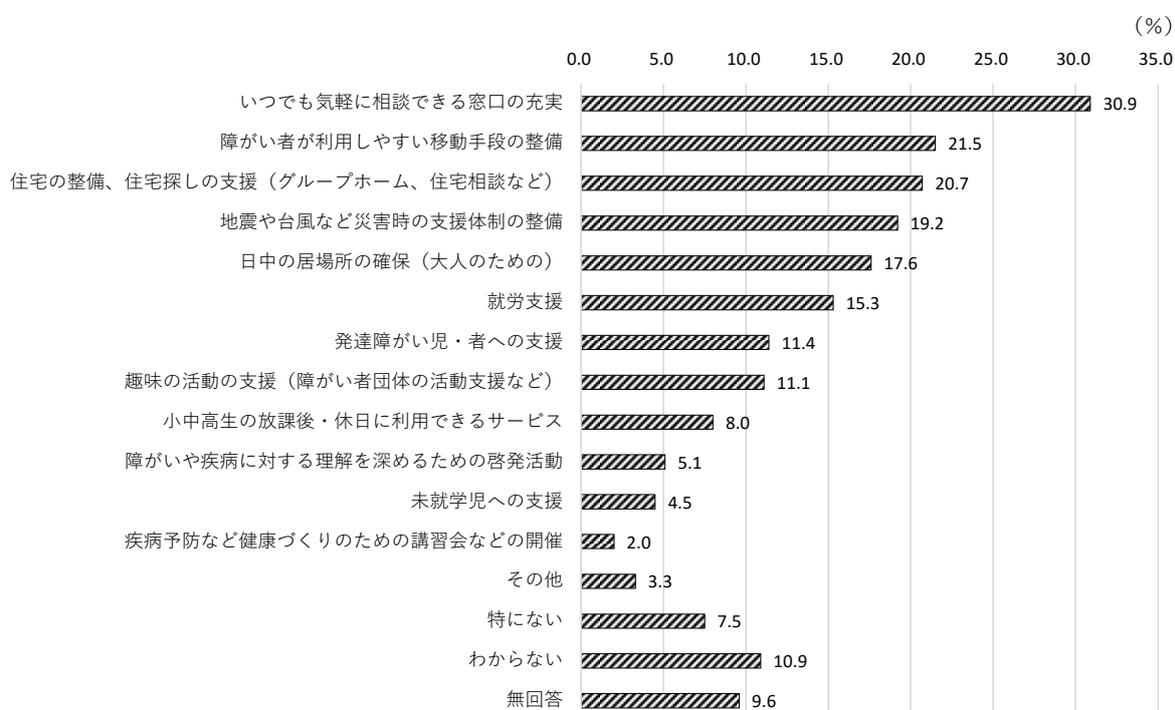
問48 富士見市の暮らしやすさ	1 暮らしやすい	2 どちらかという暮らしやすい	3 どちらともいえない	4 どちらかという暮らしにくい	5 暮らしにくい	無回答	回答者数
全体	12.2	24.9	41.9	6.7	4.3	10.1	1546
障がい区分	身体+知的(精神含む)	14.0	11.6	41.9	11.6	7.0	43
	身体(精神含む)	11.6	24.7	41.0	6.3	3.8	870
	知的(精神含む)	15.5	24.9	41.6	6.9	3.7	245
	精神	11.7	26.3	45.9	6.8	5.7	281
	手帳なし	7.6	33.3	43.9	7.6	6.1	66
無回答	12.2	19.5	31.7	4.9	2.4	29.3	41

(4) 充実すべき障がい福祉施策

問 49 今後、富士見市の障がい福祉は、特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(主なもの3つまでに○)

「いつでも気軽に相談できる窓口の充実」が30.9%、「障がい者が利用しやすい移動手段の整備」が21.5%、「住宅の整備、住宅探しの支援（グループホーム、住宅相談など）」が20.7%、「地震や台風など災害時の支援体制の整備」が19.2%などとなっています。

障がい区分別でみると、「いつでも気軽に相談できる窓口の充実」は各障がいとも多くなっています。また、「身体障がい」と「精神障がい」では「日中の居場所の確保（大人のための）」が、「身体障がい」では「障がい者が利用しやすい移動手段の整備」が、「知的障がい」では「住宅の整備、住宅探しの支援（グループホーム、住宅相談など）」が、「精神障がい」では「就労支援」が比較的多くなっています。



問49 充実すべき障がい福祉施策	1 住宅の整備、住み探しの支援（グループホーム、住宅相談など）	2 日中の居場所の確保（大人のため）	3 趣味の活動の支援（障がい者団体の活動支援など）	4 未就学児への支援	5 小中高生の放課後・休日に利用できるサービス（放課後等デイサービス、日中一時支援、ショートステイ、ガイドヘルパーなど）	6 発達障がい児・者への支援	7 就労支援	8 いつでも気軽に相談できる窓口の充実	9 障がいや疾病に対する理解を深めるための啓発活動	
全体	20.7	17.6	11.1	4.5	8.0	11.4	15.3	30.9	5.1	
障がい区分	身体+知的（精神含む）	18.6	37.2	2.3	4.7	7.0	9.3	14.0	41.9	2.3
	身体（精神含む）	17.4	14.4	7.8	3.1	3.7	3.7	8.4	28.7	3.2
	知的（精神含む）	38.0	23.7	21.6	4.9	14.7	23.7	21.2	26.5	7.3
	精神	21.0	22.8	14.9	1.8	2.5	12.5	31.7	38.1	10.0
	手帳なし	7.6	6.1	3.0	30.3	57.6	63.6	18.2	37.9	6.1
無回答	9.8	12.2	12.2	9.8	17.1	14.6	9.8	31.7	0.0	

問49 充実すべき障がい福祉施策	10 障がい者が利用しやすい移動手段の整備	11 地震や台風など災害時の支援体制の整備	12 疾病予防など健康づくりのための講習会などの開催	13 その他	14 特になし	15 わからない	無回答	回答者数
全体	21.5	19.2	2.0	3.3	7.5	10.9	9.6	1546
障がい区分	身体+知的（精神含む）	27.9	18.6	0.0	9.3	2.3	2.3	43
	身体（精神含む）	26.1	23.9	2.8	2.8	9.4	12.4	870
	知的（精神含む）	14.3	17.1	0.8	2.0	4.9	6.5	245
	精神	16.7	11.7	1.8	5.3	4.6	12.5	281
	手帳なし	9.1	1.5	0.0	3.0	3.0	6.1	66
無回答	12.2	12.2	0.0	2.4	14.6	12.2	26.8	41

13 記述意見

最後に、市の障がい福祉にご意見・ご要望がございましたらお書きください。

315 件の記述がありました。その中から、一部を紹介します。

- 富士見市は障がいのある方やその家族に寄り添い福祉サービスを充実させたいのなら、もっと積極的にサービス案内など実行して欲しいと思う。言語訓練も小6までで中学生になると受けられず、他の療育医療機関を案内されるでもなく見放された感じがした。支援学級に在籍している児童を把握しているのだから、サービス案内や障がいがあっても参加できる地域の活動など提供して頂きたい。
- 市内循環バスの通勤帯の台数及びルートを増やしてほしい。(東上線より西側ルートもぜひ!!)
- 市に限ったことではないが、もっと気軽に精神科・メンタルクリニックに通えるようになれば良いと思う。また、カウンセリングが保険適用あるいは補助が出れば助かると思う。全額実費だとカウンセリングを医療機関で受けようとするので1回5000円程とられるので受けたくても受けられません。
- 精神障がいを持っている人の就労について要望です。障害者雇用の枠でかなりの長い時間を使って仕事を探しましたが、ほぼ100%近く当てはまる雇用がありませんでした。ほとんどが身体障がいに関するものばかりでしたので、精神障がいを持っていても働く意欲を失われる事のないような雇用枠を考えていただけたらと思います。
- 2年ほど前に私は障害者手帳を申請しましたが、今だに障害者ということばを受け入れて自分で使うことは無いです。とても重いことばに感じます。窓口に行くのも最初抵抗がありました。たしかにわかりやすい言葉ではありますが、もっとやさしい言葉だったらいいのに…と常に思います。
- 障がい者の一生におけるライフスタイルへ福祉サービスがどこまで、どのタイミングで利用するのがいいなど個人ごとへの利用プランなど、その人の求める事、不安な事など長期的に相談できる総合窓口の様な機会や相談員などがあればいいと思います。
- デジタル化がどんどん進み、良い面もあるが、取り残されていく不安がある。
- タクシー券については感謝してますが精神と耳鼻科と整形外科・眼科内科と通院が多くていただいた券ではまにあいません。
- 障がいなどはありませんが、困りごとを相談した時にスムーズに関係機関につないでいただき、また多くの児童発達支援施設の選択肢があり、とても良かったです。今後ともよろしく願います。
- 未就園児の就園についての情報やサポートがあるといいです。特性や障がいがあっても受け入れ可能な園はどこかなどの情報がないので自分で一から探して幼稚園に事情を説明するしかなく、適切なサポートができないなどの理由で入園を断われたり、入園はできても特別な配慮はできないと言われることもあるので、こちらの精神的な負担も大きく、就園先を探すハードルが高いです。
- 市の障がい福祉課の窓口が土日にも開いていると大変助かります。
- 夜間・休日の相談窓口の無さに不便を感じています。産前産後のホルモンバランスや、環境の変化に元々弱い体質なので月1の精神通院を産後直後から始めました。産後3ヶ月を過ぎた辺りから明らかに精神が不安定になることが増えてきました。しかもそういう時に限って、夜間・休日であったりします。
- 特別障害者手当はとてもありがたいのですが審査(受給)がとても厳しく、担当者の方からも正直辛辣な対応を受けた苦い経験があります。対象者を特定するのにとても苦慮されていると

- はと思いますが、もう少し配慮していただけたらと思います。
- 子供のショートステイ先がなかなかみつかりません。もっと増やしてほしいです
 - 「障がい」という表記→すばらしいご配慮だと思いました。今まで全く気がつきませんでした。
 - 7～8年前に富士見市に転居して来た。当初は直ぐに民生委員の女が来られた。この3～4年は民生委員の名前も分からない。何かあったら相談をと記されたカードが入るのみで連絡先も何も分からない。人手不足かもしれないがもう少し具体的に示して欲しい。
 - 私の宛名に、「富士見市障がい福祉に関するアンケート在中」と記入されて配達されてきましたが、個人情報もれるので記載しない様に配慮して欲しいです。
 - 市役所へのアクセス自体が、体調が悪いとハードルが高いので、支所などでも色々な手続きができる様になるとうれしいです。
 - それぞれの年齢で必要なサービスは変わってくると思います。今はA Iもあり、その人に合った情報を登録したらスマホに送られる出会い等のコミュニティー情報等あれば人生が楽しくなるのでは?!と思います。
 - 新しい放デイができた時どこかで確認できると嬉しい。また、放デイの中で高校生向けのものが不足と感じる。
 スクールカウンセラーの先生で、たまに短時間しか来られない、毎年変わるかもしれない先生に、死にそうになっている子供の悩み事を相談しつづける事はできなかった。安心できる環境を希望する。各校に1名配置は難しいかと思うが…。
 - 障がいがあってもなくても、“お互い様”だと思いあえる社会になってほしい。その為には何が必要かを考えて下さい。障がいがある人のことをない人が“わからない”“意味不明”“こわい”“ヤバイ”と思うのならば、障がいのある人にしてみれば同じようにならない人のことを“なんでわからないの?”“意味不明”“大丈夫?”“ヤバイ”と思っていることも往々にしてある。健常者が上ではなく、お互い別の人間同志『お互い様』が広まってほしいと心から願います。
 - 放デイの情報をもっと詳しく知りたい。自分で調べるには時間もかかり、見学など予約して行くことを考えると、どこにどんなところがあるかだけでも一覧にして電話番号ものせてもらえると助かります。児童発達支援を利用する時もそうだったが、もっと情報をオープンにしてほしかった。こちらは初めてで何も分からないし不安もある中で詳しく教えてもらえない印象があった。
 - 色々な調整が必要なのかとは思いますが病院←→駅の直通バスは駅の前に停車出来るようになってほしいと切に思います。バスを利用している効果が半減するぐらいに感じてます。
 - 学習障がいがある児に対しての学習支援（デイサービス）が少ないと感じます。中学生は提出物が多く、それを計画的にすすめていくのはなかなか大変でデイサービスでかなり助けていただいています。うちのように支援をうけられている人はラッキーで、いっぱい入れないという話をききます。「グレー」とよばれるレベルの子どもたちの支援にももう少し目を向けてほしいです。
 - ・誰もが障がいについて知識となる何かに触れる機会があると良いのだと思います。知識を得るだけでなく、体感できる機会もあれば「相手の立場に立って」考えることが今よりも容易になるのではないかとともに思います。やさしくされた経験があれば他者へやさしくできるようにもなります。地域全体でそういった環境づくりができれば良いなと考えます。
 - 市内の公園内に知的障害者でも楽しめるような、アスレチック的な遊具など設置していただくと、健康増進にもつながり、楽しい時間も過ごせそうです。
 - 仕方の無い事だとは思いますが、年度ごとに市役所の担当者さんが変わってしまうと、人と関わる事に難がある私にとってどんどん相談しにくくなってしまっていて、就労支援など相談したくてもお声をかけるじてんで難易度が高く困っています…
 - 民生委員の訪問は、希望している方のみにしてもらいたい。自身の場合、精神疾患がある為、過度なストレスを感じます。また、民生委員と近所の人にも分かるような名札をぶらさげてい

るのにも抵抗感があります。訪問ではなく特定の事務所などで相談できる場所があれば利用するかもしれないです。プライバシーは守ってもらえないと安心して話せません。目立たずに静かに生活していきたいので。

- 日常生活用具の給付申請を、PCやスマホでの申請ができる様にしてほしい。
- 大変お世話になり感謝しています。
- 市のことに限らずですが、サービスや給付をうけるのに、所得制限がある事は理解できません。同じ障害でも、支援を受けれる人と受けづらくなる人の差が出ます。それもめっちゃめっちゃ高所得ならまだしも、そこまでではない一般家庭でもひっかかってしまうような基準もどうかと思います。
- 他市の療育施設に2つ通っていましたが、2市とも、幼稚園以降も相談員がつくそうで、他市では相談員がつづくのに、どうして富士見市はなくなるのですか？また、子供に合った病院がなく子ども未来応援センターのアドバイスをうけて、東京の病院までいきました。片道1時間大変です。こちらも、未就学児までです。
- 「循環バス特別乗車証」を持っていますが、利用したことが一度もありません。通院の際など駅まで割と遠く大変なので“運行時間の本数を増やす”とか“乗車出来る停留所を増やす”とか改善をお願いしたいです。
- 障がいをもって人は、自分から調べて相談してすべて自分から探してやらないといけない。市から何らかのアクションがあると、助かります。
- 親も高齢になり、子供の将来の事を考えると、早くグループホームがほしいと思っています。そしてなにより安心して安全で楽しく過ごしていける場所が第一です。グループホームも増えてきていますが、重度の人を受け入れてくれる場所はなかなかありません。そしてグループホームに入ってしまうと、受れられないサービスもあります。安心、安全で過ごすには、支援が多い方が良いに決まっていますのでサービスの見直し改善を宜しくお願い致します。
- 65才になっても障がい福祉がつかえるようにしてほしい。
- 「受けられるサービスがわかりにくい」というのは、大変大きいと思います。市役所へ行って資料やパンフレットをもらわなければわからないというのは不便です。障がい者にとって、市役所に行くというだけで大変むずかしい事です。例えば、アプリやサイトから一問一答の質問形式で自分が受けられるサービスにたどりつけたり、AIのチャットボットで簡単な質問を受け付けたり、深夜や休日はチャットだけでもいいので相談体制があるとかそういうものがあると大変ありがたいです。
- 知的に重い人の為の余暇活動の場が無い。(音楽やダンスなど、その人ができるレベルでの催しがほしいです。発達障害もある場合、ザワザワした環境や、不安などからパニックしたり落ちつかなくなったりすると思いますが、根気良く、押しつけのない感じの余暇活動ができると良いです。休みの日は本当にやる事がなく、散歩ぐらいしかせず、趣味や楽しみがなかなか広がりません。)
- 行動援護サービスを日曜日をお願いしているが希望者が多く、待機を長くさせられています。希望する人には平等に利用できるよう指導してもらいたい。ヘルパーさんも増やしたり、事業所も増えたらよいと思います。
- 発達障害の方にどのようなサービスがあり、利用できるかがよく分からないので市のホームページ等の発達の方に向けたサービスを一覧できる場所があればよいと思う。
- 平日、仕事をしているので更新手続きの際は休みをとって市役所に行かないといけないのがめんどいです。
 - ・(土)や出張所など、仕事を休まなくても手続きできたらとても便利なので
- 『障がい者相談支援センター』さんとの面談が半年に1回(?)ありますが、報告を聞くだけで、年に1回でもよいかと思うのですが。センターに要望を伝えても良いのでしょうか？
- 自分の子が発達(障がい)の診断が降りた時、その後のやればよいこと、順番など分からない。

その上療育先も自分で探すことに。市役所に行ったが、療育先の資料も渡されず、療育先が決まったらまた来てと言われた。紙の媒体などもくれずごく付き離された感がして不安になりました。もっと親切に対応して欲しかった。

障がいがある子の親はみんなみんな、いっぱいいっぱいになっているので、もっと親切にして欲しい、よりそって欲しいです。携帯で調べれば分かるだろ、って思う人も中にもいるかもしれないが、ネットで情報を探るのが苦手な人がいるのも分かって欲しいです。

- 本人を支える家族への支援が必要だと思います。障害を持つ本人が情報にアクセスするのは難しいことが多く、家族頼りになりがちですが、家族もそれぞれ生活があるので、全てをケアにあてることはできないと思います。分かりやすい情報提供も大事なことで、「知らない」「分からない」を減らすことも障害を持つ本人や家族への支援につながるようになると思います。

- 私は両膝の手術をしている為、外出の際は脇で支えるカートを使用していますが、道路の状態が悪くスムーズに進めません。補装をきれいにして頂きたいです。

- 親が元気なうちに終の棲家（グループホーム等）を用意しておきたいが、なかなか無い。入ってから問題があったとしても問題の解決を考えるには親が元気なうちではないと出来ない為、早く入らせたい。

災害があった場合、避難所生活は出来ない。自宅が倒壊したとしても家で過ごさないといけないと思う。（健常者も優しい気持ちでは見てくれない）避難所も障害ある人だけの施設、又はブース分けしてもらえると少し安心する。

- 母が要介護（認知症）となり、主に弟が看ています。弟の精神状態がだんだん悪くなってきています。私自身も、2カ月に1度くらいは帰省していますが、その都度、母の言葉で傷ついて帰ってきます。障がい者本人も大変だと思いますが、周りのケアも、もっと大切だと思っています。

- 重度の障害者が安心して過ごせるグループホームを作っていただきたいです。

- ・小中学校の障がい者と健常者の子供同士の交流を教育委員会と連携して促進していただきたいと考えます。理由：子供の頃から障がいを持つ人が当たり前にいる環境を大人が作る事がとても重要だと考えます。同じ時間や空間を共有する機会を増やすことで、次の世代はより理解し合え、優しさが生まれ、お互いに気持ち良く過ごせる社会を自然と作る事を願っています。

・設備面の充実を要望します。理由：障がいを持つ人の外出は健常者の方が思っているよりも実際は大変です。日常生活でもエレベーターやトイレなどを必要とする方への配慮を進めていただきたいと思います。多目的トイレは、車イスで回転できる大きさやオスメイト設備、介護ベッドなどは必須です。

・移手段の拡充を要望します。理由：デマンドタクシーは使い勝手が悪いと感じている方が多いので、使えるツールは用意しましたよ。で、終わる事ではなく、福祉施策の一環としてバスの拡充やワゴン車の活用を求めます。外出をする事は高齢者だけでなく障がい者にとっても大変重要です。都市計画課と連携をしていただいて、支援を求めます。

・障がい者施設への支援の拡充を要望します。理由：ダイレクトでの当事者への支援も心から感謝をしているところですが、介護をしてくださっている各福祉事業所の職員さん達も本当に大変なお仕事です。やりがいを持って続けていただくために給料や福利厚生を後押しするような給付を拡充するように工夫を求めます。人間ですから余裕がなければ事故やトラブルが発生する原因になりますし、余裕があれば優しく出来るし、質の良いサービスを提供していただくと考えます。

・介護サポートへの支援を要望します。理由：身近な友人や知人に介護をサポートしてもらった時に、その人に市から報酬がでるような仕組みを作っていただきたいと考えます。勿論、不正が無いように制限は必要です。しかし、今あるサービスの隙間を埋める様な支援こそ求められていると考えます。介護者不足を解消し、頼む側も頼まれる側も気兼ねなく利用できるからです。

- ・エスコートゾーンの増設と踏切の安全向上を要望します。理由：昨年に引き続き本年もエスコートゾーンの設置に感謝しています。年に1か所から2か所でも増やして頂ければ目の不自由な方の外出へ大きな支援となります。また、踏切の対応もよろしくお願いいたします。車イスを利用する方の安全もご配慮していただきますよう、よろしくお願いいたします。
- ・重度心身医療費補助の継続を要望します。理由：議案が提出された当時、各福祉事業所さんなどに話を聞きに伺いました。福祉作業所から社会に出て頑張っている人達に対する支援として、総合的に必要だと判断して議案に反対いたしました。今回自分の身に停止処分の通知が来ましたが、障がい者が社会に出て働くために本当に支えになる支援だと実感しました。障がいは病気とは違い治ることはありません。医療の力に助けてもらい続けるには必要な支援です。
- 障害者に対しての支援や協力には、周りの人達の理解が不可欠です。その為の差別のない世の中になる為の発信を是非お願いしたいと思います。
- 就労移行支援を利用して就職出来ました。4年間勤務出来ています。
- 市の政策に障がい当事者（特に精神障がい者）の参画、会議へ当事者委員として参加させてほしい。
- 障がいを持つ子の親に対しての負担の軽減、ケア、意見を聞く場を強く要望します。
- 中学校以降の情報が今のところ情報が少なく不安に思っています。発達障害児の困りごととは、幼少期で終わるわけではありませんので、継続的な支援を求めます。よろしくおねがいします。
- 現在ゆいの里に入所中です。市内の施設のため、帰省や外出等もしやすく、隔離された場所という感がなく、とてもありがたいです。周囲の環境も、文教・福祉施設・運動公園・田んぼ等で、ゆったり過ごせている雰囲気があります。このままここでずっと過ごさせてあげたいと思っています。
- 富士見市に限らず、もっと行政は障がい者の生きにくさを真剣に受け止めて、一人の人間として幸福な人生を歩めるような支援やサービスを充実させて欲しいです。
- 障害者手帳を貰った時に冊子も一緒に貰ったが、冊子に書いてある内容や、障がい者が受けられる支援やサービスなどの総合的な情報を知れるホームページ、ポータルサイトのようなものが欲しい。スマホやPCを障がい者福祉に適切に運用出来ていないのは障がい者に対する情報面での福祉の意識の低さを感じる。
- いつも、親身になって、相談にのってくださってありがとうございます。そして支援に繋がってくださってくださったことで、良い方向に進んでいます。あの時、相談にのってくださらなかったら、支える側は、何をどうしたらいいか悩み悩んでいたと思います。
- ふるさと納税のようなイメージで、個人で選択的に市の福祉事業に投資できる制度ができれば、そのような社会参加のあり方も検討してほしい。
- 市役所に車椅子で行く時に、駐車場から雨に濡れないような構造にしてほしい。
- 高校生です。どのような支援があるのかわかりません。情報をください。
- 知りたい福祉情報を市のホームページから探すのが困難。専用サイトやアプリの整備を希望します。

調査票

富士見市 障がい福祉についての実態調査

富士見市では令和3年3月に「第5期富士見市障がい者支援計画」を策定し、同年4月からこの計画の推進に向けて取り組んできました。

この計画期間が令和5年度で終了するため、この度、新たな計画の策定に向けて、障がいのある方の実態調査を実施することになりました。

この調査は、市内在住で障害者手帳をお持ちの方、手帳をお持ちでなく障がい福祉サービスを利用している方や自立支援医療の給付を受けている方などから3,000名を無作為で抽出しております。

また、無記名郵送方式で実施し、調査結果は統計的に処理しますので、回答者個人が特定されたり、回答内容が明らかにされることはなく、本市の障がい福祉施策の充実のための基礎資料としてのみ使用するもので、それ以外の目的で使用されることはありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年9月

富士見市

記入にあたってのお願い

- この調査は、原則としてご本人におうかがいするものですが、ご本人が回答できない場合は、ご家族や支援者の方が、ご本人の立場にたってご記入ください。設問中の「あなた」はすべてあて名のご本人のことを指しています。
- 回答にあたっては、すべて令和5年9月1日現在の状況でご記入ください。
- インターネットによる回答も可能です。その場合、この調査票の返送は不要です。右のQRコード、または、下のURLから、専用のウェブサイトにアクセスしてください。



<https://forms.gle/amccmu2R8wgtpCXp6>

ご記入いただいた調査票は、**10月4日（水曜日）**までに、同封の返信用封筒に入れて（切手を貼らずに）ポストへ投函してください。

※この調査は、9月1日時点の市民の方を対象に実施しております。行き違いなどがありましたら、ご容赦ください。

お問い合わせ先
富士見市 健康福祉部 障がい福祉課
電話 : 049-251-2711
ファクス : 049-251-1025

【ご記入にあたって】

調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名のご本人です。封筒のあて名のご本人がお答えください。ご本人がお答えになれない場合は、ご家族や支援者の方がご本人のことをお答えください。

1 回答者についてお聞きします。

問1 回答されている方はどなたですか。(○は1つだけ)

1. あて名のご本人が記入
2. あて名のご本人に聞いて、家族や支援者などが代わりに記入
3. あて名のご本人の意向を考えたうえで、家族や介助者・支援者が記入

2 あなた（封筒のあて名のご本人）についてお聞きします。

問2 あなたの現在の年齢をお答えください。(○は1つだけ)

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 0～5歳 | 3. 19～29歳 | 5. 40～49歳 | 7. 65～74歳 |
| 2. 6～18歳 | 4. 30～39歳 | 6. 50～64歳 | 8. 75歳以上 |

問3 あなたは現在どこで生活していますか。(○は1つだけ)

※週末だけご自宅に戻られている方などは、週のうち一番長く居る場所をお答えください。

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 自宅（持ち家・ご家族の持ち家） | 4. 病院に入院中 |
| 2. 自宅（賃貸住宅） | 5. 福祉施設に入所中 |
| 3. グループホーム | 6. その他（ ） |

【問3で「1. 自宅（持ち家・ご家族の持ち家）」「2. 自宅（賃貸住宅）」と回答した方にお聞きします。】

問3-1 現在、あなたが一緒に暮らしている方は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 父母・祖父母・兄弟姉妹 | 4. その他 |
| 2. 配偶者（夫または妻） | () |
| 3. 子ども | 5. いない（一人で暮らしている） |

問4 お持ちの手帳などの種類と等級をお答えください。

種類 (あてはまるものすべてに○)	内容
1. 身体障害者手帳	等級 (○は1つ) 1. 1級 3. 3級 5. 5級 2. 2級 4. 4級 6. 6級
2. 療育手帳(みどりの手帳)	等級 (○は1つ) 1. ㊤ 2. A 3. B 4. C
3. 精神障害者保健福祉手帳	等級 (○は1つ) 1. 1級 2. 2級 3. 3級
4. いずれも持っていない	

問5 あなたは障害支援区分※の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

1. 区分1	3. 区分3	5. 区分5	7. 受けていない
2. 区分2	4. 区分4	6. 区分6	

※障害支援区分とは：障がいの多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合を総合的に示すもので、その度合に応じ、区分1から区分6までの6段階で認定されます。障がい福祉サービス等を受けるための要件や、支給量、期間を定めるための基準となるものです。

問6 あなたは重症心身障がい※に該当しますか。(○は1つだけ)

1. 該当する	2. 該当しない
---------	----------

※重症心身障がい：身体障害者手帳1級・2級の重度の肢体不自由と、療育手帳㊤・Aの重度の知的障がいとが重複した状態のことをいいます。

問7 あなたは現在、以下の障がいや疾患の診断を受けていますか。(○はいくつでも)

1. 視覚障がい	7. 精神障がい
2. 聴覚障がい又は、平衡機能障がい	8. 難病(特定疾患)
3. 音声・言語・そしゃく機能障がい	9. 高次脳機能障がい
4. 肢体不自由	10. 発達障がい
5. 内部障がい(心臓、腎臓、呼吸器など)	11. その他()
6. 知的障がい	

問10 主な介護者が介護（ケア）をできない場合、どなたに代わりをお願いしていますか。
 (〇はいくつでも)

- | | | |
|-------------|----------------|--------------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 5. その他家族や親族 | 9. ボランティア |
| 2. 父親・母親 | 6. 友人・知人 | 10. 施設や病院の職員 |
| 3. 子ども | 7. 近所の人 | 11. その他（ ） |
| 4. 子どもの配偶者 | 8. ホームヘルパー・家政婦 | 12. いない |

3 保健・医療についてお聞きします。

問11 現在、医師の診療や訪問看護を受けていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 自宅で訪問診療を受けている | 4. 時々通院している |
| 2. 自宅で訪問看護を受けている | 5. 入院している |
| 3. 定期的に通院している | 6. 診療は受けていない |

問12 あなたには、日常的に診療や相談などを受けられる医師がいますか。(〇は1つだけ)

- | | | | |
|----------|----------|------------|-------------|
| 1. 市内にいる | 2. 市外にいる | 3. 必要だがいない | 4. 必要としていない |
|----------|----------|------------|-------------|

問13 医師の診療や定期健診、リハビリを受けるにあたってお困りのことがありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 通院するときに付き添いをしてくれる人がいない | 6. 交通費の負担が大きい |
| 2. 専門的な治療を行う医療機関が身近にない | 7. 夜間や休日に対応してくれる所がない |
| 3. 専門的なリハビリができる機関が身近にない | 8. 医療機関に関する情報が少ない |
| 4. 気軽に往診を頼める医師がいない | 9. その他（ ） |
| 5. 医療費の負担が大きい | 10. 特になし |

4 相談や情報入手についてお聞きします。

問14 あなたは日常的にどのようなコミュニケーション手段を利用していますか。
 (〇はいくつでも)

- | | | | | |
|-------|--------|------------|------------|----------------|
| 1. 言語 | 5. 音訳 | 9. ハンドサイン | 12. PC、スマホ | 15. ヘルパー等による支援 |
| 2. 手話 | 6. 拡大鏡 | 10. ジェスチャー | 13. 電話 | 16. その他 |
| 3. 筆談 | 7. 絵図 | 11. 代用音声 | 14. SNS | 17. 特になし |
| 4. 点字 | 8. 写真 | | | |

問15 あなたは困ったときや、相談したいことがあったとき、だれに相談していますか。(〇は
いくつでも)

1. 市の福祉担当窓口	6. 病院・医院	11. 友人・仲間・近所の人
2. 相談支援事業所または 相談支援専門員	7. 福祉施設	12. 障がい者団体
3. 民生委員・児童委員	8. ケアマネジャー	13. その他 ()
4. 障がい者相談員※	9. ホームヘルパー・ ガイドヘルパー	14. 相談する相手がない
5. 学校・教育相談室	10. 家族・親族	

※障がい者相談員：市から委託され、地域で身体・知的障がい者の相談を受けている相談員

問16 悩み事や心配事を相談する場合に不便に感じていることがありますか。(主なもの3つま
でに〇)

1. 相談場所が遠い	7. どこで、どんな相談ができるのかわからない
2. 夜間や休日の相談対応が不足している	8. 訪問での相談が受けられない
3. プライバシーが守られるか不安	9. じっくり話を聞いてもらえない
4. 相談先の知識や障がいに配慮した対応 が不足している	10. 相談先が限られている
5. 実際に支援が始まるまでに時間がかかる	11. その他 ()
6. 実際に支援につながらない	12. 特にない

問17 市のサービスの情報は、どこから聞いたり、知ったりしていますか。(〇はいくつでも)

1. 市の広報誌	8. 病院などの医療機関	13. 友人・仲間・近所の人
2. 市役所の窓口	9. ケアマネジャー	14. 障がい者団体
3. 市のホームページ	10. 福祉施設や事業所の 職員・スタッフ	15. マスメディア(新聞、 雑誌、テレビ、ラジオ等)
4. 相談支援事業所または 相談支援専門員	11. ホームヘルパー・ガイド ヘルパー	16. SNS、インターネット等
5. 民生委員・児童委員	12. 家族・親族	17. その他 ()
6. 障がい者相談員		18. 情報を得るところがない
7. 学校や保育所・幼稚園など		

問18 市のサービスの情報は、十分に得られていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------------|----------------|--------------|
| 1. 十分得られている | 3. あまり得られていない | 5. どちらともいえない |
| 2. 必要なものは得られている | 4. まったく得られていない | |

【問18で「1.」～「4.」と回答した方にお聞きします。】

問18-1 情報が得られている方は、どのような情報が得られているか、また、情報が得られていない方は、どのような情報が必要ですか。具体的にご記入ください。

5 医療的ケアについてお聞きします。

問19 あなたは、医療的な支援（医療的ケア）を受けていますか。(○はい/○いいえ/○どちらでも)

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 受けていない | 7. 気管切開部の管理 |
| 2. 経管栄養（留置チューブ・胃ろう・腸ろう） | 8. 腹膜透析 |
| 3. 吸引（鼻腔内・エアウェイ内・気管内） | 9. 薬液吸入 |
| 4. 酸素管理 | 10. 人工呼吸器の作動状況の確認および緊急時の連絡など |
| 5. エアウェイの管理 | 11. その他（ ） |
| 6. 導尿 | |

【問19で「2～11」と回答した方にお聞きします。】

問19-1 日常生活の中で、医療的ケアに関して困っていることはありますか。

(○はい/○いいえ/○どちらでも)

- | | |
|-------------------------------|------------------------------------|
| 1. 受けることができるサービスがない、または限られている | 6. 医療機関から入院時に付き添いを求められる |
| 2. ヘルパー派遣を拒否されることがある | 7. 学校から付き添いを求められる、またはスクールバスに乗車できない |
| 3. 本来利用すべきサービス時間が減ってしまう | 8. 保育所・幼稚園の入園が困難である |
| 4. 日中活動の利用が困難になる | 9. その他（ ） |
| 5. 短期入所の利用が困難になる | |

6 日中の活動や仕事の状況についてお聞きします。

問20 平日の日中は主にどのように過ごしていますか。(主なものを3つまでに○)

1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている	⇒問21へ
2. ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	
3. 専業主婦(主夫)をしている	
4. 福祉施設、障害福祉サービス事業所などに通っている	
5. 病院などのデイケアに通っている	⇒問22へ
6. リハビリテーションを受けている	
7. 自宅で過ごしている	
8. 入所している施設や病院などで過ごしている	
9. 通園・通学している	⇒問23回答後、 問24へ
10. その他()	

問21 あなたは、現在、どのように働いていますか。(○は1つだけ)

1. 常勤の社員・職員として働いている	
2. パート・アルバイトとして働いている	
3. 自分で事業をしている	
4. 自宅などで内職や家業を手伝っている	⇒問23へ
5. 会社・団体の役員をしている	
6. その他()	

【問21で「1. 常勤の社員・職員として働いている」と回答した方にお聞きします。】

問21-1 現在の職場に就職したのは、疾患や障がいの診断を受ける後でしたか。(○は1つだけ)

1. 診断を受けた後	2. 診断を受ける前	3. わからない・覚えていない
------------	------------	-----------------

⇒回答後、問20で「2.」～「8.」と回答した方は問22へ、その他の方は問23へ

【問20で「2.」～「8.」と回答した方にお聞きします。】

問22 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いませんか。(○は1つだけ)

1. 仕事をしたい 2. 仕事はしたくない、できない

【問22で「1. 仕事をしたい」と回答した方にお聞きします。】

問22-1 収入を得る仕事に就くために、職業訓練などを受けたいと思いませんか。(○は1つだけ)

1. すでに職業訓練を受けている 3. 職業訓練を受けたくない
2. 職業訓練を受けたい 4. 受ける必要はない

【問22で「1. 仕事をしたい」と回答した方にお聞きします。】

問22-2 働くにあたって、特に心配なことはありますか。(主なもの3つまでに○)

1. 労働条件(時間や賃金)
2. 自分の健康状態や体力
3. 自分のスキル(ビジネスマナーやパソコン操作など)
4. 通勤
5. 疾患や障がいの特性に合う仕事があるか
6. 職場の設備(仕事に使う道具や、階段、段差、トイレなどの使いやすさ)
7. 職場の人間関係
8. 職場の人の疾患や障がいへの理解
9. 障害福祉サービス事業所などから引き続き支援を受けられるか
10. その他()
11. 特にない
12. わからない

⇒回答後、問23へ

【問22で「2. 仕事はしたくない、できない」と回答した方にお聞きします。】

問22-3 仕事はしたくない、できないと思う理由は何ですか。(主なもの3つまでに○)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 高齢のため | 7. 自分に合う(できる)仕事がないため |
| 2. 求職中または職業訓練中であるため | 8. 通勤が困難なため |
| 3. 仕事をする必要がないため | 9. 家事・育児・介護のため |
| 4. 障がい重い、病弱なため | 10. 障がい者について職場の理解度が低いため |
| 5. 働く場が見つからないため | 11. その他() |
| 6. 賃金が低いなど、労働条件が悪いため | 12. わからない |

⇒回答後、問23へ

【ここから再び全員の方にお聞きします。】

問23 あなたが働く際、特にどのような支援があったらよいと思いますか。(主なものを3つまでに○)

1. 仕事内容を調整してくれる(障がいにあった仕事内容、勤務日数や時間など)
2. 職場の設備(トイレ・エレベーターなど)がどのようなになっているのかを確認してくれる
3. 職場の人に対して疾患や障がいについてきちんと説明してくれる
4. 就労や生活に関する相談先がある
5. 急な体調の悪化の際に、職場と連絡を取り合ってくれる
6. 仕事に役立つ講習を受けられること(ビジネスマナーやパソコン操作など)
7. 自分に合った仕事を見つける支援(仕事探しや会社訪問への同行など)
8. 疾患や障がいの特性に合った職業訓練
9. 疾患や障がいのある人向けの求人情報の提供
10. 障害福祉サービス事業所や就労継続・移行支援などの場がたくさんある
11. その他()
12. 特になし
13. わからない

7 通園・通学している方にお聞きします。

【問24～問28は、問20で「9. 通園・通学している」と回答した方にお聞きします。】

それ以外の方は問29へお進みください。

問24 通園・通学しているところはどこですか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 保育所 | 6. 高等学校 |
| 2. 幼稚園 | 7. 大学 |
| 3. 小学校・中学校(特別支援学級) | 8. 専門学校、高等専修学校、各種学校 |
| 4. 小学校・中学校(通常学級) | 9. 職業能力開発校 |
| 5. 特別支援学校 | 10. その他() |

問25 通園・通学などで困っていることはありますか。(主なもの3つまでに○)

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 通うのが大変 | 6. 放課後の居場所がない・少ない |
| 2. 障がいに応じた授業のサポートが不十分 | 7. 教育や療育に関する情報が少ない |
| 3. 生徒や職員の障がいへの理解が不十分 | 8. 家族への支援が少ない |
| 4. 受け入れてくれる保育所・幼稚園・学校の数が少ない | 9. 学校以外の相談先がない |
| 5. 普通学級に入れない | 10. その他 () |
| | 11. 特に問題はない |

問26 将来(高等学校または高等部卒業後)の進路について、希望しているものはどれですか。
(○は主なものに1つだけ)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 進学(大学/専門学校など) | 5. 施設などへの入所 |
| 2. 一般企業へ就職 | 6. わからない |
| 3. 就労訓練/福祉就労 | 7. その他 () |
| 4. 日中活動の場など通いのサービス | |

問27 卒業後、地域で日常生活を送るために必要だと思うものはどれですか。(主なもの3つまでに○)

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 1. 特性や課題に応じた学習支援 | 5. 心身の健康管理 |
| 2. 職業訓練(職場体験・実習の場) | 6. 仲間・友人づくり |
| 3. ソーシャルスキル ^{※1} 訓練 | 7. その他 |
| 4. ライフスキル ^{※2} 訓練 | () |

※1 **ソーシャルスキル**: 社会生活を送る上で人との関係を確立するための、コミュニケーション能力

※2 **ライフスキル**: 移動や買い物、福祉サービスの利用方法など、日常生活に必要な能力

問28 学校を卒業した後の過ごし方について不安を感じていることなどはありますか。よろしければご意見をお聞かせください。(自由記述)

8 趣味の活動や地域の活動についてお聞きします。

問29 あなたは現在、趣味の活動や地域の活動に参加していますか。(○は1つだけ)

1. 参加している 2. 参加していない

→【問29で「2. 参加していない」と回答した方にお聞きします。】

問29-1 参加していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1. 身近なところで参加できる行事や活動がない | 6. 一緒に参加する仲間がいない |
| 2. どのような行事や活動があるのかわからない
(情報が伝わってこない) | 7. 家族の理解がない |
| 3. 会場までの移動・交通手段が不便 | 8. 地域の人の障がいに対する理解が不十分 |
| 4. 移動やコミュニケーションの支援を行う
人がいない | 9. 自分の健康上の問題 |
| 5. 行事や活動の内容、会場設備などが障がい者の参加に配慮されていない | 10. 社会と関わりを持つ必要性を感じない |
| | 11. その他 |

問30 あなたが外出時に困ることはありますか。(○はいくつでも)

1. 介助者がいない
2. 困ったときに助けてもらえない
3. 利用する建物の設備(トイレなど)が利用しにくい
4. バスや電車、タクシーなどが利用しにくい
5. 道路や駅が障がい者に配慮されていない
6. 公共サイン(行き先表示や案内板)がわかりにくい
7. 福祉タクシーや福祉車両の予約がとれない
8. その他 ()
9. 特にない
10. 外出しない

9 災害時の対応についてお聞きします。

問31 家族の不在または一人暮らしの場合で、地震や台風などの災害時に、あなたは一人で避難できますか。(○は1つだけ)

1. できる 2. できない 3. わからない

【問31で「2. できない」、「3. わからない」とお答えの方にお聞きします。】

問31-1 災害時にあなたを助けてくれる方はご近所にいますか。(○は1つだけ)

1. いる 2. いない 3. わからない

問32 あなたは、「避難行動要支援者登録制度※」について、どう思いますか。(○は1つだけ)

1. 既に登録している
2. 登録していないが、登録してもよい
3. 登録したくない
4. 制度を知らない

※**避難行動要支援登録制度**：災害時の避難や救助等に役立てるため、在宅の方で避難する際、支援が必要な方の名簿を作成しています。この名簿は、本人の同意があった方からの名簿情報について、避難支援等関係機関に対して事前に提供し、災害はもとより平素からの支援体制づくり
に活用します。

【問32で「3. 登録したくない」と回答した方にお聞きします。】

問32-1 登録したくない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 自分で十分避難できる | 6. 疾病や障がいの状況から他人では対応が難しい |
| 2. 隣近所や地域に頼れる人がいる | 7. 制度の仕組みや内容がわからない |
| 3. 疾病や障がいのことを知られたくない | 8. その他() |
| 4. 他人が家に来られるのは困る | 9. 特に理由はない |
| 5. プライバシーが守られるか心配 | |

とひ さいがいじ ひなん かんが
 問33 災害時にあなたは、どこに避難を考えていますか。(〇はいくつでも)

1. 自宅（在宅避難）	4. 公的避難所
2. 親戚や知人の家	5. その他（車中避難等）
3. 施設や病院	6. わからない
その理由	

とひ だいじしん さいがい ほっせい ばあい ごま ふあん
 問34 もし、大地震などの災害が発生した場合、困ることや不安なことはありますか。(〇はいくつでも)

1. 災害の発生を知る方法がない	8. 水や食料が入りできるか不安がある
2. 助けを求めする方法がない	9. 避難所に避難したいが一人では避難できない
3. 近くに助けてくれる人がいない	10. 福祉避難所が設置され受け入れてもらえるか不安がある
4. 医療機器（人工呼吸器や吸引器）などが作動するか不安がある	11. 避難所の設備や、必要な支援が受けられるか不安がある
5. 薬や必要な医療的ケアが受けられるかどうか不安がある	12. 避難所でほかの人と一緒に過ごすことに不安がある
6. できるだけ自宅で避難したいが一人では不安がある	13. その他（ ）
7. 災害情報が入手できるか不安がある	14. 特になし

10 サービスの利用などについてお聞きします。

とひ げんざい しょうがいふくし りよう
 問35 あなたは現在、障害福祉サービスを利用していますか。(〇は1つだけ)

1. 利用している	2. 利用していない	3. わからない
-----------	------------	----------

しょうがいふくし
 障害福祉サービスとは？

きょたくかいご たんきにゆうしよ せいかつかいご きょうどうせいかつえんじよ じりつくんれん しゅうろうけいぞく いこうしえん しせつにゆうしよ
 ・居宅介護、短期入所、生活介護、共同生活援助、自立訓練、就労継続・移行支援、施設入所
 しえん ほうかごとう じどうはつたつしえん しやくしよ じゆきゆう けつてい う
 支援、放課後等デイサービス、児童発達支援など、市役所からサービス受給の決定を受け、
 じゆきゆうしやしよう はっこう う りよう
 受給者証の発行を受けたうえで利用するサービスのことです。

と
問36 あなたは次の障害福祉サービスを利用していますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 居宅介護 (ホームヘルプ) | 15. 就労定着支援 |
| 2. 重度訪問介護 | 16. 計画相談支援 |
| 3. 同行援護 | 17. 地域移行支援 |
| 4. 行動援護 | 18. 地域定着支援 |
| 5. 重度障害者等包括支援 | 19. 児童発達支援 |
| 6. 施設入所支援 | 20. 医療型児童発達支援 |
| 7. 短期入所 (ショートステイ) | 21. 放課後等デイサービス |
| 8. 療養介護 | 22. 障害児相談支援 |
| 9. 生活介護 | 23. 居宅訪問型児童発達支援 |
| 10. 自立生活援助 | 24. 保育所等訪問支援 |
| 11. 共同生活援助 (グループホーム) | 25. 福祉型児童入所施設 |
| 12. 自立訓練 (機能訓練、生活訓練) | 26. 医療型児童入所施設 |
| 13. 就労移行支援 | 27. 利用していない |
| 14. 就労継続支援 (A型、B型) | |

と
問37 現在の利用の有無に係らず、今後3年以内に、次の障害福祉サービスを利用したいですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 居宅介護 (ホームヘルプ) | 15. 就労定着支援 |
| 2. 重度訪問介護 | 16. 計画相談支援 |
| 3. 同行援護 | 17. 地域移行支援 |
| 4. 行動援護 | 18. 地域定着支援 |
| 5. 重度障害者等包括支援 | 19. 児童発達支援 |
| 6. 施設入所支援 | 20. 医療型児童発達支援 |
| 7. 短期入所 (ショートステイ) | 21. 放課後等デイサービス |
| 8. 療養介護 | 22. 障害児相談支援 |
| 9. 生活介護 | 23. 居宅訪問型児童発達支援 |
| 10. 自立生活援助 | 24. 保育所等訪問支援 |
| 11. 共同生活援助 (グループホーム) | 25. 福祉型児童入所施設 |
| 12. 自立訓練 (機能訓練、生活訓練) | 26. 医療型児童入所施設 |
| 13. 就労移行支援 | 27. 利用希望はない |
| 14. 就労継続支援 (A型、B型) | 28. わからない |

問38 障害福祉サービスを利用する際、または利用しようとした際に、困ったり、不便だと思うことはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. サービスに関する情報が少ない | 7. サービスの質に不満がある |
| 2. 何が利用できるのかわからない | 8. 経済的負担が大きい |
| 3. 利用したい内容のサービスがない | 9. 他人を家に入れることに抵抗がある |
| 4. サービスの利用方法がわかりづらい | 10. その他 () |
| 5. サービスを利用するための手続きが大変 | 11. 特にな |
| 6. 利用できる回数や日数が少ない | 12. 利用したことがない |

問39 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

【問39で「1. 利用している」とお答えの方にお聞きします。】

問39-1 該当する要介護度はどれですか。(〇は1つだけ)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 要支援 1 | 3. 要介護 1 | 5. 要介護 3 | 7. 要介護 5 |
| 2. 要支援 2 | 4. 要介護 2 | 6. 要介護 4 | |

問39-2 利用している介護保険サービスはどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. 訪問介護 (ホームヘルプサービス) | 14. 介護老人福祉施設 |
| 2. 訪問入浴介護 | 15. 介護老人保健施設 |
| 3. 訪問看護 | 16. 介護療養型医療施設 |
| 4. 訪問リハビリテーション | 17. 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム等) |
| 5. 夜間対応型訪問介護 | 18. 介護医療院 |
| 6. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 19. 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) |
| 7. 居宅療養管理指導 | 20. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 |
| 8. 通所介護 (デイサービス) | 21. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 9. 通所リハビリテーション | 22. 小規模多機能型居宅介護 |
| 10. 地域密着型通所介護 | 23. 看護小規模多機能型居宅介護 (複合型サービス) |
| 11. 認知症対応型通所介護 | 24. 福祉用具貸与 |
| 12. 短期入所生活介護 (ショートステイ) | 25. 特定福祉用具購入 |
| 13. 短期入所療養介護 | |

11 権利擁護などについてお聞きします。

問40 「障害者虐待防止法（障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律）」について知っていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 名前も内容も十分知っている | 3. 名前も内容も知らない |
| 2. なんとなく聞いたことがある | |

問41 差別を受けたと思ったこと、配慮がなくて困ったことについてお聞きします。

誰から受けましたか（○はいくつでも）			
1. 家族	2. 知人	3. 他人	4. 特にいない
どのようなことですか（○はいくつでも）			
1. 福祉サービス	6. 建物、交通	11. 不動産	
2. 行政	7. 労働、雇用	12. その他	
3. 選挙の投票	8. 学校、教育	13. そのような経験はない	
4. 医療	9. 子育て		
5. 商品、お店のサービス	10. 災害		
具体的な内容			

問42 あなたは、障がいのある人への配慮として良かったこと、配慮があつて助かったこと、今後配慮してほしいことなどはありますか。

どのようなことですか（○はいくつでも）			
1. 福祉サービス	6. 建物、交通	11. 不動産	
2. 行政	7. 労働、雇用	12. その他	
3. 選挙の投票	8. 学校、教育	13. そのような経験はない	
4. 医療	9. 子育て		
5. 商品、お店のサービス	10. 災害		
具体的な内容			

とひ しょうがいしゃさべつかいしょうほう しょうがい りゆう さべつ かいしょう すいしん かん ほうりつ
 問43 「障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」について
 知っていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|------------------|---------------|
| なまえ ないよう じゆうぶん し | なまえ ないよう し |
| 1. 名前も内容も十分知っている | 3. 名前も内容も知らない |
| 2. なんとなく聞いたことがある | |

とひ せいねんこうけんせいど
 問44 成年後見制度※について知っていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|------------------|---------------|
| なまえ ないよう じゆうぶん し | なまえ ないよう し |
| 1. 名前も内容も十分知っている | 3. 名前も内容も知らない |
| 2. なんとなく聞いたことがある | |

せいねんこうけんせいど しょう ほんだんのうりよく ふじゆうぶん ひと ふりえき う かてい
 ※成年後見制度：障がいによって判断能力が不十分な人が不利益を受けないために、家庭
 さいばんしょ しんせい ひと ほご しえん ひと せいねんこうけんじん つ
 裁判所に申請してその人を保護または支援してくれる人（成年後見人）を付け
 せいど
 る制度。

とひ げんざい せいねんこうけんせいど りよう こんご りよう よてい
 問45 あなたは現在、成年後見制度を利用していますか。また今後、利用する予定はありますか。
 （○は1つだけ）

- | | |
|-----------------------------|----------------------------------|
| げんざい りよう | 1. 現在利用している |
| こんご りよう よてい | 2. 今後利用する予定がある |
| げんざい りよう よてい しょうらいてき りよう おも | 3. 現在利用する予定はないが、将来的には利用したいと思っている |
| こんご りよう よてい | 4. 今後も利用する予定はない |
| 5. わからない | |

12 今後のことについてお聞きします。

とひ しょうらい おおむ ねんご く おも
 問46 あなたは、将来（概ね10年後）どのように暮らしたいと思いますか。（○は1つだけ）

- | | | | |
|-------------------|--------------------|-------------------|------------------|
| じたく く かぞく | 1. 自宅で暮らしたい（家族と） | こうれいしゃ にゆうしよせつ はい | 5. 高齢者の入所施設に入りたい |
| じたく く ひとりく | 2. 自宅で暮らしたい（一人暮らし） | せんもん りようようせつ はい | 6. 専門の療養施設に入りたい |
| にゆうきよ | 3. グループホームなどに入居したい | 7. わからない | |
| しょう しゃ にゆうしよせつ はい | 4. 障がい者の入所施設に入りたい | 8. その他（ ） | |

ぐたいき ないよう
 具体的な内容

と い しょうらい ちいき せいかつ しえん おも
 問47 あなたが将来にわたって地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思
 いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 在宅で医療的ケアなどが適切に得られること | 6. 相談体制などの充実 |
| 2. 障がい者に適した住居の確保 | 7. 地域住民などの理解 |
| 3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること | 8. 介助者等の休息支援 |
| 4. 生活訓練などの充実 | 9. その他 () |
| 5. 経済的な負担の軽減 | |

と い そうごうで き み げんざい ふじみし しょう ひと く おも
 問48 総合的に見て、現在の富士見市は障がいのある人にとって暮らしやすいまちだと思
 いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 暮らしやすい | 4. どちらかという暮らしにくい |
| 2. どちらかという暮らしやすい | 5. 暮らしにくい |
| 3. どちらともいえない | |

と い こんご ふじみし しょう ふくし とく じゅうじつ おも
 問49 今後、富士見市の障がい福祉は、特にどのようなことを充実させていけばよいと思
 いますか。(主なもの3つまでに〇)

- | |
|---|
| 1. 住宅の整備、住宅探しの支援 (グループホーム、住宅相談など) |
| 2. 日中の居場所の確保 (大人のための) |
| 3. 趣味の活動の支援 (障がい者団体の活動支援など) |
| 4. 未就学児への支援 |
| 5. 小中高生の放課後・休日に利用できるサービス
(放課後等デイサービス、日中一時支援、ショートステイ、ガイドヘルパーなど) |
| 6. 発達障がい児・者への支援 |
| 7. 就労支援 |
| 8. いつでも気軽に相談できる窓口の充実 |
| 9. 障がいや疾病に対する理解を深めるための啓発活動 |
| 10. 障がい者が利用しやすい移動手段の整備 |
| 11. 地震や台風など災害時の支援体制の整備 |
| 12. 疾病予防など健康づくりのための講習会などの開催 |
| 13. その他 () |
| 14. 特にない |
| 15. わからない |

さいご し しょう ふくし いけん ようぼう か
最後に、市の障がい福祉にご意見・ご要望がございましたらお書きください。

しつもん いじょう きょうりょく
質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

※「しょうがい がい じ」の字については、マイナスのイメージにつながり、ごかい へんけん
を受けるおそれがあるため、ほんけいかく げんそく しょう ひょうき
本計画においては、原則「障がい」という表記で
とういつ ほうりつ けいかくめい せいど しせつめい たごゆうめいし
統一しています。ただし、法律・計画名や制度・施設名、その他固有名詞など
については、もと ひょうき したが
元の表記に従っています。

富士見市障がい福祉についての実態調査報告書

令和5年 11月

発行 富士見市

編集 富士見市 健康福祉部 障がい福祉課

電話 049-251-2711(代表)

FAX 049-251-1025